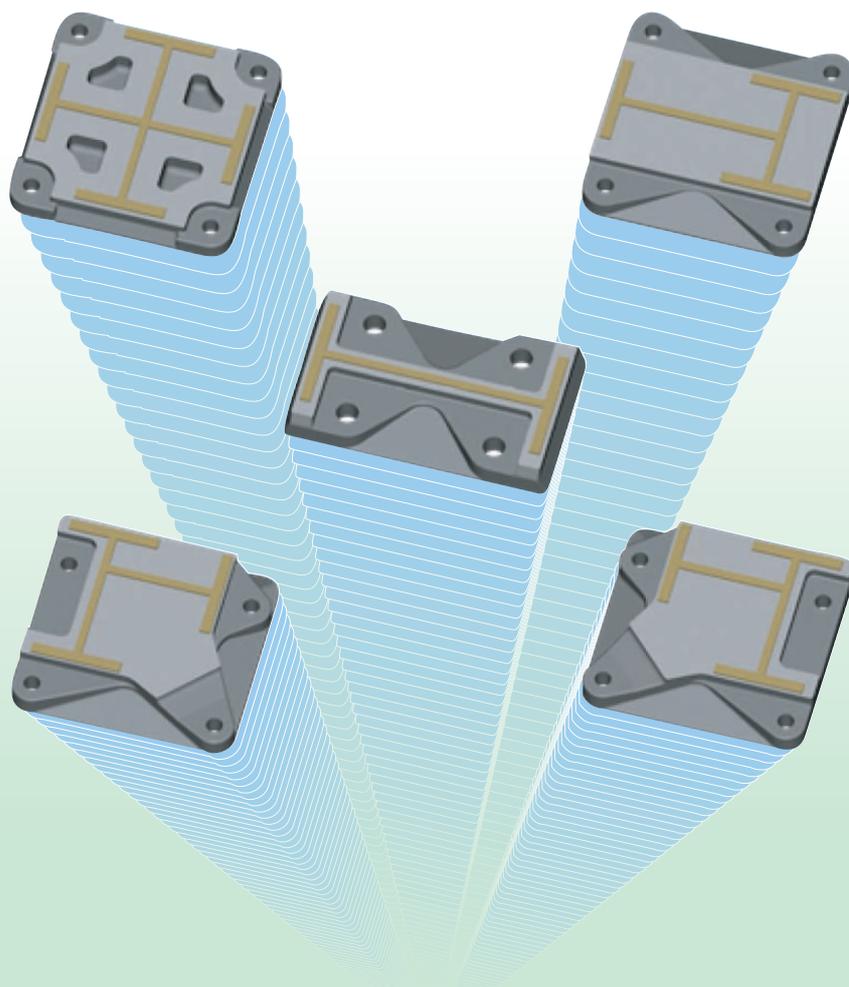


鉄骨鉄筋コンクリート造柱用
非埋込形柱脚工法

SRCスーパーハイベース工法

国土交通大臣認定 MSTL-0151, MBLT-0042~0046

設計ハンドブック



センクシア株式会社

ご使用にあたって

この設計ハンドブックは、建築設計事務所様、建築施工業者様、鉄骨加工業者様において、SRCスーパーハイベース工法を用いた建築物を設計される際および施工・監理をされる際に、安全かつ効果的にご使用頂くためのものです。

なお、施工時の留意点については、別冊の“SRCスーパーハイベース工法カタログ”もあわせてご参照下さるようお願いいたします。

設計事務所様へ

SRCスーパーハイベース工法を用いた建築物の設計図書には別刷りの“SRCスーパーハイベース工法設計施工標準”を添付のうえ、その資料をもとに監理下さいますようお願いいたします。

表示の定義

このハンドブックの中で特に注意していただきたい事項については、以下の警告表示を記載しております。



注意 : 一般的な注意を喚起する表示



警告 : 取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合の表示



警告

① SRCスーパーハイベース工法に用いるベースプレート及びアンカーボルトは、国土交通大臣認定を取得しています。本設計ハンドブックに基づく設計がなされないで生じたトラブルについては責任を負いかねます。ご使用になる前に必ず本ハンドブックをご一読の上、内容を遵守して下さい。

② アンカーボルトのセット・ベース下モルタルの施工・アンカーボルトの締付けはセンクシア(株)またはその認定業者が行います。

(詳細はセンクシアにお問い合わせ下さい。)

これらの事項が守られない場合、台風や地震により過大な力が作用した際に、柱脚部に想定しない破壊が生じて建築物が崩壊することが想定されます。

- ・本書は、設計ハンドブックであり、保証書や契約書ではありません。
- ・製品仕様変更等により、「SRCスーパーハイベース工法設計ハンドブック」の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・このハンドブックの内容で、疑問点や不明な点がございましたら、センクシア(株)にお問い合わせ下さい。

「SRC スーパーハイペース工法設計ハンドブック」正誤表

頁	箇所	誤	正																		
P1	1.1 本文 5 行目	「 <u>2001</u> 年版 建築物の構造関係技術基準解説書」	「 <u>2015</u> 年版 建築物の構造関係技術基準解説書」																		
P1	1.1 本文 7 行目	「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 <u>(1999)</u> 」	「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 <u>(2010)</u> 」																		
P1	1.1 本文 11 行目	「各種合成構造設計指針・同解説 <u>(1985)</u> 」	「各種合成構造設計指針・同解説 <u>(2010)</u> 」																		
P1	1.1 本文 12 行目	…JASS5 鉄筋コンクリート工事 <u>(1997)</u> 」	…JASS5 鉄筋コンクリート工事 <u>(2015)</u> 」																		
P1	1.1 本文 13 行目	…JASS6 鉄骨工事 <u>(1996)</u> 」	…JASS6 鉄骨工事 <u>(2015)</u> 」																		
P1	1.1 本文 14 行目	「鉄骨工事技術指針 <u>(1996)</u> 」	「鉄骨工事技術指針 <u>(2007)</u> 」																		
P2	2.1.1 本文 3 行目	…大臣認定 (MSTL-0151) を…	…大臣認定 (MSTL-0180) を…																		
P2	2.1.4 文章追加	なお、コンクリートの設計基準強度 F_c は、 36N/mm^2 以下のものを用いる。																			
P2	文章追加	2.1.6 鉄骨 柱に用いる鉄骨は、 400N/mm^2 級または 490N/mm^2 級を用いる。																			
P7	3.1.1 表 3.1 モルタル厚さ	$tm \geq 50\text{mm}$	$70\text{mm} \geq tm \geq 30\text{mm}$																		
P8	3.1.3 (1)本文 1 行目	…計算ルート 1,2-1~2-3 で行う場合、…	…計算ルート 1,2-1,2-2 で行う場合、…																		
P8	3.1.3 (1)本文 2 行目	…「 <u>2001</u> 年版 建築物の…	…「 <u>2015</u> 年版 建築物の…																		
P8	3.1.3 表 3.3	… (計算ルート 1,2-1~2-3)	… (計算ルート 1,2-1,2-2)																		
P8	3.1.3 表 3.3	<p>誤</p> <table border="1"> <tr> <td>計算ルート</td> <td>ルート 1</td> <td>ルート 2-1</td> <td>ルート 2-2</td> <td>ルート 2-3</td> </tr> <tr> <td>軸力制限</td> <td colspan="2">$n \leq 0.8$</td> <td colspan="2">$n \leq 0.4$</td> </tr> </table> <p>正</p> <table border="1"> <tr> <td>計算ルート</td> <td>ルート 1</td> <td>ルート 2-1</td> <td>ルート 2-2</td> </tr> <tr> <td>軸力制限</td> <td colspan="3">$n \leq 0.4$</td> </tr> </table>		計算ルート	ルート 1	ルート 2-1	ルート 2-2	ルート 2-3	軸力制限	$n \leq 0.8$		$n \leq 0.4$		計算ルート	ルート 1	ルート 2-1	ルート 2-2	軸力制限	$n \leq 0.4$		
計算ルート	ルート 1	ルート 2-1	ルート 2-2	ルート 2-3																	
軸力制限	$n \leq 0.8$		$n \leq 0.4$																		
計算ルート	ルート 1	ルート 2-1	ルート 2-2																		
軸力制限	$n \leq 0.4$																				
P8	3.1.3 (2)本文 2 行目	…「 <u>2001</u> 年版 建築物の…	…「 <u>2015</u> 年版 建築物の…																		
P8	3.1.3 (2)本文 3 行目	…昭 55 建告 1792 号による。	…昭 55 建告 1792 号第 5 による。																		
P8	3.1.3 (2)下から 5 行目	…を表 3.5 により…	…を昭 55 建告 1792 号第 5 により…																		
P8	3.1.3 (2)表 3.5		表削除																		

目次

第1章	総則	
1.1	適用範囲	1
1.2	SRCハイベース工法の構成	1
第2章	使用材料	
2.1	材質	2
2.1.1	SRCハイベース	2
2.1.2	アンカーボルト、ナット、座金および定着板	2
2.1.3	ハイベース下面のモルタル	2
2.1.4	コンクリート	2
2.1.5	鉄筋	2
2.2	形状および寸法	3
2.2.1	ハイベースX形の寸法一覧	3
2.2.2	ハイベースT形の寸法一覧	3
2.2.3	ハイベースLL形の寸法一覧	4
2.2.4	ハイベースLR形の寸法一覧	4
2.2.5	ハイベースH形の寸法一覧	5
2.2.6	アンカーボルト・部品の寸法	6
第3章	ハイベースを用いた柱脚部の設計	
3.1	構造規定	7
3.1.1	ハイベース下面モルタルとアンカーボルト定着長さ	7
3.1.2	適用制限	7
3.1.3	軸力制限	8
3.2	ハイベースを用いた柱脚部の設計	9
3.3	cN, cM の算出	10
3.4	ハイベース部分のせん断耐力の検討	12
3.4.1	許容せん断耐力	12
3.4.2	終局せん断耐力	13
3.5	アンカーボルトの定着	14
3.5.1	基礎コンクリートによる定着（コーン耐力による）	14
3.5.2	基礎柱形主筋による定着	14
付録1	RC柱形とSRCハイベースの納まり図（参考）	15
付録2	柱脚検討ソフト	52

第1章 総則

1.1 適用範囲

この『SRCスーパーハイベース工法設計ハンドブック』は、鉄筋コンクリート構造の基礎をもつ鉄骨鉄筋コンクリート構造骨組においてSRCスーパーハイベース工法（以下SRCハイベース工法）の耐力を評価する設計法に関するものである。

本ハンドブックに示されない事項は

- 「2001年版 建築物の構造関係技術基準解説書」 日本建築センター
- 「鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(2001)」 日本建築学会
- 「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(1999)」 日本建築学会
- 「鋼構造設計規準(2005)」 日本建築学会
- 「鉄筋コンクリート造建物の終局強度型耐震設計指針・同解説(1990)」 日本建築学会
- 「鉄筋コンクリート造建物の靱性保証型耐震設計指針・同解説(1999)」 日本建築学会
- 「各種合成構造設計指針・同解説(1985)」 日本建築学会
- 「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事(1997)」 日本建築学会
- 「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6 鉄骨工事(1996)」 日本建築学会
- 「鉄骨工事技術指針(1996)」 日本建築学会

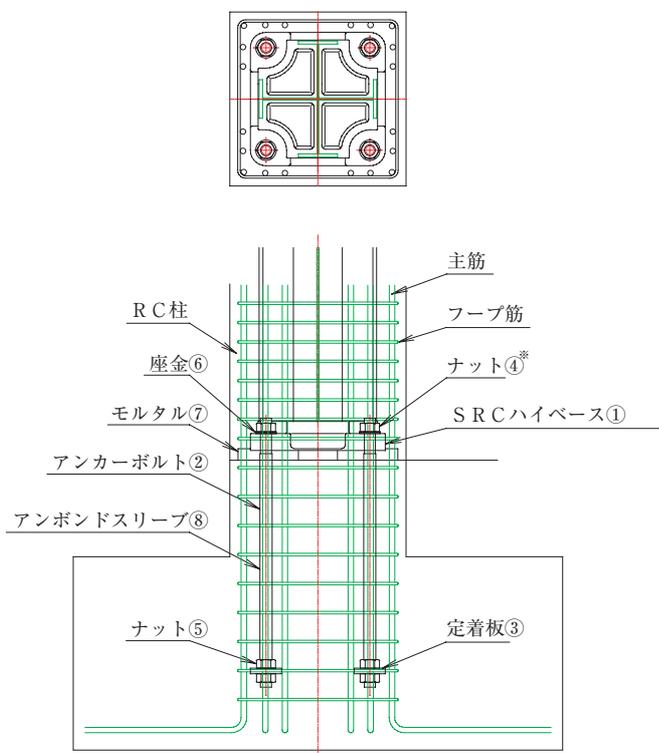
による。

1.2 SRCハイベース工法の構成

SRCハイベース工法は図 1.1 に示すように柱脚金物SRCハイベース①、コンクリートとの付着を切ったアンカーボルト②、定着板③、ナット④、⑤、座金⑥、ハイベース下面のモルタル⑦、アンボンドスリーブ⑧より構成される。

施工手順は、まず定着板③をセットしたアンカーボルト②を精度保持のため鋼製フレームを用いて固定し、基礎コンクリート打設後、レベル調整のための部分ならしモルタルを施工し、この上にハイベースを工場溶接した鉄骨柱を設置する。

次に、無収縮性のモルタル⑦をSRCハイベース①の下に充填し硬化後、ナット④をナット回転法により締付け、アンカーボルト②に所定の張力を導入する。



※周囲コンクリートが戻止め効果を有するため、シングルナットとする。

図 1.1 SRCハイベース工法の構成

第2章 使用材料

2.1 材質

2.1.1 SRCハイベース

SRCハイベース（以下ハイベース）は、JIS G5102 に定められた溶接構造用鋳鋼SCW480をベースとして改良したもので、母材と溶接部の基準強度に関しては建築基準法第 37 条第二号に基づく大臣認定（MSTL-0151）を得ており、SN490B（JIS G3136建築構造用圧延鋼材）と同等に扱うことができる。（本資料中の寸法表に示す以外のハイベースでセンクシア㈱の技術員が設計したハイベースについても同様に SN490B と同等に扱うことができる）

2.1.2 アンカーボルト、ナット、座金および定着板

	アンカーボルト	ナット	座金	定着板
規格	HAB (大臣認定取得材 ^{*1})	JIS B1181 (六角ナット ^{*1})	JIS G3106 (^{*1})	JIS G3101 (一般構造用 圧延鋼材)
ねじの種類	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	降伏比 0.7 以下	強度区分 8	SM490A	SS400

^{*1}：国土交通大臣認定（MBLT-0042～0046）

2.1.3 ハイベース下面のモルタル

後詰めモルタルはハイベースグラウト NX-2000 およびこれと同等以上の無収縮性と施工性を備えた無収縮モルタルを使用する。

レベル調整用の中心塗り部分モルタルは普通モルタルまたは、無収縮性のモルタルとし、強度はこれに接するコンクリートの強度以上とする。

2.1.4 コンクリート

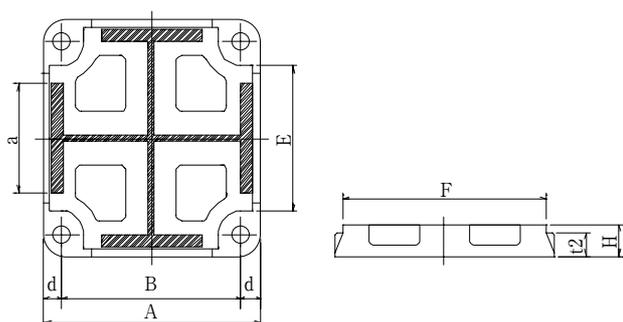
コンクリートは、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリートを使用する。

2.1.5 鉄筋

鉄筋コンクリート部分に使用する鉄筋は、JIS G3112 「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる熱間圧延異形棒鋼を使用する。

2.2 形状および寸法

2.2.1 ハイベース X形の寸法一覧



ハイベース 型式	RC断面 (min)
X400-SI-30	□700
X450-SI-30	□750
X500-SI-42	□800
X550-SI-42	□850
X600-SI-42	□900
X650-SI-42	□950
X700-SI-42	□1000
X750-SI-42	□1050
X800-SI-42	□1100

ハイベース 型式	適用 フランジ 幅 (a)	適用 フランジ 厚	適用 ウェブ 厚	寸法 (mm)							質量 (kg)		セット 質量 (kg)
				A	B	E	F	H	d	t2	ハイベース	部品	
X400-SI-30	~200	~36	~19	500	400	300	460	70	50	47	121	46	167
X450-SI-30	~250	~36	~19	550	450	350	510	70	50	47	156	49	205
X500-SI-42	~250	~36	~19	600	480	350	560	90	60	66	231	104	335
X550-SI-42	~300	~36	~19	650	530	400	610	90	60	66	264	107	371
X600-SI-42	~300	~36	~19	700	580	450	660	90	60	66	300	111	411
X650-SI-42	~350	~36	~19	750	630	500	710	90	60	66	336	115	451
X700-SI-42	~400	~36	~19	800	680	550	760	90	60	66	375	119	494
X750-SI-42	~400	~36	~19	850	730	600	810	90	60	66	414	122	536
X800-SI-42	~450	~36	~19	900	780	650	860	90	60	66	456	126	582

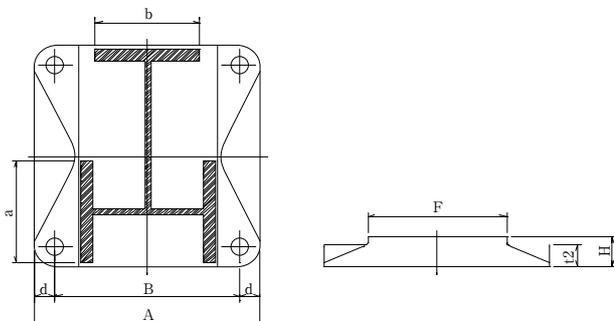
部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。

表中にないサイズについても対応可能です。センクシア様にお問い合わせください。

塚跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はございません。

RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.2 ハイベース T形の寸法一覧



ハイベース 型式	RC断面 (min)
T400-SI-30	□700
T450-SI-30	□750
T500-SI-42	□800
T550-SI-42	□850
T600-SI-42	□900
T650-SI-42	□950
T700-SI-42	□1000
T750-SI-42	□1050
T800-SI-42	□1100

ハイベース 型式	適用 フランジ 幅 (a)	適用 フランジ 幅 (b)	適用 フランジ 厚	適用 ウェブ 厚	寸法 (mm)						質量 (kg)		セット 質量 (kg)
					A	B	F	H	d	t2	ハイベース	部品	
T400-SI-30	~200	~200	~36	~19	500	400	300	75	50	51	132	46	178
T450-SI-30	~250	~250	~36	~19	550	450	350	80	50	53	172	49	221
T500-SI-42	~300	~300	~36	~19	600	480	350	90	60	63	227	104	331
T550-SI-42	~300	~300	~36	~19	650	530	400	90	60	65	272	107	379
T600-SI-42	~300	~350	~36	~19	700	580	450	90	60	66	321	111	432
T650-SI-42	~300	~400	~36	~19	750	630	500	90	60	67	373	115	488
T700-SI-42	~300	~450	~36	~19	800	680	550	95	60	68	449	119	568
T750-SI-42	~300	~500	~36	~19	850	730	600	95	60	69	513	123	636
T800-SI-42	~300	~550	~36	~19	900	780	650	95	60	70	582	126	708

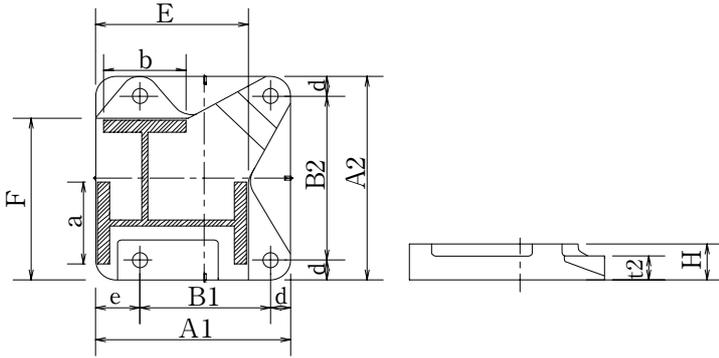
部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。

表中にないサイズについても対応可能です。センクシア様にお問い合わせください。

塚跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はございません。

RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.3 ハイベース LL形の寸法一覧

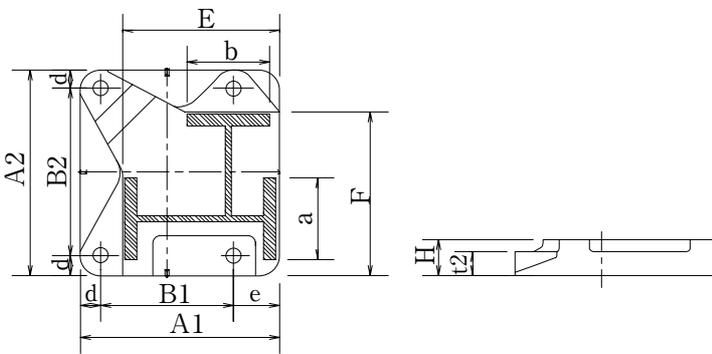


ハイベース型式	RC断面 (min)
LL400-S1-30	□700
LL450-S1-30	□750
LL500-S1-42	□800
LL550-S1-42	□850
LL600-S1-42	□900
LL650-S1-42	□950
LL700-S1-42	□1000
LL750-S1-42	□1050
LL800-S1-42	□1100

ハイベース型式	適用フランジ幅(a)	適用フランジ幅(b)	適用フランジ厚	適用ウェブ厚	寸法 (mm)										質量(kg)		セット質量(kg)
					A1	B1	A2	B2	E	F	H	d	e	t2	ハイベース	部品	
LL400-S1-30	~200	~250	~36	~19	455	300	490	400	360	395	80	45	110	55	125	43	168
LL450-S1-30	~250	~250	~36	~19	505	350	540	450	410	445	80	45	110	55	152	46	198
LL500-S1-42	~250	~300	~36	~19	545	350	580	460	415	450	110	60	135	72	228	98	326
LL550-S1-42	~300	~300	~36	~19	595	400	630	510	465	500	110	60	135	72	277	102	379
LL600-S1-42	~300	~300	~36	~19	645	450	680	560	515	550	110	60	135	72	330	106	436
LL650-S1-42	~300	~300	~36	~19	695	500	730	610	565	600	110	60	135	72	388	109	497
LL700-S1-42	~300	~300	~36	~19	745	550	780	660	615	650	110	60	135	72	446	113	559
LL750-S1-42	~300	~300	~36	~19	795	600	830	710	665	700	110	60	135	72	510	117	627
LL800-S1-42	~300	~300	~36	~19	845	650	880	760	715	750	110	60	135	72	585	121	706

部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。
 表中にないサイズについても対応可能です。センクシア様にお問い合わせください。
 塚跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はありません。
 RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.4 ハイベース LR形の寸法一覧

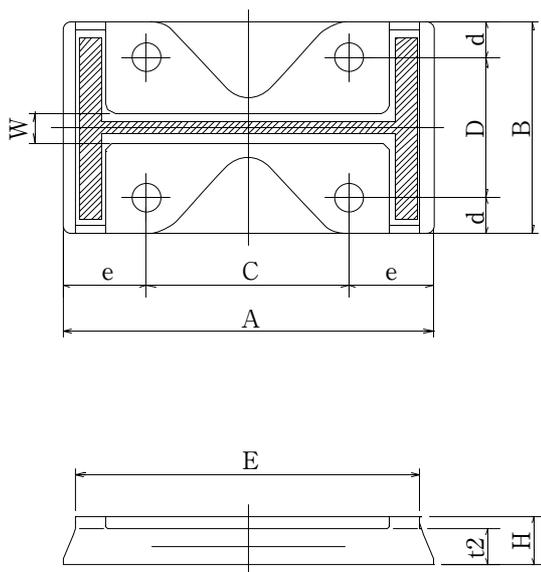


ハイベース型式	RC断面 (min)
LR400-S1-30	□700
LR450-S1-30	□750
LR500-S1-42	□800
LR550-S1-42	□850
LR600-S1-42	□900
LR650-S1-42	□950
LR700-S1-42	□1000
LR750-S1-42	□1050
LR800-S1-42	□1100

ハイベース型式	適用フランジ幅(a)	適用フランジ幅(b)	適用フランジ厚	適用ウェブ厚	寸法 (mm)										質量(kg)		セット質量(kg)
					A1	B1	A2	B2	E	F	H	d	e	t2	ハイベース	部品	
LR400-S1-30	~200	~250	~36	~19	455	300	490	400	360	395	80	45	110	55	125	43	168
LR450-S1-30	~250	~250	~36	~19	505	350	540	450	410	445	80	45	110	55	152	46	198
LR500-S1-42	~250	~300	~36	~19	545	350	580	460	415	450	110	60	135	72	228	98	326
LR550-S1-42	~300	~300	~36	~19	595	400	630	510	465	500	110	60	135	72	277	102	379
LR600-S1-42	~300	~300	~36	~19	645	450	680	560	515	550	110	60	135	72	330	106	436
LR650-S1-42	~300	~300	~36	~19	695	500	730	610	565	600	110	60	135	72	388	109	497
LR700-S1-42	~300	~300	~36	~19	745	550	780	660	615	650	110	60	135	72	446	113	559
LR750-S1-42	~300	~300	~36	~19	795	600	830	710	665	700	110	60	135	72	510	117	627
LR800-S1-42	~300	~300	~36	~19	845	650	880	760	715	750	110	60	135	72	585	121	706

部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。
 表中にないサイズについても対応可能です。センクシア様にお問い合わせください。
 塚跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はありません。
 RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.5 ハイベース H形の寸法一覧

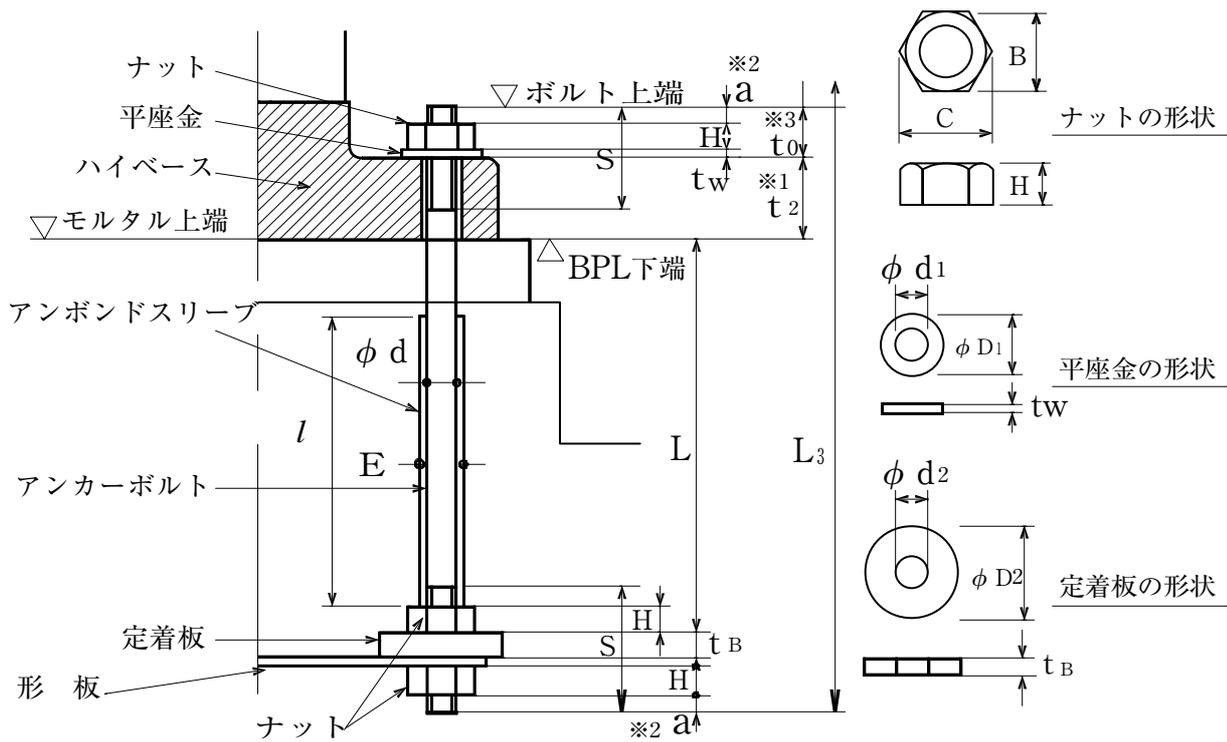


ハイベース型式	RC断面 (min)
SRCH400 - C1-42	650×500
SRCH400 - S1-42	650×550
SRCH400 - M1-42	650×650
SRCH450 - C1-42	700×500
SRCH450 - S1-42	700×550
SRCH500 - C1-42	750×500
SRCH500 - S1-42	750×550
SRCH550 - C1-42	800×500
SRCH550 - S1-42	800×550
SRCH600 - C1-42	850×500
SRCH600 - S1-42	850×550
SRCH650 - C1-42	900×500
SRCH650 - S1-42	900×550
SRCH700 - C1-42	950×500
SRCH700 - S1-42	950×550
SRCH750 - C1-42	1000×500
SRCH800 - S1-42	1050×550

ハイベース型式	適用フランジ幅	適用フランジ厚	適用ウェブ厚	寸法 (mm)										質量 (kg)		セット質量 (kg)
				A	B	C	D	E	W	H	d	e	t2	ハイベース	部品	
SRCH400 - C1-42	~250	~36	~19	450	300	180	180	410	50	80	60	135	55	69	87	156
SRCH400 - S1-42	~300	~36	~19	450	350	180	230	410	50	85	60	135	59	86	89	175
SRCH400 - M1-42	~400	~36	~19	450	450	180	330	410	50	90	60	135	63	117	92	209
SRCH450 - C1-42	~250	~36	~19	500	300	230	180	460	50	80	60	135	55	75	89	164
SRCH450 - S1-42	~300	~36	~19	500	350	230	230	460	50	85	60	135	59	93	90	183
SRCH500 - C1-42	~250	~36	~19	550	300	280	180	510	50	80	60	135	55	80	90	170
SRCH500 - S1-42	~300	~36	~19	550	350	280	230	510	50	85	60	135	59	100	92	192
SRCH550 - C1-42	~250	~36	~19	600	300	330	180	560	50	80	60	135	55	85	92	177
SRCH550 - S1-42	~300	~36	~19	600	350	330	230	560	50	85	60	135	59	107	94	201
SRCH600 - C1-42	~250	~36	~19	650	300	380	180	610	50	80	60	135	55	91	94	185
SRCH600 - S1-42	~300	~36	~19	650	350	380	230	610	50	85	60	135	59	113	96	209
SRCH650 - C1-42	~250	~36	~19	700	300	430	180	660	50	80	60	135	55	97	96	193
SRCH650 - S1-42	~300	~36	~19	700	350	430	230	660	50	85	60	135	59	120	98	218
SRCH700 - C1-42	~250	~36	~19	750	300	480	180	710	50	80	60	135	55	103	98	201
SRCH700 - S1-42	~300	~36	~19	750	350	480	230	710	50	85	60	135	59	128	100	228
SRCH750 - C1-42	~250	~36	~19	800	300	530	180	760	50	80	60	135	55	108	100	208
SRCH800 - S1-42	~300	~36	~19	850	350	580	230	810	50	85	60	135	59	142	104	246

部品の質量はアンカーボルト部品と形板の1セットの質量です。
 表中にないサイズについても対応可能です。センクシア様にお問い合わせください。
 塚跡の凸部があるものがありますが、ご使用上性能に問題はありません。
 RC断面は最小寸法です。本ハンドブック第3章等を参照し、柱脚部の設計を行ってください。

2.2.6 アンカーボルト・部品の寸法



アンカーボルト							アンボンドスリーブ		ナット			平座金			定着板			セット質量 kg	
ねじの呼び	軸径	ねじ		余長 ※2	定着長さ L	台座上長 ※3	全長 L ₃	外径	長さ	高さ	二面幅	対角距離	厚さ	内径	外径	厚さ	内径		外径
		ピッチ	長さ																
M30	30	3.5	130	13	600	43	800	35	515	24	46	53	6	31	56	16	33	90	24
M42	42	4.5	155	18	840	61	1080	48	745	34	65	75	9	43	78	22	45	120	67

※1 t₂はハイベース台座厚を示します。2.2.2～2.2.6 項を参照してください。

※2 a 寸法はハイベース台座厚 t₂によって変動しますが、本数値以上確保してください。

※3 t₀は、ハイベース台座上からアンカーボルト天端までの最小寸法を示します。

ハイベースのアンカーボルト孔径

ねじの呼び	M30	M42
孔径	36	49

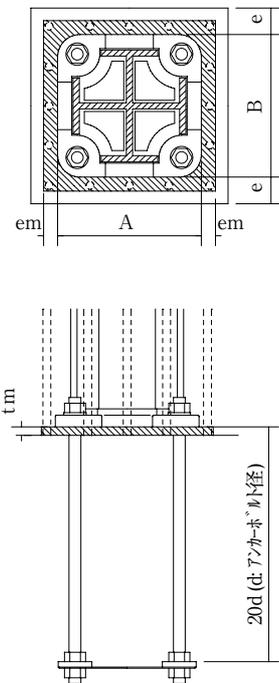
第3章ハイベースを用いた柱脚部の設計

3.1 構造規定

3.1.1 ハイベース下面モルタルとアンカーボルト定着長さ

ハイベース下面モルタルおよびアンカーボルト定着長さは、表3.1による。

表3.1 ハイベース下面モルタルの寸法制限およびアンカーボルトの定着長さ



部 品 名 称	寸 法 制 限
ハイベース下面のモルタル厚さ(tm)	$tm \geq 50\text{mm}$
ハイベース周辺部のモルタル幅(em)	$em \geq tm$
ハイベース端から基礎柱形までの縁端距離	$e \geq tm$ かつ $e \geq 0.065W$ (W:A,B の大きい方の値)

3.1.2 柱脚断面の適用制限

SRCハイベース工法の柱脚断面の適用制限を、表3.2に示す。

表3.2 柱脚断面の適用制限

項 目	適 用 制 限
アンカーボルト-引張鋼材比 ($\Sigma Ta / \Sigma T$)	$\Sigma Ta / \Sigma T \geq 0.15$ ΣTa : 全アンカーボルトの短期許容引張耐力の和 ΣT : 全アンカーボルトと全鉄筋の短期許容引張耐力の和
曲げ負担率 $hM / (hM + rM)$	$hM / (hM + rM) \geq 0.1$ $hM = 2 \cdot Ta \cdot Dt$ $rM = at \cdot ft \cdot jt$ hM : ハイベース部分の曲げ耐力の評価値 rM : RC部分の曲げ耐力の評価値 Ta : 1本のアンカーボルト短期許容耐力 Dt : アンカーボルトピッチ at : 引張鉄筋の断面積の和 ft : 短期許容応力度 jt : 柱の左右の主筋間距離

3.1.3 軸力制限

(1)耐震設計計算ルート 1、2-1,2-2,2-3 の場合

SRCハイベース工法を柱脚に用いたSRC造の耐震設計を計算ルート1,2-1～2-3で行なう場合、柱軸力は表3.3の軸力制限に従わなければならない。ここで、各計算ルートの定義は「2001年版建築物の構造関係技術基準解説書(日本建築センター)」及び昭55建告1790、1791号による。

表3.3 引張軸力比の制限(計算ルート1,2-1～2-3)

計算ルート	ルート1	ルート2-1	ルート2-2	ルート2-3
軸力制限	$n \leq 0.8$		$n \leq 0.4$	

n : 引張軸力比 ($=|N|/\Sigma T$, $N < 0$)

N : 軸力(圧縮が正)

ΣT : 全アンカボルトと全鉄筋の短期許容引張耐力の和

(2)耐震設計計算ルート3の場合

SRCハイベース工法を柱脚に用いたSRC造の耐震設計を計算ルート3で行なう場合、メカニズム時の柱軸力により柱の種別を表3.4のように分類する。計算ルートと柱の種別の定義は「2001年版建築物の構造関係技術基準解説書(日本建築センター)」及び昭55建告1792号による。

表3.4 SRCハイベース工法を用いた柱の種別(計算ルート3)

軸力比範囲 柱母材の種別	$n \leq 0.4$	$0.4 < n \leq 0.8$		$n > 0.8$
		$\Sigma Ta/\Sigma T \geq 0.2$	$0.2 > \Sigma Ta/\Sigma T \geq 0.15$	
FA	FA	FB	FD	使用不可
FB	FB	FB	FD	使用不可
FC	FC	FC	FD	使用不可
FD	FD	FD	FD	使用不可

n : 引張軸力比 ($=|N|/\Sigma T$, $N < 0$)

N : 軸力(圧縮が正)

ΣTa : 全アンカボルトの短期許容引張耐力の和

ΣT : 全アンカボルトと全鉄筋の短期許容引張耐力の和

ただし、柱が耐力壁の側柱となる場合は、表3.4によらず、耐震壁の種別を表3.5により行なう。

表3.5 耐震壁の種別(Ds判定基準抜粋)

耐力壁の種別	WA	WC
想定される破壊モード	せん断破壊以外	せん断破壊

【参考資料】「2001年版建築物の構造関係技術基準解説書(日本建築センター)」

3.2 ハイベースを用いた柱脚部の設計

柱脚部に生じる応力は、図 3.1 に示すようにハイベース部分（ハイベース直下のコンクリートとアンカーボルト）と鉄筋コンクリート部分（ハイベース直下のコンクリートを除く）の累加で負担するものとする。

つまり、以下に示す (3.1) ~ (3.3) 式の関係として柱脚部を設計する。

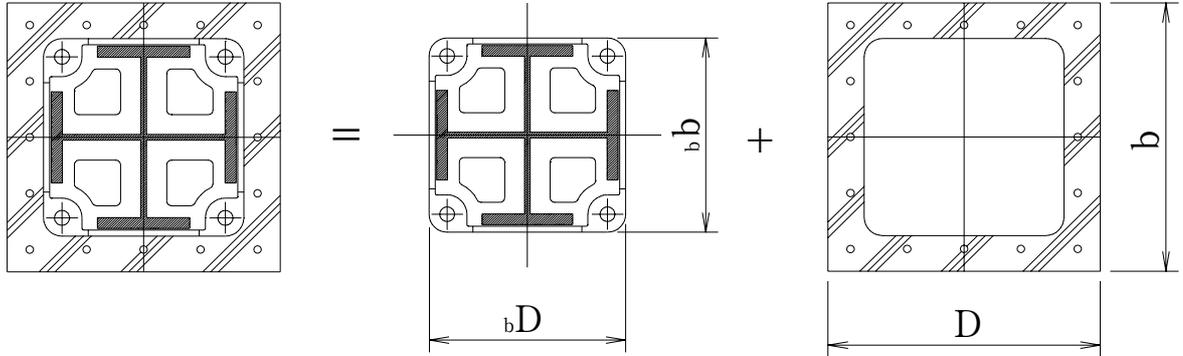


図 3.1 ハイベース部分と鉄筋コンクリート部分

$$N = {}_bN + {}_cN \quad \dots (3.1)$$

$$M \leq {}_bM + {}_cM + {}_mM \quad \dots (3.2)$$

$$Q \leq {}_rQ + {}_bQ \quad \dots (3.3)$$

ここで

N：軸方向応力 (kN)

M：曲げモーメント (kN・m)

${}_bN$ ：ハイベース部分または鉄骨部分が負担する軸力 (kN)

${}_cN$ ：コンクリート部分が負担する軸力 (kN)

${}_bM$ ：ハイベース部分が負担する曲げモーメントまたは鉄骨部分が負担する曲げモーメント (kN・m)

${}_cM$ ：コンクリート部分が負担する曲げモーメント (kN・m)

${}_mM$ ：鉄筋が負担する曲げモーメント (kN・m)

${}_rQ$ ：鉄筋コンクリート部分が負担するせん断力 (kN)

${}_bQ$ ：ハイベース部分が負担するせん断力 (kN)

SRCハイベース工法の耐力は、一般累加式で検討してもよい。従って柱脚部分のディテールが決まればSRC造としての柱脚部分のN-M関係は得ることができ、構造計算で得られた応力をプロットすれば検討完了となる。

しかし実際には柱脚部分のディテールは、標準型式のハイベースを用いたとしてもコンクリートの断面及び強度、鉄筋径、本数及び材質によりバリエーションが多くN-M関係を求めることは困難である。よって、上式で示されている関係を実際に検討する場合の方法について次に示す。

詳細には「鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（2001年、日本建築学会）」に解説されているので参照されたい。

①コンクリート部分で負担できる応力 (cN , cM) を求める。次項にその算定式を示す。一般累加で検討するため軸力と曲げモーメントの組み合わせは任意であるが、コンクリート部分が負担可能な曲げモーメントが最大になるように軸力と曲げモーメントの組み合わせを選ぶ。

② (3.1) 式からハイベース部分が負担する必要のある軸力 (bN) を求める。

$$bN=N - cN \quad \dots \quad (3.1) \text{ 式より}$$

③ cN , cM , bN , bM が得られると、(3.1) (3.2) より鉄筋が負担する必要のある曲げモーメント (mM) が算出できる。その値をもとに鉄筋量の算出または検定を行う。

$$mM=M - cM - bM \quad \dots \quad (3.2) \text{ 式より}$$

2.2項に示す標準型式のハイベースと設計基準強度 $F_c=30\text{N/mm}^2$ を越すコンクリートを使用する場合、コンクリート部分は設計基準強度による耐力算定が可能であるが、ハイベース部分は $F_c=30\text{N/mm}^2$ を上限とした耐力算定を行う。

3.3 cN , cM の算出

コンクリート部分が負担できる軸力と曲げモーメントの関係式を表 3.5 及び表 3.6 に示す(参考文献：鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説,2001年,日本建築学会)。

表 3.5 コンクリート断面の短期許容耐力

cN の範囲	X_{n1} の範囲	$\frac{cN}{cb \cdot cD \cdot f'_c}$	$\frac{cM}{cb \cdot cD^2 \cdot f'_c}$
$0 \leq cN < \frac{cN_c}{2}$	$0 \leq X_{n1} < \frac{cD-D}{2cD}$	$\frac{X_{n1}}{2}$	$\frac{X_{n1}}{12} (3 - 2X_{n1})$
	$\frac{cD-D}{2cD} \leq X_{n1} < \frac{cD+D}{2cD}$	$\frac{1}{2X_{n1}} \left\{ X_{n1}^2 - \left(\frac{b}{cb} \right) \left(X_{n1} - \frac{cD-D}{2cD} \right)^2 \right\}$	$\frac{1}{12X_{n1}} \left\{ X_{n1}^2 (3 - 2X_{n1}) - \left(\frac{b}{cb} \right) \left(X_{n1} - \frac{cD-D}{2cD} \right)^2 \left(1 - 2X_{n1} + 2 \frac{D}{cD} \right) \right\}$
	$\frac{cD+D}{2cD} \leq X_{n1} < 1$	$\frac{1}{2X_{n1}} \left\{ X_{n1}^2 - \left(\frac{b}{cb} \right) \left(\frac{D}{cD} \right) (2X_{n1} - 1) \right\}$	$\frac{1}{12X_{n1}} \left\{ X_{n1}^2 (3 - 2X_{n1}) - \left(\frac{b}{cb} \right) \left(\frac{D}{cD} \right)^3 \right\}$
$\frac{cN_c}{2} \leq cN < cN_c$	cM		
		$\left(1 - \frac{cN}{cN_c} \right) \frac{cb \cdot cD^3 - b \cdot D^3}{6cD} f'_c$	

$$cN_c = (cb \cdot cD - b \cdot D) f'_c$$

cM : コンクリート部分の許容曲げモーメント (N・mm)

cN : コンクリート部分の許容圧縮力 (N)

X_{n1} : 柱のコンクリート部分の中立軸比

cb : 柱断面の幅 (mm)

cD : 柱断面の全せい (mm)

b : ベースプレートの幅 (mm)

D : ベースプレートのせい (mm)

f'_c : $f'_c(1-15sP_c)$ (N/mm²) f'_c : コンクリートの許容圧縮応力度 (N/mm²)

sP_c : 圧縮側鉄骨比 [$s_{ac}/(cb \cdot cD)$] s_{ac} : 圧縮側鉄骨フランジ断面積 (mm²)

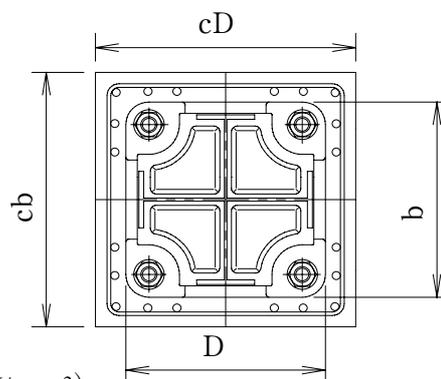


表 3.6 コンクリート断面の終局曲げ耐力

X_{n1} の範囲	$\frac{cN_u}{c_b \cdot cD \cdot F_c}$	$\frac{cM_u}{c_b \cdot cD^2 \cdot F_c}$
$0 \leq X_{n1} \leq s d_1$	-	$\frac{1}{2} \cdot \frac{cN_u}{c_b \cdot cD \cdot F_c} \left(1 - \frac{cN_u}{c_{fu} \cdot c_b \cdot cD \cdot F_c} \right)$
$s d_1 \leq X_{n1} \leq 1 - s d_1$	$c_{fu} \left\{ X_{n1} - \frac{cD}{c_b} (1 - 2s d_1)(X_{n1} - s d_1) \right\}$	$c_{fu} \left\{ \frac{X_{n1}(1 - X_{n1})}{2} - \frac{cD}{c_b} \cdot \frac{(1 - 2s d_1)(X_{n1} - s d_1)(1 - X_{n1} - s d_1)}{2} \right\}$
$1 - s d_1 \leq X_{n1} \leq 1$	$c_{fu} \left\{ X_{n1} - \frac{cD}{c_b} (1 - 2s d_1)^2 \right\}$	$c_{fu} \frac{X_{n1}(1 - X_{n1})}{2}$

$$cN_u = (c_b \cdot cD - b \cdot D) \cdot F_c \cdot c_{fu}$$

cM_u : コンクリート部分の終局曲げモーメント (N・mm)

cN_u : コンクリート部分の終局圧縮力 (N)

X_{n1} : 柱のコンクリート部分の中立軸比

$s d_1$: 鉄骨のかぶり厚さの全せいに対する比

c_b : 柱断面の幅 (mm)

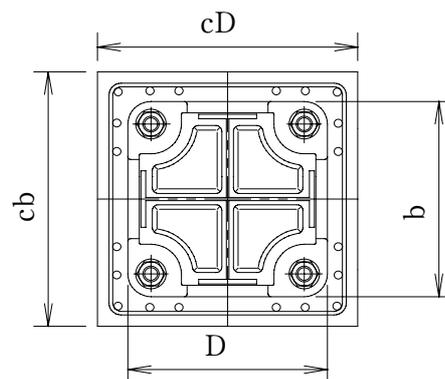
cD : 柱断面の全せい (mm)

F_c : コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)

sP_c : 圧縮側鉄骨比 [$s a_c / (c_b \cdot cD)$]

$s a_c$: 圧縮側鉄骨フランジ断面積 (mm²)

c_{fu} : 鉄骨比に応じて定まるコンクリートの F_c に対する低減係数 (=0.85-2.5 sP_c)



3.4 ハイベース部分のせん断耐力の検討

3.4.1 許容せん断耐力

SRCハイベース工法を用いたSRC非埋込み柱脚の許容せん断耐力(Qa)は、ハイベース部分の許容せん断耐力(bQa0またはbQa1)とそれを取り囲む鉄筋コンクリート部分の許容せん断耐力(rQa)の累加とする。

$$Qa = \max(bQ_{a0}, bQ_{a1}) + rQ_a \quad \dots (3.4)$$

ハイベースの許容せん断耐力は、表 3.7 による。また、鉄筋コンクリート部分の許容せん断耐力は、(3.5) 式による。

$$rQ_a = 4b' \cdot r_j \cdot f_s + 0.5 m_{as} \cdot m_{ft} \quad \dots (3.5)$$

b' : cb - b (mm)

cb : RC 柱幅 (mm)

b : ベースプレートの幅 (mm)

rj : RC 部分の応力中心距離 (mm)

fs : コンクリートの許容せん断応力度 (N/mm²)

mft : 主筋の許容引張応力度 (N/mm²)

mas : 柱脚 RC 部分に挿入した縦筋の断面積の和 (mm²)

表 3.7 ハイベース部分の許容せん断耐力

hN'	bQ _{a0}	bQ _{a1} (座金全周溶接が必要)
$hN_a \geq hN' > crN_a$	$0.4 \cdot hN$	$4 \cdot \beta \cdot bQ_a$
$crN_a \geq hN' > crN_a - 2T_a$	$0.4 \cdot \frac{hM}{hM'_a} \cdot crN_a$	$2 \cdot bQ_a \cdot \left\{ \beta + \min \left[\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{hM}{hM'_a} \cdot \frac{crN_a - hN'}{2T_a} \right)^2} \right] \right\}$
$crN_a - 2T_a \geq hN' > -2T_a$	$0.4 \cdot \frac{hM}{hM'_a} (hN' + 2T_a)$	$2 \cdot bQ_a \cdot \left\{ \beta + \min \left[\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{hM}{hM'_a} \right)^2} \right] \right\}$
$-2T_a \geq hN' > -4T_a$	0	$2 \cdot bQ_a \cdot \left\{ \min \left[\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{hM}{M'_a} \right)^2} \right] + \min \left[\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{hM}{hM'_a} \cdot \frac{-2T_a - hN'}{2T_a} \right)^2} \right] \right\}$

bQ_{a0} : ハイベース底面の摩擦による許容せん断耐力 (N)

bQ_{a1} : 座金をハイベースに全周隅肉溶接し、アンカーボルトのせん断を期待した場合の許容せん断耐力 (N)

hN_a : $a \cdot 0.75 \cdot 0.9 \cdot F_c \cdot bA$ (N)

bQ_a : $a \cdot Q_b$ (N)

bA : ハイベース底面積 (=D・b, mm²)

T_a : $a \cdot 0.75 \cdot T_b$ (N)

b : ベースプレートの幅 (mm)

D_t : アンカーボルトピッチ (mm)

D : ベースプレートのせい (mm)

a : (短期) = 1.0, (長期) = 2/3

hN, hM : 柱脚部の軸力、モーメント (NまたはN・mm)

hN', hM' : 原点と (hM, hN) を結ぶ直線と耐力曲線の交点座標 (NまたはN・mm、図参照)

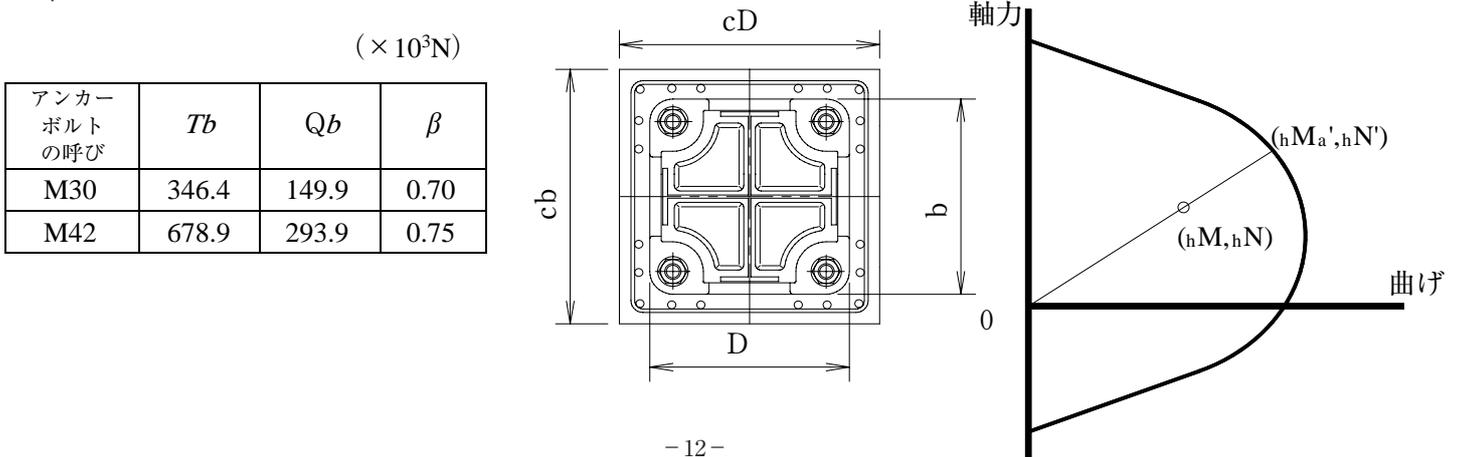
crN_a : $(D + D_t) / (2D) \cdot hN_a$ (N)

Q_b : アンカーボルト 1 本当りのせん断耐力

F_c : コンクリート設計基準強度 (N/mm²)

T_b : アンカーボルト 1 本当りの軸降伏耐力

β : ハイベースとアンカーボルトの応力伝達係数



3.4.2 終局せん断耐力

ハイベース工法を用いたSRC非埋め込み柱脚の終局せん断耐力(Q_u)は、ハイベース部分の終局せん断耐力(bQ_{u0} または bQ_{u1})とそれを取り囲む鉄筋コンクリート部分の終局せん断耐力(rQ_u)の累加とする。

$$Q_u = \max(bQ_{u0}, bQ_{u1}) + rQ_u \quad \dots (3.6)$$

ハイベース部分の終局せん断耐力は、表3.8による。また、鉄筋コンクリート部分の許容せん断耐力は、(3.7)式による。

$$rQ_u = b' \cdot r_j \cdot 2F_s + 0.5 m a_s \cdot m \sigma_y \quad \dots (3.7)$$

b' : $cb - b$ (mm)

b : RC柱幅 (mm)

b : ベースプレートの幅 (mm)

r_j : RC部分の応力中心距離 (mm)

F_s : コンクリートのせん断応力度 (N/mm^2)

$m \sigma_y$: 主筋の降伏応力度 (N/mm^2)

$m a_s$: せん断力伝達のために挿入した縦筋の断面積の和 (mm^2)

表3.8 ハイベース部分の終局せん断耐力

hN の範囲	bQ_{u0}	bQ_{u1} (座金全周溶接が必要)
$hN_u \geq hN > crN_u$	$0.5hN$	$4 \cdot \beta \cdot bQ_u$
$crN_u \geq hN > crN_u - 2T_u$	$0.5 crN_u$	$2bQ_u \cdot \left\{ \beta + \min \left[\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{crN_u - hN}{2T_u} \right)^2} \right] \right\}$
$crN_u - 2T_u \geq hN > -2T_u$	$0.5(hN + 2T_u)$	$Q_{u1} = 2 \beta \cdot bQ_u$
$-2T_u \geq hN > -4T_u$	0	$2bQ_u \cdot \min \left[\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{-2T_u - hN}{2T_u} \right)^2} \right]$

bQ_{u0} : ハイベース底面の摩擦による終局せん断耐力(N)

bQ_{u1} : 座金をハイベースに全周隅肉溶接し、アンカーボルトのせん断を期待した場合の終局せん断耐力 (N)

hN_u : $0.9 \cdot F_c \cdot bA$ (N)

bQ_u : Q_b (N)

bA : ハイベース底面積 ($=D \cdot b, mm^2$)

crN_u : $(D + Dt) / (2D) \cdot hN_u$ (N)

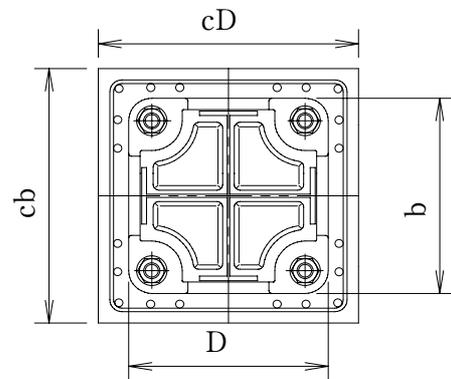
b : ベースプレートの幅 (mm)

D : ベースプレートのせい (mm)

D_t : アンカーボルトピッチ (mm)

F_c : コンクリート設計基準強度 (N/mm^2)

T_u : T_b (N)



3.5 アンカーボルトの定着

3.5.1 基礎コンクリートによる定着（コーン耐力による）

基礎柱形部が十分に大きく、各引張側アンカーボルトが(3.8)式を満足する場合、コンクリートのコーン耐力によりアンカーボルトに発生する引張力を基礎に伝達することが可能である。

$$0.25\sqrt{F_c} \cdot A_c > T_{eu} \quad \dots (3.8)$$

F_c ：コンクリート設計基準強度(N/mm²)

A_c ：コンクリートのコーン破壊面の有効水平投影面積(mm²)

T_{eu} ：アンカーボルトのねじ部破断耐力(N)

表 3.9 アンカーボルトの T_{eu} (kN)

M30	M42
392.5	784.7

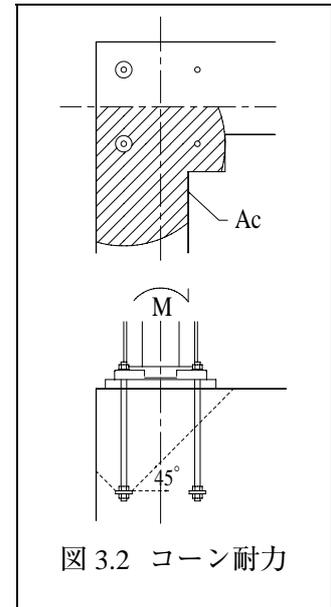


図 3.2 コーン耐力

3.5.2 基礎柱形主筋による定着

前項(3.8)式を満足できない場合は、(3.9)(3.10)式を満足する鉄筋によりアンカーボルトの定着を確保する。この時、この鉄筋は柱脚部の耐力算定には用いないものとし、基礎への円滑な応力伝達を行うために定着長さ L_t （上部、下部重ね長さ）を確保する必要がある(図3.3参照)。また、表3.10にアンカーボルト1本当りの必要鉄筋本数(n_r/n)を示す。本項に従いアンカーボルトの定着を行なう場合、表3.10の数値に引張力の発生するアンカーボルト本数を乗じた本数以上の鉄筋が必要である。

$$n_r \cdot A_r \cdot rF_u \geq n \cdot T_b \quad \dots (3.9)$$

n_r ：アンカーボルト定着に用いる鉄筋本数

A_r ：鉄筋1本の断面積 (mm²)

rF_u ：鉄筋のF値 (JIS製品は1.1倍可) (N/mm²)

T_b ：アンカーボルト終局耐力 (3.4項参照) (N)

n ：引張側アンカーボルト本数

rF ：鉄筋のF値 (N/mm²)

$$L_t \geq \frac{d_b \cdot F}{4\tau_{bu}} \quad \dots (3.10)$$

L_t ：鉄筋の定着長さ d_b ：主筋径

F ：主筋の降伏応力

$$\tau_{bu} = \left\{ (0.086b_i + 0.11)\sqrt{F_c} + k_{st} \right\}$$

$$b_i = \min(b_{si}, b_{ci})$$

$$b_{si} = (b - N_l d_b) / (N_l d_b) \quad b_{ci} = \left\{ \sqrt{2} \cdot 2d_{cs} - d_b \right\} / d_b$$

$$k_{st} = \begin{cases} (56 + 47N_w / N_l)(b_{si} + 1)p_w & b_{ci} \geq b_{si} \text{ のとき} \\ 146A_w / (d_b \cdot s) & b_{ci} < b_{si} \text{ のとき} \end{cases}$$

F_c ：コンクリート強度(N/mm²)

b ：基礎柱形幅 N_l ：一列の鉄筋本数 N_w ：帯筋の足の数

d_{cs} ：主筋の中心から側面までのかぶり厚さ p_w ：帯筋比

A_w ：帯筋1本の断面積 s ：帯筋間隔

(日本建築学会編「鉄筋コンクリート造建物の靱性保証型耐震設計指針・同解説」参照)

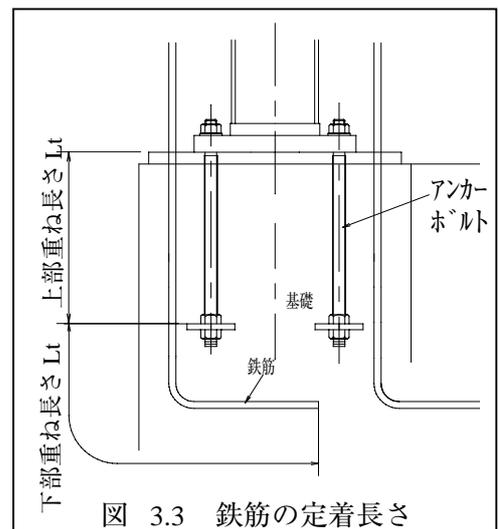


図 3.3 鉄筋の定着長さ

表 3.10 n_r/n (本)

		M30	M42
D22	SD345	3	5
	SD390	3	5
D25	SD345	2	4
	SD390	2	3
D29	SD345	2	3
	SD390	2	3

付録1. R C柱形と S R Cハイベースの納まり図 (参考)



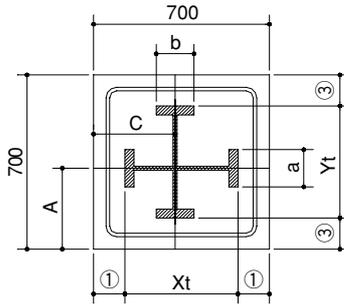
注意

- ① 本納まり図は、一例です。
- ② 本納まり図とディテールが異なる場合はセンクシア(株)にお問い合わせください。

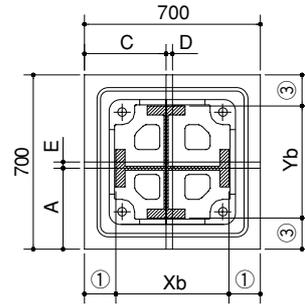
X400-S1-30 (RCサイズ 700×700)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

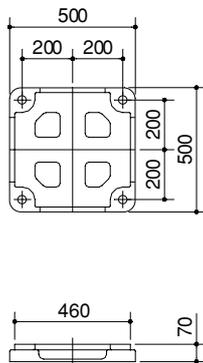


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

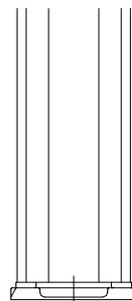
①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	450	450	—	—	—	—	125	—	450	450	—	—
			325	~150		25		~150			25	
			350	~200		0		~200			0	
			375	~150		25		~150			25	
			—	—		—		—			—	
150	400	400	—	—	—	—	150	—	400	400	—	—
			—	—		—		—			—	
			350	~150		0		~150			0	
			—	—		—		—			—	
			—	—		—		—			—	

ハイベース各部の寸法

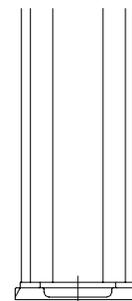


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

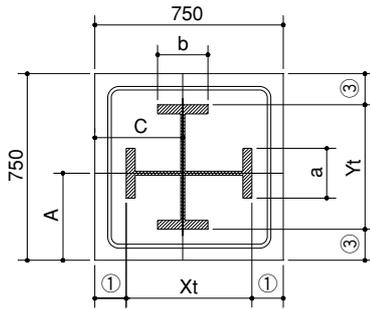


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

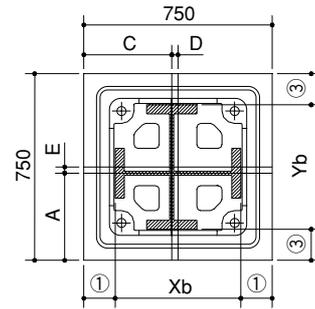
X450-S1-30 (RCサイズ 750×750)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



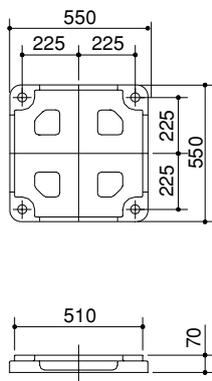
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

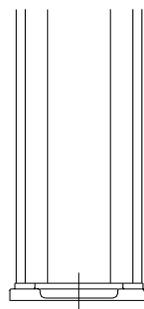
①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	500	500	325	~150	-	50	125	325	500	500	~150	50
			350	~200		25					~200	25
			375	~250		0					~250	0
			400	~200		25					~200	25
			425	~150		50					~150	50
			-	-		-					-	-
150	450	450	-	-	-	-	150	-	450	450	-	-
			350	~150		25					~150	25
			375	~200		0					~200	0
			400	~150		25					~150	25
			-	-		-					-	-
			-	-		-					-	-

ハイベース各部の寸法

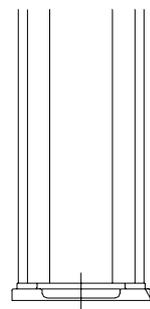
鉄骨絞り図 (参考)



X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

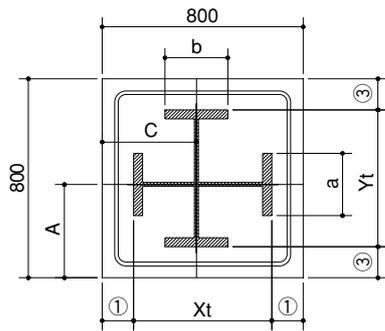


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

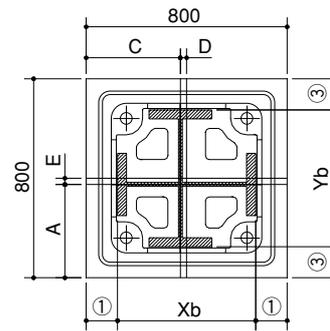
X500-S1-42 (RCサイズ 800×800)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

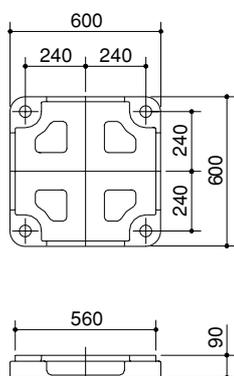


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

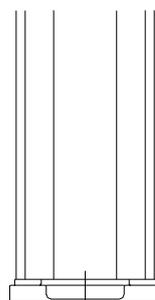
①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	550	550	350	~200	-	50	125	350	550	550	~200	50
			375	~250		25		~250			25	
			400	~300		0		~300			0	
			425	~250		25		~250			25	
			450	~200		50		~200			50	
			-	-		-		-			-	
150	500	500	350	~150	-	50	150	350	500	500	~150	50
			375	~200		25		~200			25	
			400	~250		0		~250			0	
			425	~200		25		~200			25	
			450	~150		50		~150			50	
			-	-		-		-			-	

ハイベース各部の寸法

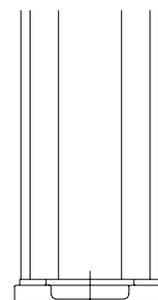


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

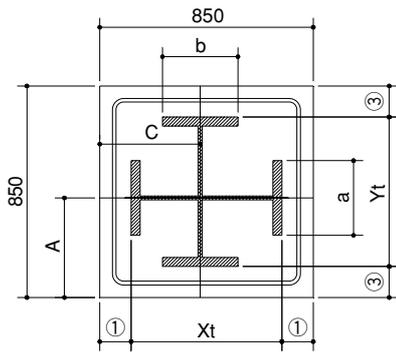


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

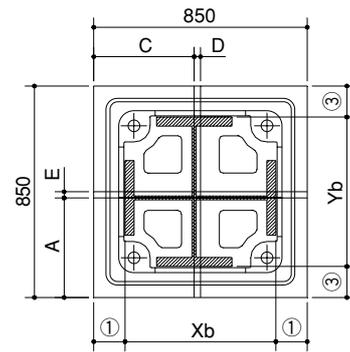
X550-S1-42 (RCサイズ 850×850)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

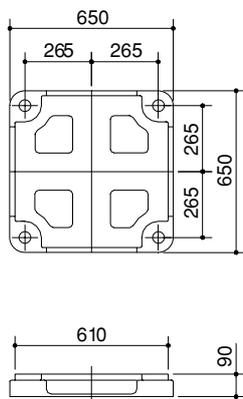


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

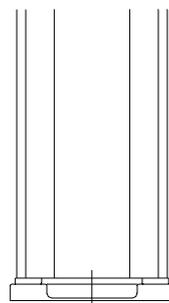
①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	600	600	375	~250	-	50	125	375	600	600	~250	50
			400	~300		25		400			~300	25
			425	~350		0		425			~350	0
			450	~300		25		450			~300	25
			475	~250		50		475			~250	50
			-	-		-		-			-	-
150	550	550	375	~200	-	50	150	375	550	550	~200	50
			400	~250		25		400			~250	25
			425	~300		0		425			~300	0
			450	~250		25		450			~250	25
			475	~200		50		475			~200	50
			-	-		-		-			-	-

ハイベース各部の寸法

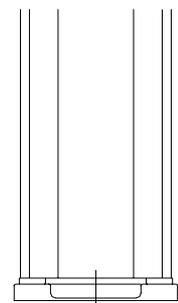


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

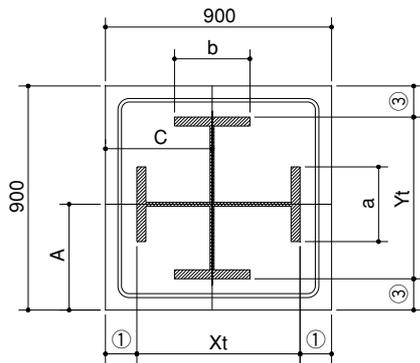


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

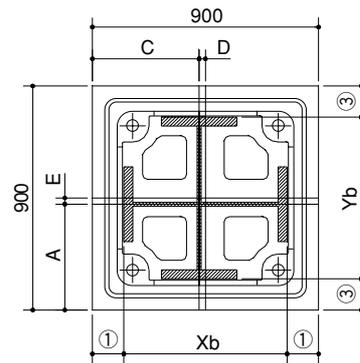
X600-S1-42 (RCサイズ 900×900)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

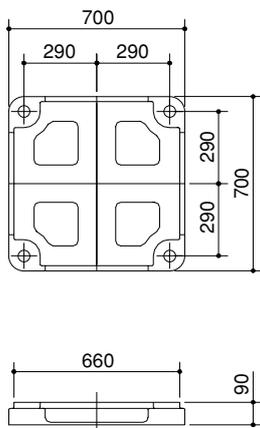


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	650	650	400	~300	-	50	125	400	650	650	~300	50
			425	~350		25		~350			25	
			450	~400		0		~400			0	
			475	~350		25		~350			25	
			500	~300		50		~300			50	
			-	-		-		-			-	
150	600	600	400	~250	-	50	150	400	600	600	~250	50
			425	~300		25		~300			25	
			450	~350		0		~350			0	
			475	~300		25		~300			25	
			500	~250		50		~250			50	
			-	-		-		-			-	

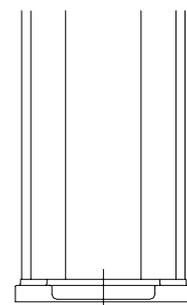
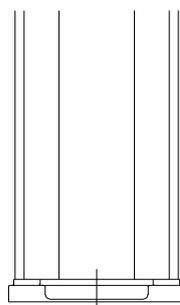
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

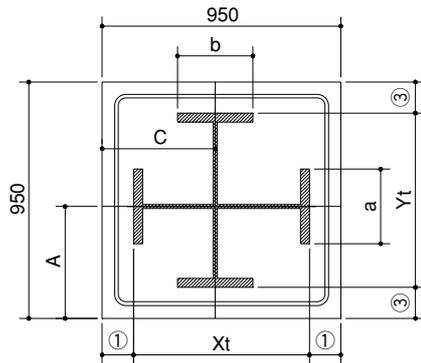


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

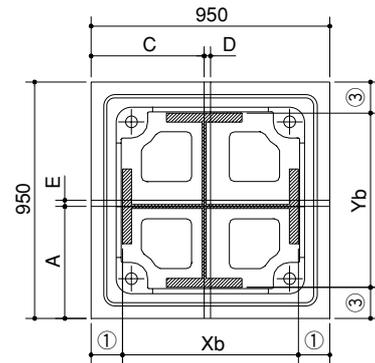
X650-S1-42 (RCサイズ`950×950)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

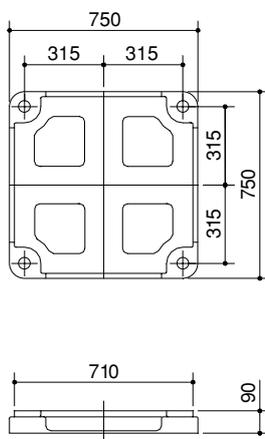


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	700	700	425	~350	-	50	125	700	700	~350	50	
			450	~400		25				~400	25	
			475	~450		0				~450	0	
			500	~400		25				~400	25	
			525	~350		50				~350	50	
			-	-		-				-	-	
150	650	650	425	~300	-	50	150	650	650	~300	50	
			450	~350		25				~350	25	
			475	~400		0				~400	0	
			500	~350		25				~350	25	
			525	~300		50				~300	50	
			-	-		-				-	-	

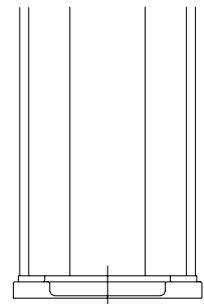
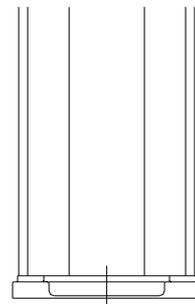
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

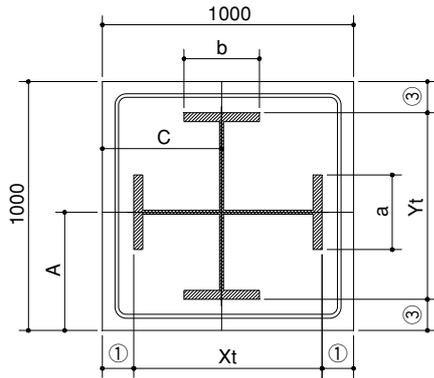


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

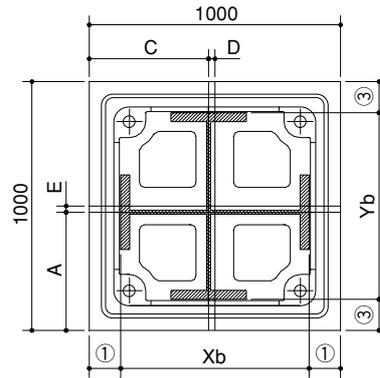
X700-S1-42 (RCサイズ 1000×1000)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

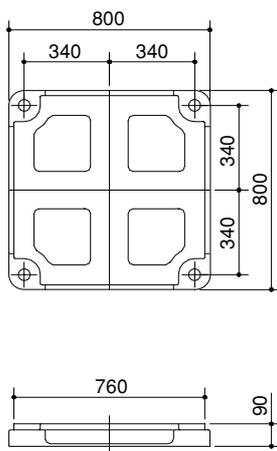


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	750	750	450	~400	-	50	125	450	750	750	~400	50
			475	~450		25		~450			25	
			500	~450		0		~450			0	
			525	~450		25		~450			25	
			550	~400		50		~400			50	
			-	-		-		-			-	
150	700	700	450	~350	-	50	150	450	700	700	~350	50
			475	~400		25		~400			25	
			500	~450		0		~450			0	
			525	~400		25		~400			25	
			550	~350		50		~350			50	
			-	-		-		-			-	

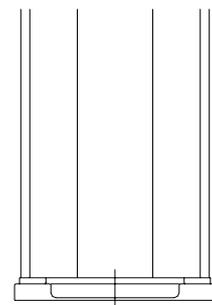
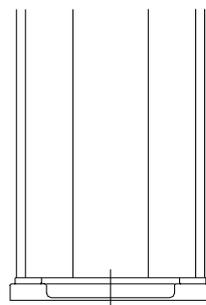
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

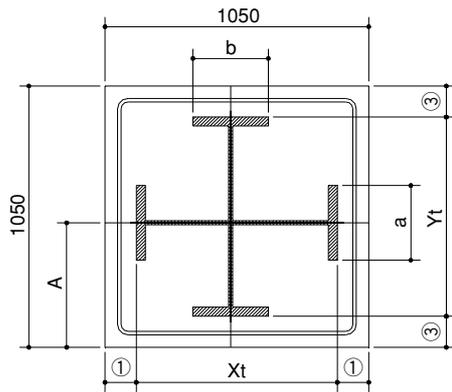


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

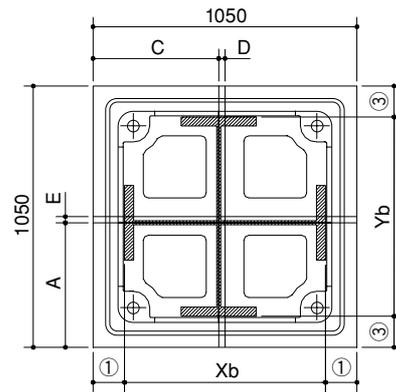
X750-S1-42 (RCサイズ 1050×1050)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

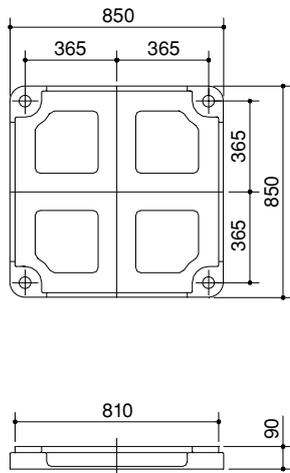


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	800	800	475	~450	-	50	125	475	800	800	~450	50
			500	~450		25					~450	25
			525	~450		0					~450	0
			550	~450		25					~450	25
			575	~450		50					~450	50
			-	-		-					-	-
150	750	750	475	~400	-	50	150	475	750	750	~400	50
			500	~450		25					~450	25
			525	~450		0					~450	0
			550	~450		25					~450	25
			575	~400		50					~400	50
			-	-		-					-	-

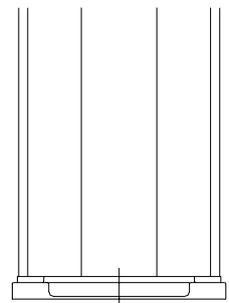
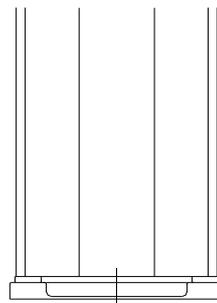
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

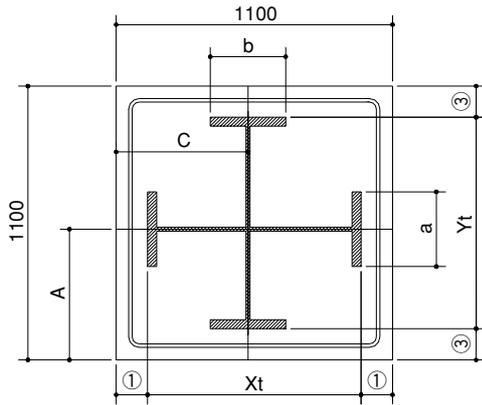


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

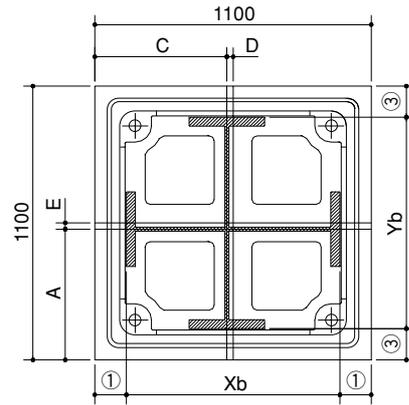
X800-S1-42 (RCサイズ 1100×1100)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

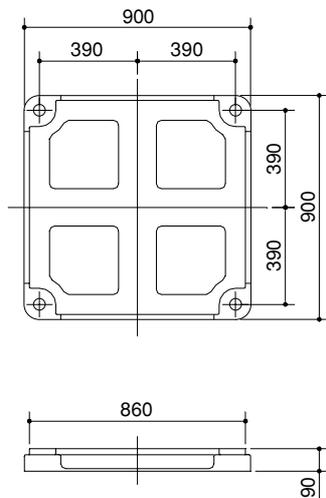


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	850	850	500	~450	-	50	125	500	850	850	~450	50
			525	~450		25		~450			25	
			550	~450		0		~450			0	
			575	~450		25		~450			25	
			600	~450		50		~450			50	
			-	-		-		-			-	
150	800	800	500	~450	-	50	150	500	800	800	~450	50
			525	~450		25		~450			25	
			550	~450		0		~450			0	
			575	~450		25		~450			25	
			600	~450		50		~450			50	
			-	-		-		-			-	

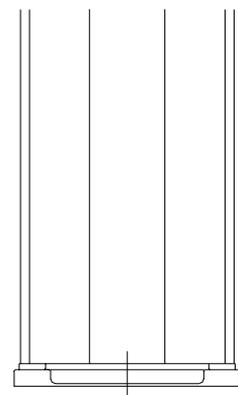
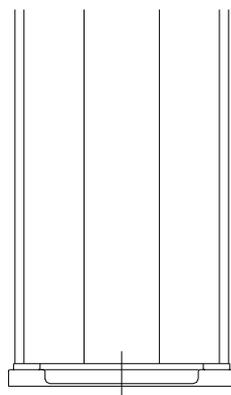
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

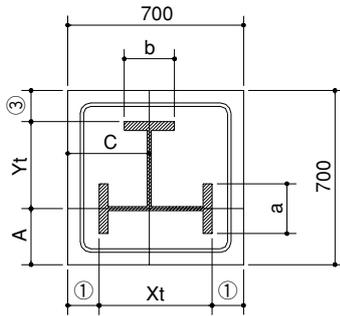


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

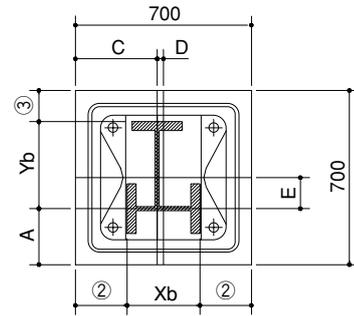
T400-S1-30 (RCサイズ 700×700)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

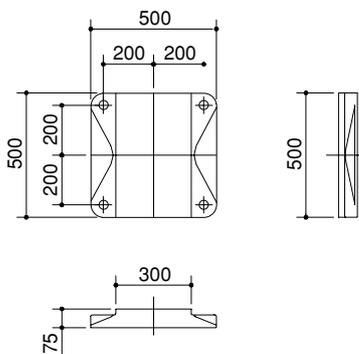


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	450	290	—	—	205	—	125	200	375	375	~150	150
			—	—		—		225	350	350	~200	125
			300	~150		50		250	325	325	~250	100
			325	~200		25		275	300	300	~300	75
			350	~250		0		300	275	275	~250	50
			375	~200		25		325	250	250	~200	25
			400	~150		50		350	225	225	~150	0
			—	—		—		—	—	—	—	—
			—	—		—		—	—	—	—	—
150	400	290	—	—	205	—	150	225	325	325	~150	125
			—	—		—		250	300	300	~200	100
			300	~150		50		275	275	275	~250	75
			325	~200		25		300	250	250	~200	50
			350	~250		0		325	225	225	~150	25
			375	~200		25		—	—	—	—	—
			400	~150		50		—	—	—	—	—
			—	—		—		—	—	—	—	—
			—	—		—		—	—	—	—	—

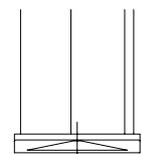
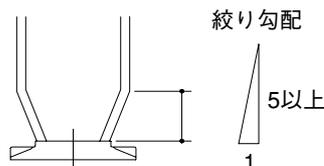
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

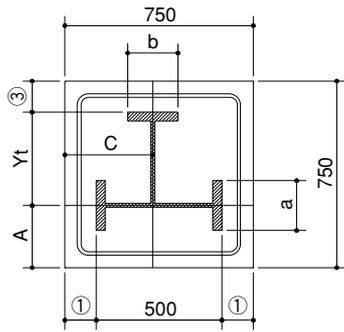


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

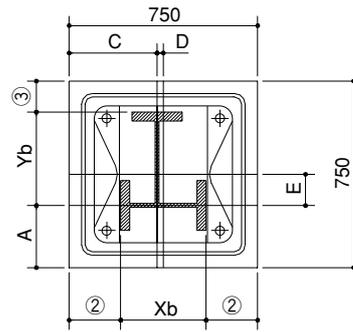
T450-S1-30 (RCサイズ 750×750)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

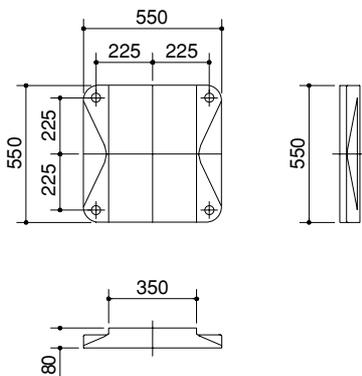


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	500	340	—	—	205	—	125	200	425	425	~150	175
			300	~150		75		225	400	400	~200	150
			325	~200		50		250	375	375	~250	125
			350	~250		25		275	350	350	~300	100
			375	~300		0		300	325	325	~350	75
			400	~250		25		325	300	300	~300	50
			425	~200		50		350	275	275	~250	25
			450	~150		75		375	250	250	~200	0
			—	—		—		400	225	225	~150	25
150	450	340	—	—	205	—	150	225	375	375	~150	150
			300	~150		75		250	350	350	~200	125
			325	~200		50		275	325	325	~250	100
			350	~250		25		300	300	300	~300	75
			375	~300		0		325	275	275	~250	50
			400	~250		25		350	250	250	~200	25
			425	~200		50		375	225	225	~150	0
			450	~150		75		—	—	—	—	—
			—	—		—		—	—	—	—	—

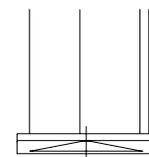
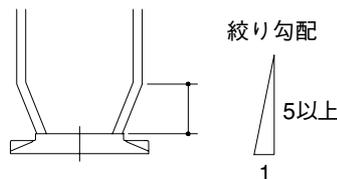
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

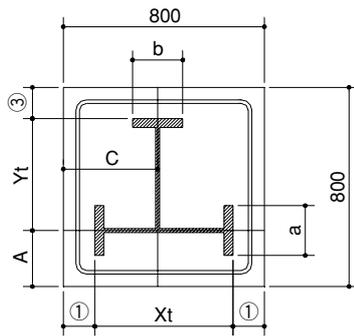


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

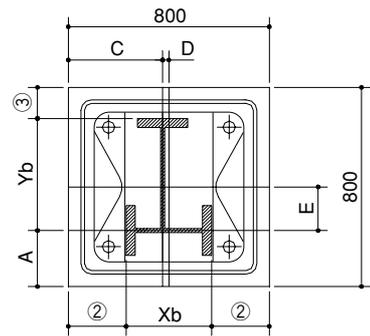
T500-S1-42 (RCサイズ 800×800)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

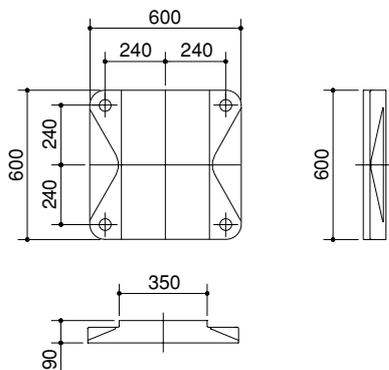


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	550	340	—	—	230	—	125	200	475	475	~150	200
			325	~150		75		225	450	450	~200	175
			350	~200		50		250	425	425	~250	150
			375	~250		25		275	400	400	~300	125
			400	~300		0		300	375	375	~350	100
			425	~250		25		325	350	350	~400	75
			450	~200		50		350	325	325	~350	50
			475	~150		75		375	300	300	~300	25
			—	—		—		400	275	275	~250	0
150	500	340	—	—	230	—	150	225	425	425	~150	175
			325	~150		75		250	400	400	~200	150
			350	~200		50		275	375	375	~250	125
			375	~250		25		300	350	350	~300	100
			400	~300		0		325	325	325	~350	75
			425	~250		25		350	300	300	~300	50
			450	~200		50		375	275	275	~250	25
			475	~150		75		400	250	250	~200	0
			—	—		—		425	225	225	~150	25

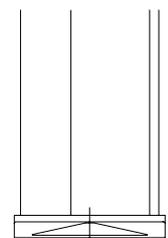
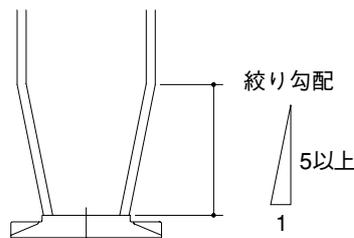
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

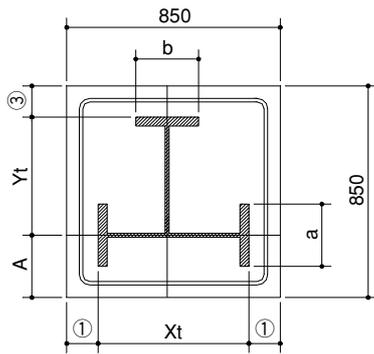


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

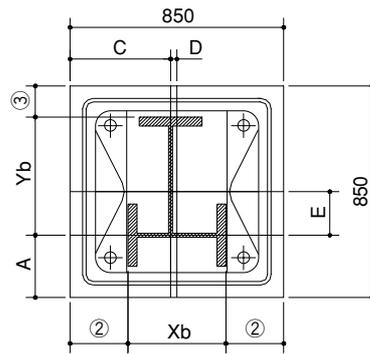
T550-S1-42 (RCサイズ 850×850)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

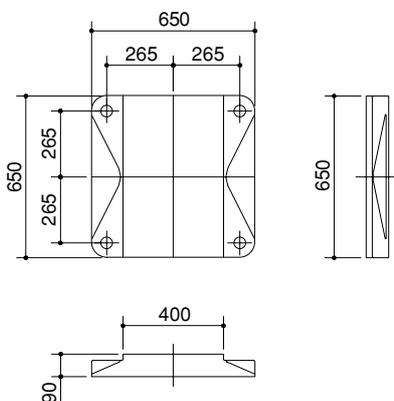


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	600	390	325	~150	230	100	125	200	525	525	~150	225
			350	~200		75		225	500	500	~200	200
			375	~250		50		250	475	475	~250	175
			400	~300		25		275	450	450	~300	150
			425	~350		0		300	425	425	~350	125
			450	~300		25		325	400	400	~400	100
			475	~250		50		350	375	375	~450	75
			500	~200		75		375	350	350	~400	50
			525	~150		100		400	325	325	~350	25
			150	550		390		325	~150	230	100	150
350	~200	75			250		450	450	~200		175	
375	~250	50			275		425	425	~250		150	
400	~300	25			300		400	400	~300		125	
425	~350	0			325		375	375	~350		100	
450	~300	25			350		350	350	~400		75	
475	~250	50			375		325	325	~350		50	
500	~200	75			400		300	300	~300		25	
525	~150	100			425		275	275	~250		0	

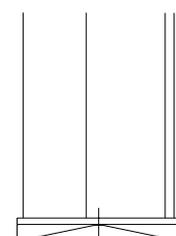
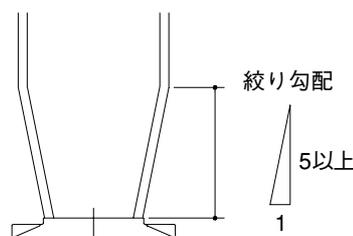
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

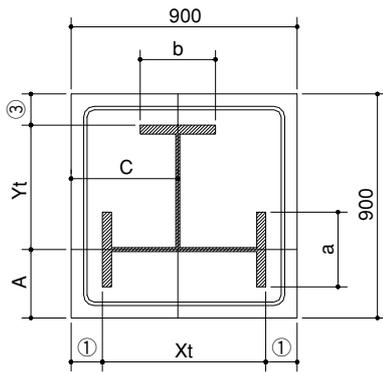


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

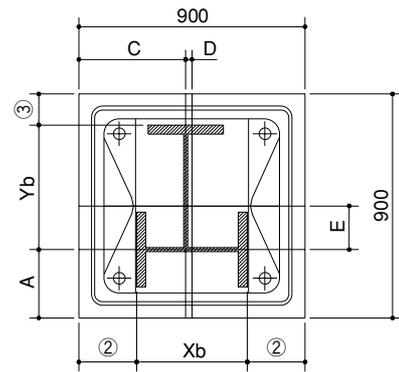
T600-S1-42 (RCサイズ`900×900)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

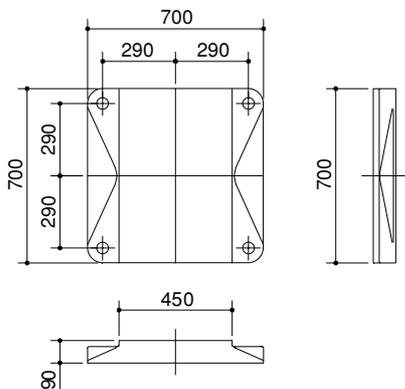


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	650	440	350	~200	230	100	125	200	575	575	~150	250
			375	~250		75		225	550	550	~200	225
			400	~300		50		250	525	525	~250	200
			425	~350		25		275	500	500	~300	175
			450	~400		0		300	475	475	~350	150
			475	~350		25		325	450	450	~400	125
			500	~300		50		350	425	425	~450	100
			525	~250		75		375	400	400	~450	75
			550	~200		100		400	375	375	~450	50
150	600	440	350	~200	230	100	150	225	525	525	~150	225
			375	~250		75		250	500	500	~200	200
			400	~300		50		275	475	475	~250	175
			425	~350		25		300	450	450	~300	150
			450	~400		0		325	425	425	~350	125
			475	~350		25		350	400	400	~400	100
			500	~300		50		375	375	375	~450	75
			525	~250		75		400	350	350	~400	50
			550	~200		100		425	325	325	~350	25

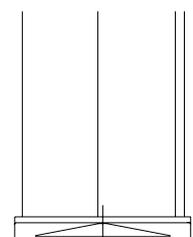
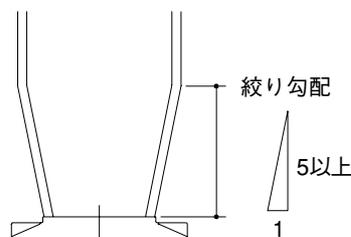
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱



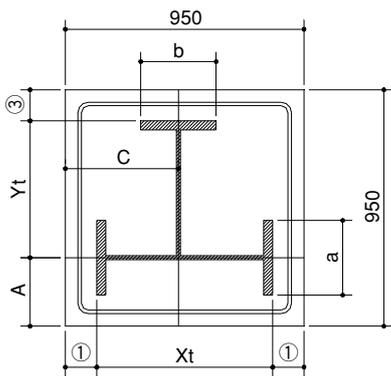
※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

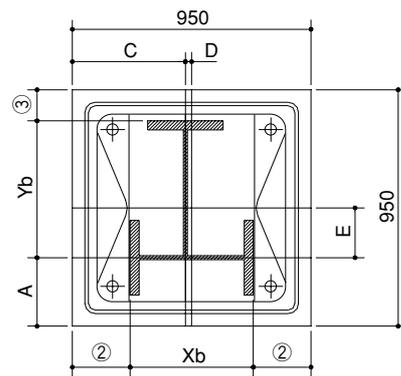
T650-S1-42 (RCサイズ`950×950)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

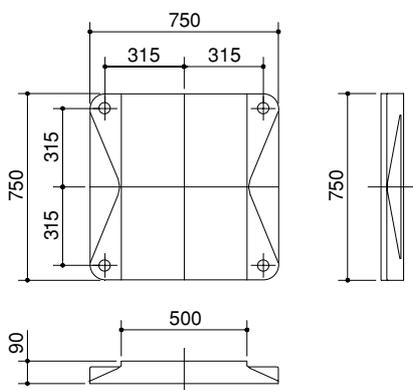


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	700	490	375	~250	230	100	125	200	625	625	~150	275
			400	~300		75		225	600	600	~200	250
			425	~350		50		250	575	575	~250	225
			450	~400		25		275	550	550	~300	200
			475	~450		0		300	525	525	~350	175
			500	~400		25		325	500	500	~400	150
			525	~350		50		350	475	475	~450	125
			550	~300		75		375	450	450	~450	100
			575	~250		100		400	425	425	~450	75
			150	650		490		375	~250	230	100	150
400	~300	75			250		550	550	~200		225	
425	~350	50			275		525	525	~250		200	
450	~400	25			300		500	500	~300		175	
475	~450	0			325		475	475	~350		150	
500	~400	25			350		450	450	~400		125	
525	~350	50			375		425	425	~450		100	
550	~300	75			400		400	400	~450		75	
575	~250	100			425		375	375	~450		50	

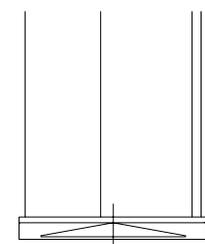
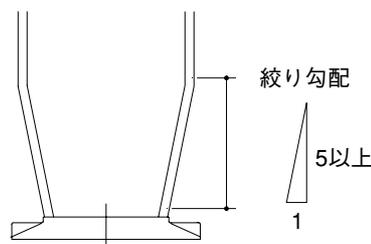
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

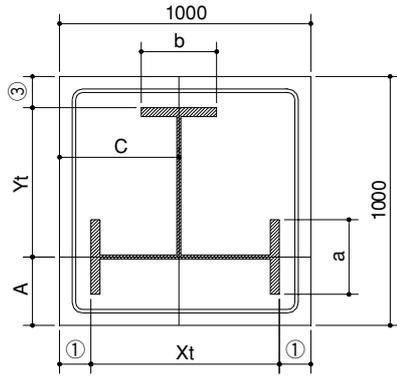


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

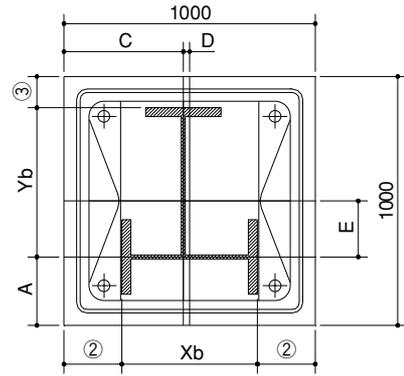
T700-S1-42 (RCサイズ 1000×1000)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

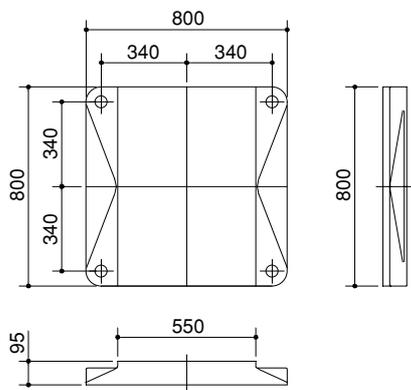


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	750	540	400	~300	230	100	125	200	675	675	~150	300
			425	~350		75		225	650	650	~200	275
			450	~400		50		250	625	625	~250	250
			475	~450		25		275	600	600	~300	225
			500	~450		0		300	575	575	~350	200
			525	~450		25		325	550	550	~400	175
			550	~400		50		350	525	525	~450	150
			575	~350		75		375	500	500	~450	125
			600	~300		100		400	475	475	~450	100
150	700	540	400	~300	230	100	150	225	625	625	~150	275
			425	~350		75		250	600	600	~200	250
			450	~400		50		275	575	575	~250	225
			475	~450		25		300	550	550	~300	200
			500	~450		0		325	525	525	~350	175
			525	~450		25		350	500	500	~400	150
			550	~400		50		375	475	475	~450	125
			575	~350		75		400	450	450	~450	100
			600	~300		100		425	425	425	~450	75

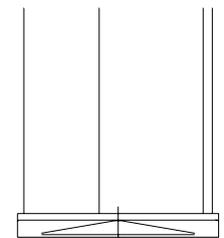
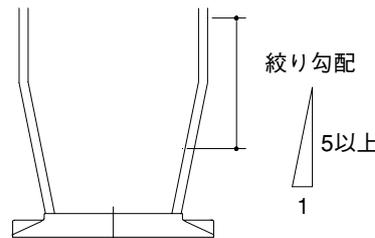
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱



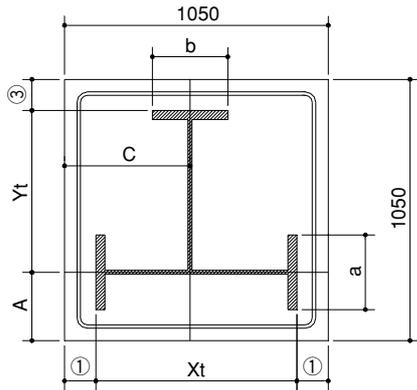
※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。

※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

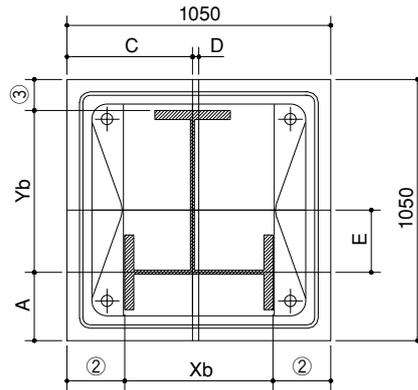
T750-S1-42 (RCサイズ 1050×1050)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

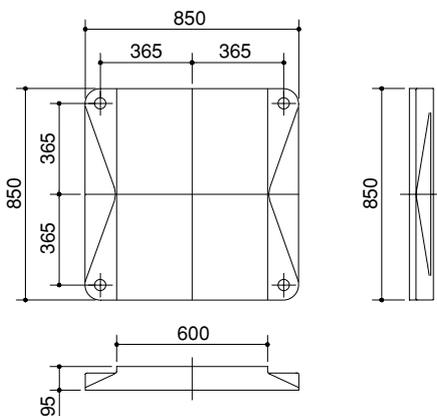


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	800	590	425	~350	230	100	125	200	725	725	~150	325
			450	~400		75		225	700	700	~200	300
			475	~450		50		250	675	675	~250	275
			500	~450		25		275	650	650	~300	250
			525	~450		0		300	625	625	~350	225
			550	~450		25		325	600	600	~400	200
			575	~450		50		350	575	575	~450	175
			600	~400		75		375	550	550	~450	150
			625	~350		100		400	525	525	~450	125
150	750	590	425	~350	230	100	150	225	675	675	~150	300
			450	~400		75		250	650	650	~200	275
			475	~450		50		275	625	625	~250	250
			500	~450		25		300	600	600	~300	225
			525	~450		0		325	575	575	~350	200
			550	~450		25		350	550	550	~400	175
			575	~450		50		375	525	525	~450	150
			600	~400		75		400	500	500	~450	125
			625	~350		100		425	475	475	~450	100

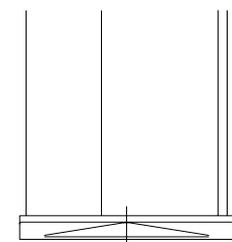
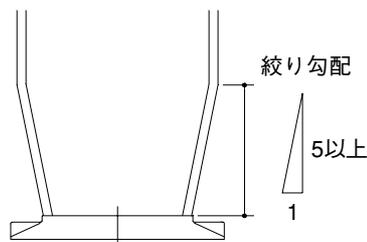
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

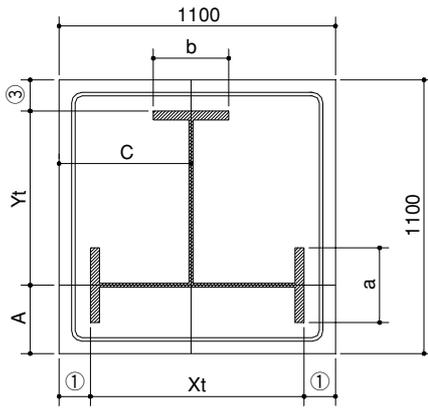


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

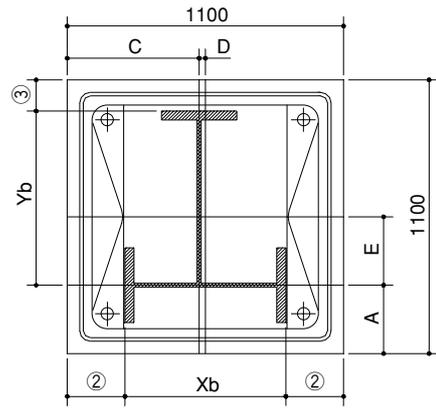
T800-S1-42 (RCサイズ 1100×1100)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

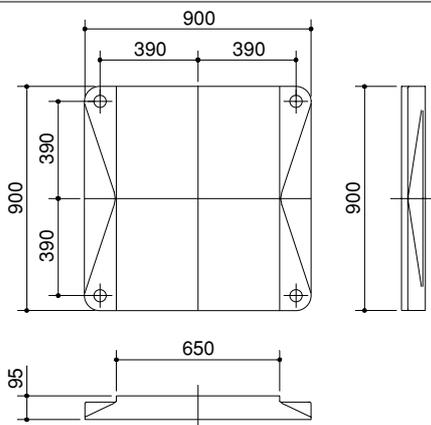


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	850	640	450	~400	230	100	125	200	775	775	~150	350
			475	~450		75		225	750	750	~200	325
			500	~450		50		250	725	725	~250	300
			525	~450		25		275	700	700	~300	275
			550	~450		0		300	675	675	~350	250
			575	~450		25		325	650	650	~400	225
			600	~450		50		350	625	625	~450	200
			625	~450		75		375	600	600	~450	175
			650	~400		100		400	575	575	~450	150
150	800	640	450	~400	230	100	150	225	725	725	~150	325
			475	~450		75		250	700	700	~200	300
			500	~450		50		275	675	675	~250	275
			525	~450		25		300	650	650	~300	250
			550	~450		0		325	625	625	~350	225
			575	~450		25		350	600	600	~400	200
			600	~450		50		375	575	575	~450	175
			625	~450		75		400	550	550	~450	150
			650	~400		100		425	525	525	~450	125

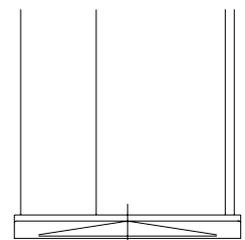
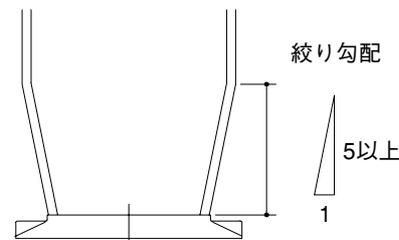
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

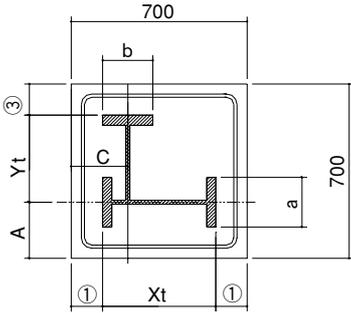


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

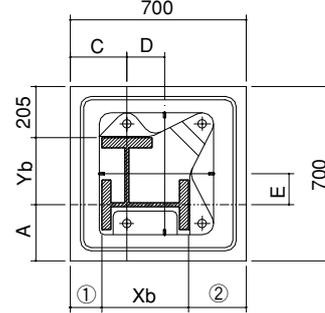
LL400-S1-30 (RCサイズ 700×700)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

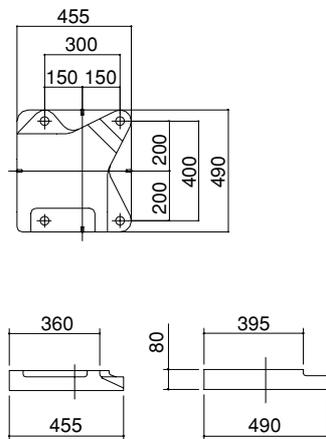


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	450	345	225	~200	230	150	125	225	350	270	~200	125
			250	~250		125		250	325	245	~200	100
			275	~300		100		275	300	220	~150	75
			300	~250		75		—	—	—	—	—
			325	~200		50		—	—	—	—	—
			350	~150		25		—	—	—	—	—
150	400	345	250	~200	205	150	150	225	325	270	~150	125
			275	~250		125		250	300	245	~200	100
			300	~300		100		275	275	220	~150	75
			325	~250		75		—	—	—	—	—
			350	~200		50		—	—	—	—	—
			—	—		—		—	—	—	—	—

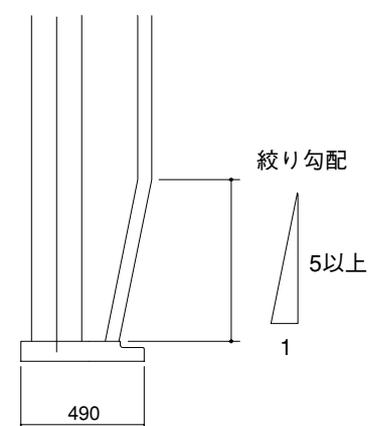
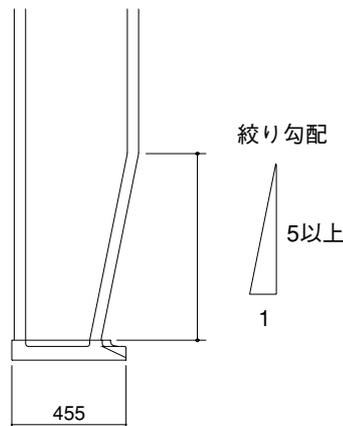
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

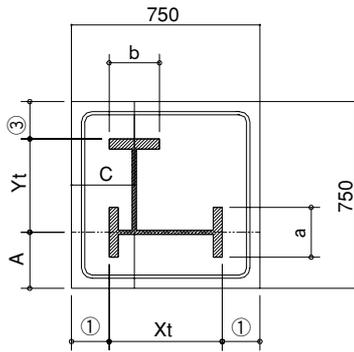


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

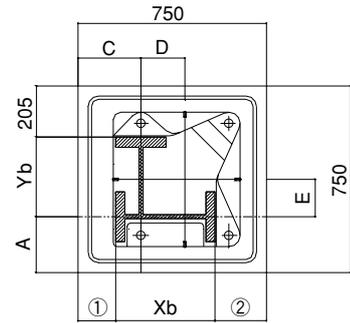
LL450-S1-30 (RCサイズ 750×750)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



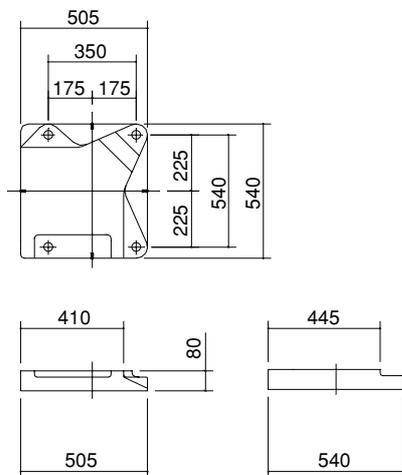
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	500	395	225	~200	230	175
			250	~250		150
			275	~300		125
			300	~300		100
			325	~250		75
			350	~200		50
150	450	395	250	~200	205	175
			275	~250		150
			300	~300		125
			325	~300		100
			350	~250		75
			375	~200		50

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

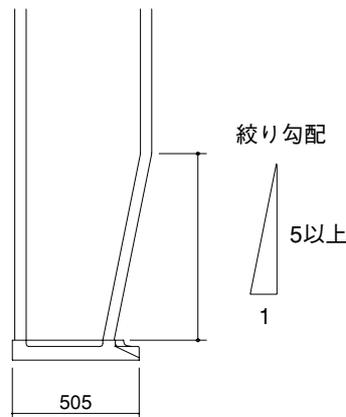
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	225	400	320	~200	150
	250	375	295	~250	125
	275	350	270	~250	100
	300	325	245	~200	75
	325	300	220	~150	50
	—	—	—	—	—
150	225	375	320	~150	150
	250	350	295	~200	125
	275	325	270	~250	100
	300	300	245	~200	75
	325	275	220	~150	50
	—	—	—	—	—

ハイベース各部の寸法

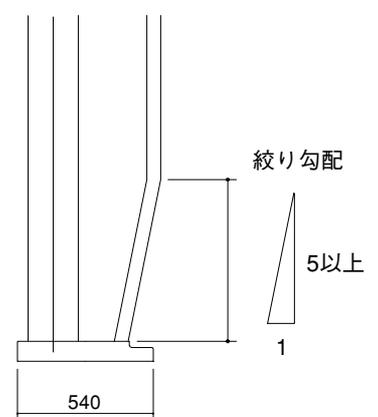


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

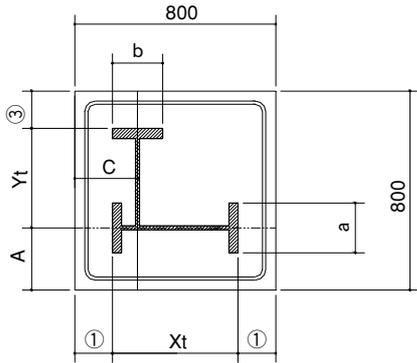


Y方向鉄骨柱

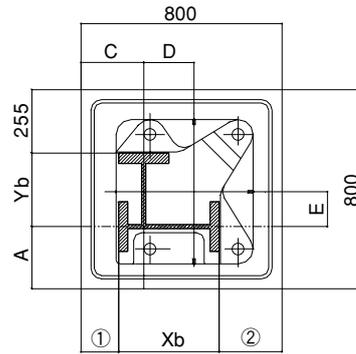


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

柱頭納まり図



柱脚納まり図



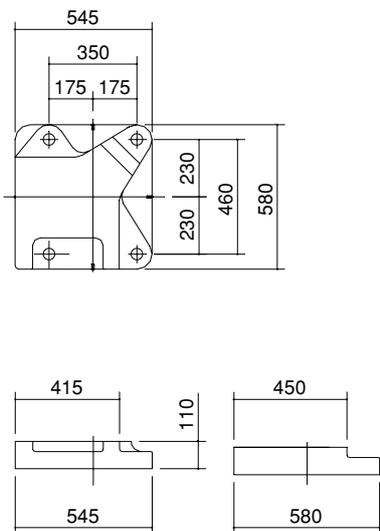
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	550	400	225	~200	275	200
			250	~250		175
			275	~300		150
			300	~350		125
			325	~350		100
			350	~300		75
150	500	400	250	~200	250	200
			275	~250		175
			300	~300		150
			325	~350		125
			350	~350		100
			375	~300		75

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

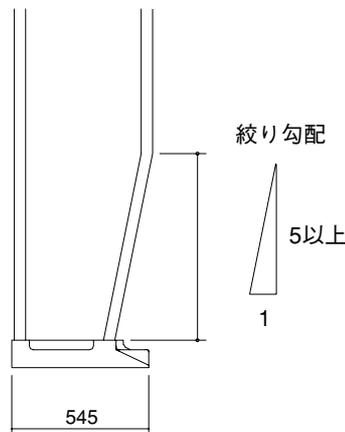
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	425	295	~250	140
	275	400	270	~250	115
	300	375	245	~200	90
	325	350	220	~150	65
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
150	250	400	295	~250	140
	275	375	270	~250	115
	300	350	245	~200	90
	325	325	220	~150	65
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

ハイベース各部の寸法

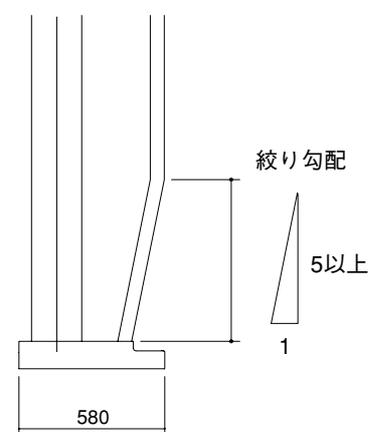


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱

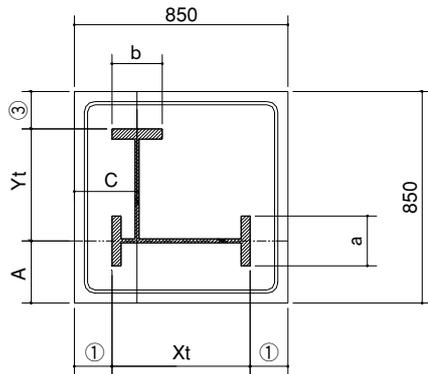


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

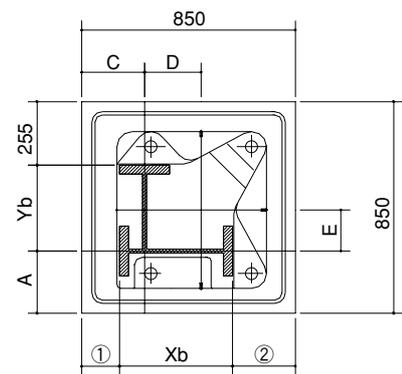
LL550-S1-42 (RCサイズ`850×850)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

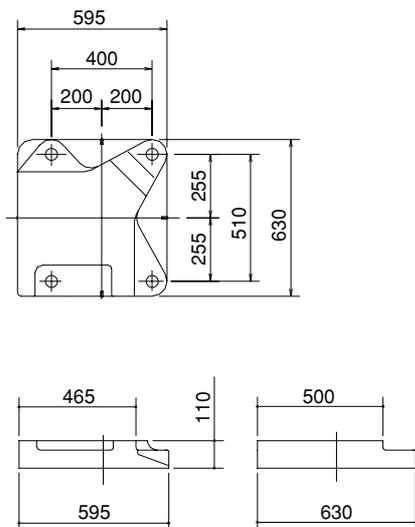


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	600	450	225	~200	275	225	125	250	475	345	~250	165
			250	~250		200		275	450	320	~300	140
			275	~300		175		300	425	295	~300	115
			300	~350		150		325	400	270	~250	90
			325	~350		125		350	375	245	~200	65
			350	~350		100		375	350	220	~150	40
150	550	450	250	~200	250	225	150	250	450	345	~200	165
			275	~250		200		275	425	320	~250	140
			300	~300		175		300	400	295	~300	115
			325	~350		150		325	375	270	~250	90
			350	~350		125		350	350	245	~200	65
			375	~350		100		375	325	220	~150	40

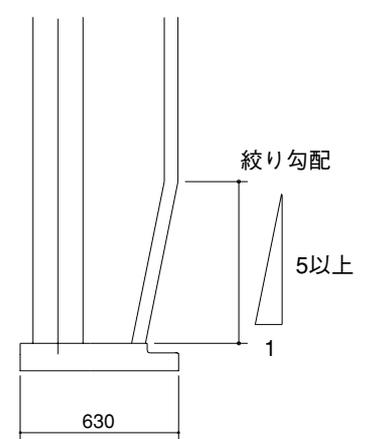
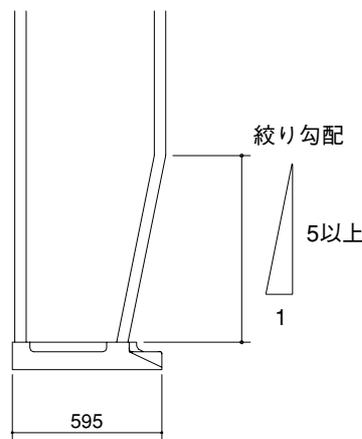
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

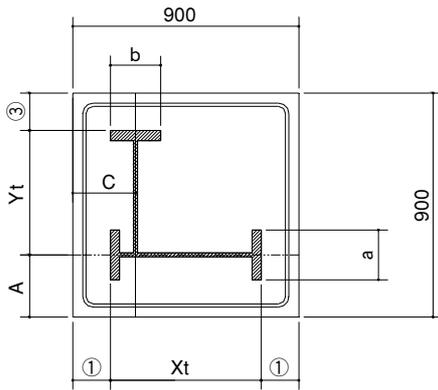


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

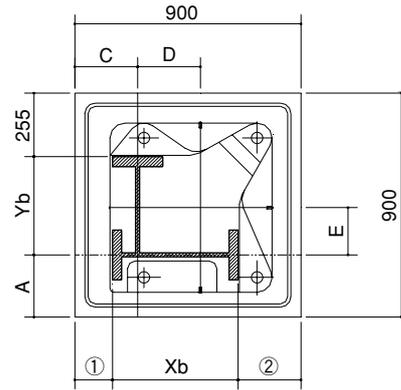
LL600-S1-42 (RCサイズ`900×900)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図

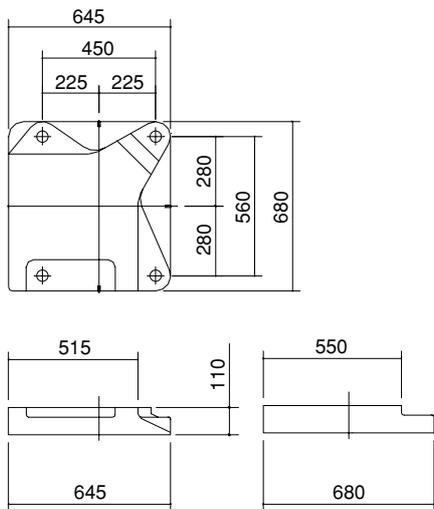


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	650	500	225	~200	275	250	125	250	525	395	~250	190
			250	~250		225		275	500	370	~300	165
			275	~300		200		300	475	345	~350	140
			300	~350		175		325	450	320	~350	115
			325	~400		150		350	425	295	~300	90
			350	~450		125		375	400	270	~250	65
150	600	500	250	~200	250	250	150	250	500	395	~200	190
			275	~250		225		275	475	370	~250	165
			300	~300		200		300	450	345	~300	140
			325	~350		175		325	425	320	~350	115
			350	~400		150		350	400	295	~300	90
			375	~450		125		375	375	270	~250	65

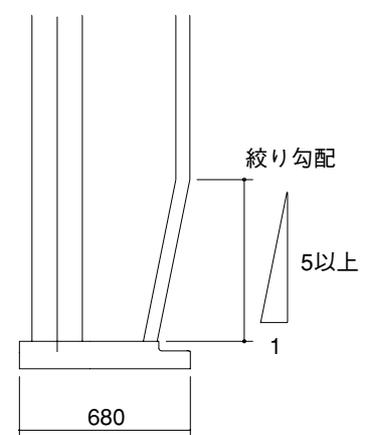
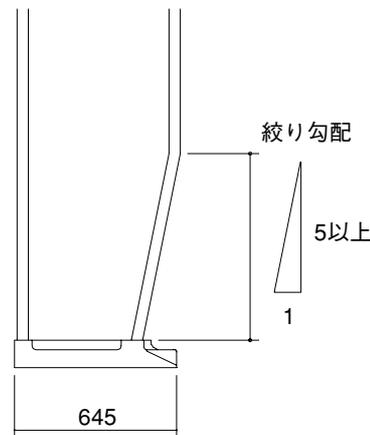
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

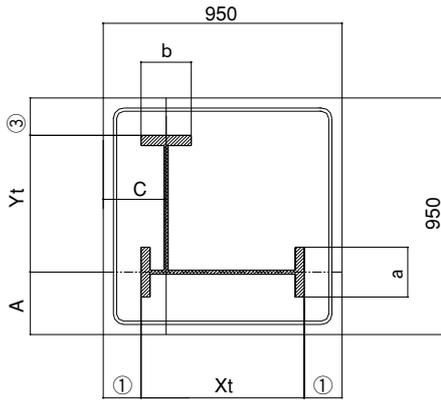


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

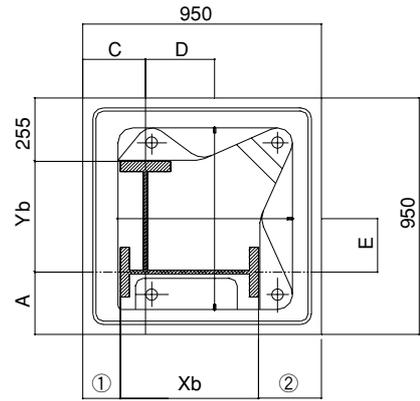
LL650-S1-42 (RCサイズ`950×950)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



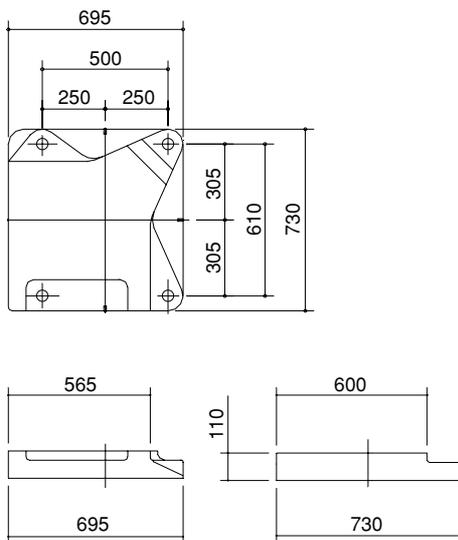
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	700	550	225	~200	275	275
			250	~250		250
			275	~300		225
			300	~350		200
			325	~400		175
			350	~450		150
150	650	550	250	~200	250	275
			275	~250		250
			300	~300		225
			325	~350		200
			350	~400		175
			375	~450		150

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

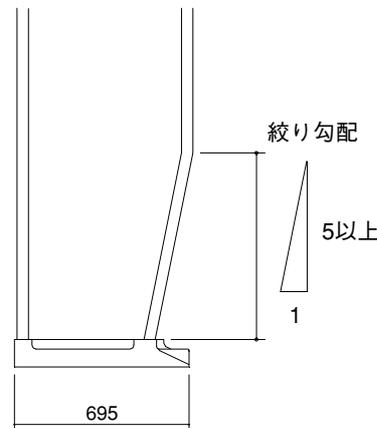
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	575	445	~250	215
	275	550	420	~300	190
	300	525	395	~350	165
	325	500	370	~400	140
	350	475	345	~400	115
	375	450	320	~350	90
	250	550	445	~200	215
150	275	525	420	~250	190
	300	500	395	~300	165
	325	475	370	~350	140
	350	450	345	~400	115
	375	425	320	~350	90

ハイベース各部の寸法

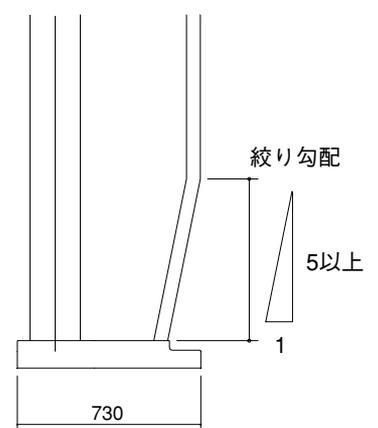


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

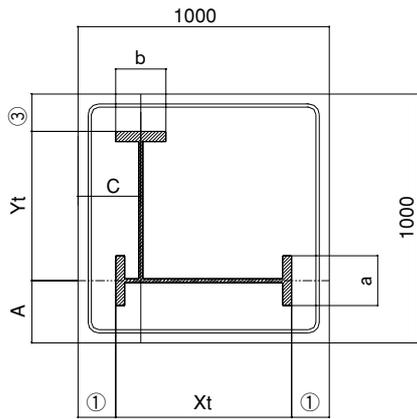


Y方向鉄骨柱

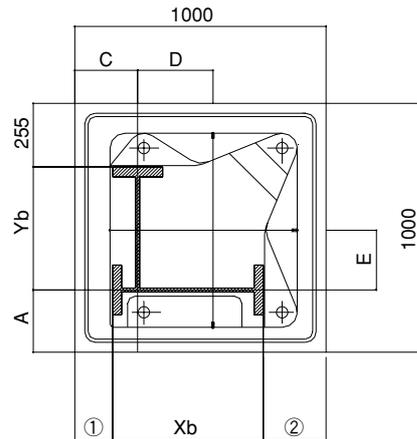


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

柱頭納まり図



柱脚納まり図

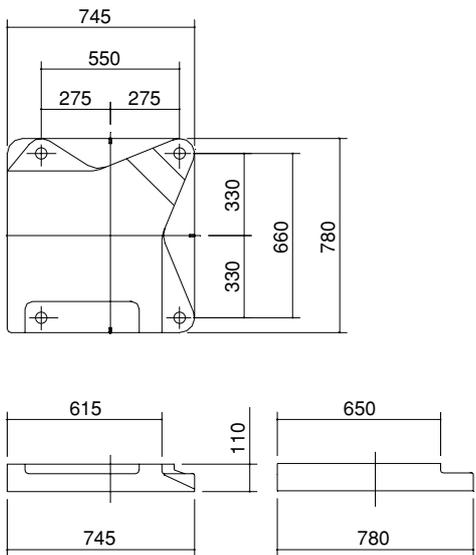


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	750	600	225	~200	275	300	125	250	625	495	~250	240
			250	~250		275		275	600	470	~300	215
			275	~300		250		300	575	445	~350	190
			300	~350		225		325	550	420	~400	165
			325	~400		200		350	525	395	~450	140
			350	~450		175		375	500	370	~450	115
150	700	600	250	~200	250	300	150	250	600	495	~200	240
			275	~250		275		275	575	470	~250	215
			300	~300		250		300	550	445	~300	190
			325	~350		225		325	525	420	~350	165
			350	~400		200		350	500	395	~400	140
			375	~450		175		375	475	370	~450	115

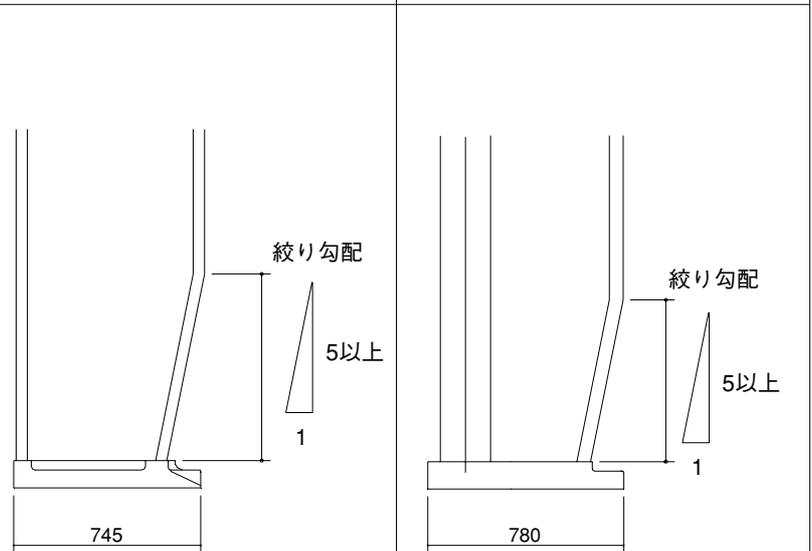
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

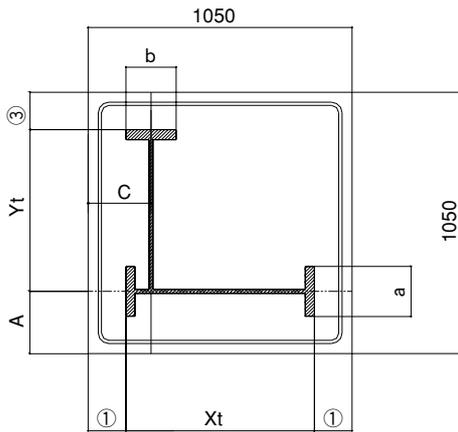
X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

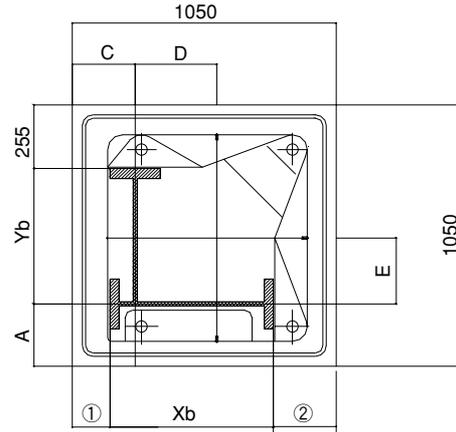


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

柱頭納まり図



柱脚納まり図



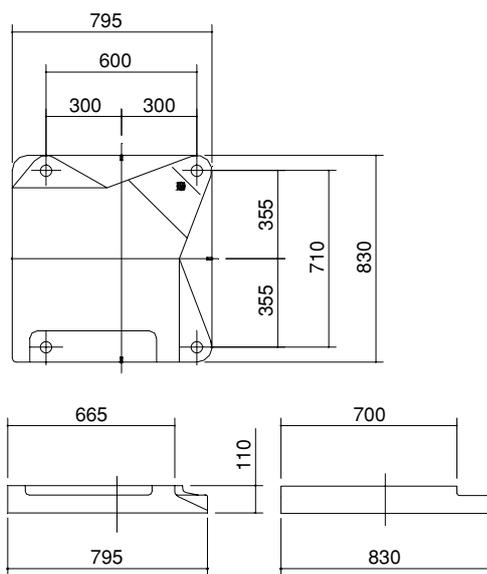
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	800	650	225	~200	275	325
			250	~250		300
			275	~300		275
			300	~350		250
			325	~400		225
			350	~450		200
150	750	650	250	~200	250	325
			275	~250		300
			300	~300		275
			325	~350		250
			350	~400		225
			375	~450		200

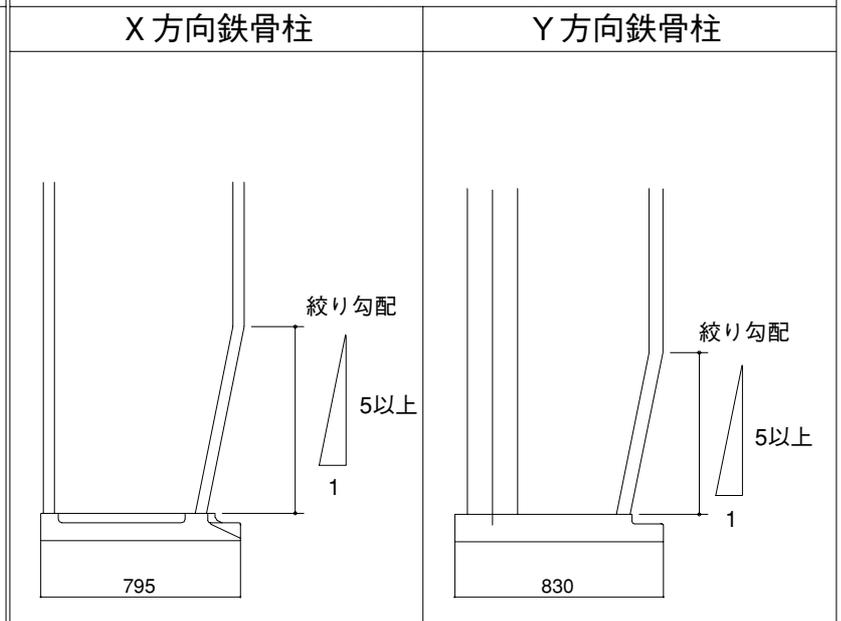
Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	675	545	~250	265
	275	650	520	~300	240
	300	625	495	~350	215
	325	600	470	~400	190
	350	575	445	~450	165
	375	550	420	~450	140
	150	250	650	545	~200
275		625	520	~250	240
300		600	495	~300	215
325		575	470	~350	190
350		550	445	~400	165
375		525	420	~450	140

ハイベース各部の寸法

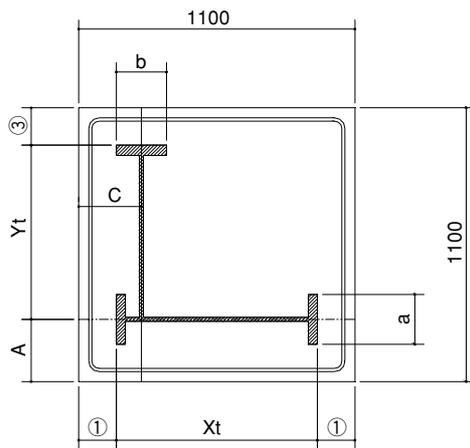


鉄骨絞り図 (参考)

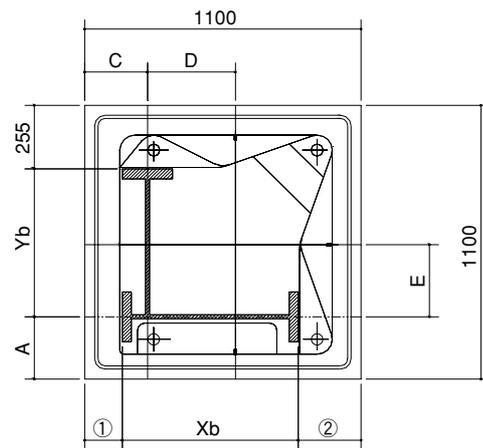


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

柱頭納まり図



柱脚納まり図



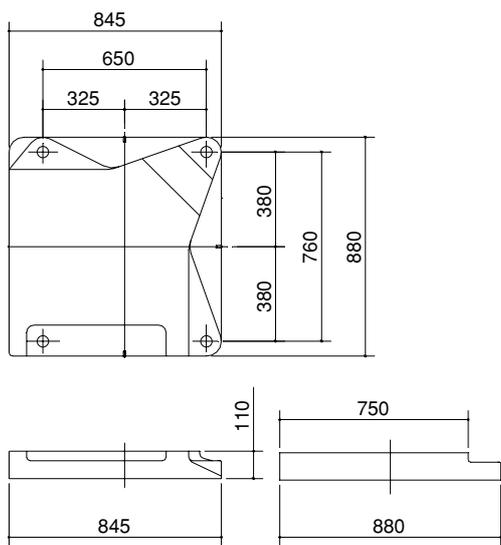
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	850	700	225	~200	275	350	125	250	725	595	~250	290
			250	~250		325		275	700	570	~300	265
			275	~300		300		300	675	545	~350	240
			300	~350		275		325	650	520	~400	215
			325	~400		250		350	625	495	~450	190
			350	~450		225		375	600	470	~450	165
150	800	700	250	~200	250	350	150	250	700	595	~200	290
			275	~250		325		275	675	570	~250	265
			300	~300		300		300	650	545	~300	240
			325	~350		275		325	625	520	~350	215
			350	~400		250		350	600	495	~400	190
			375	~450		225		375	575	470	~450	165

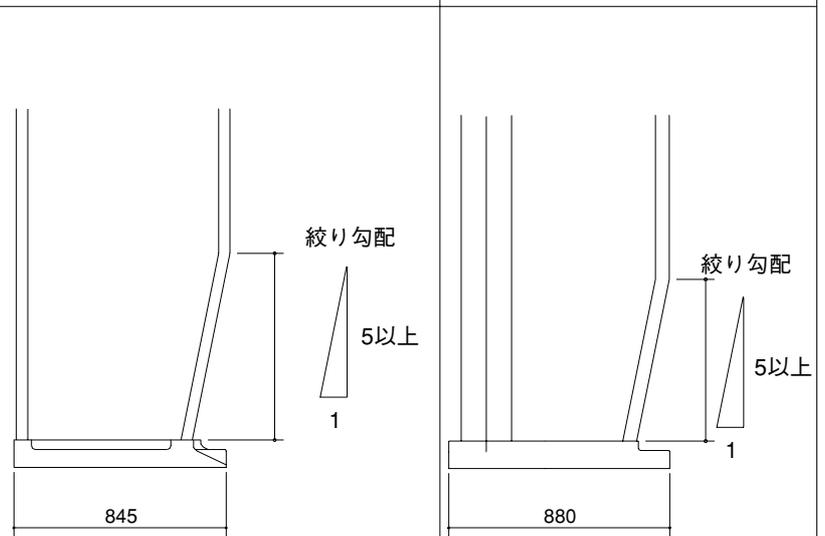
ハイベース各部の寸法

鉄骨絞り図 (参考)



X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

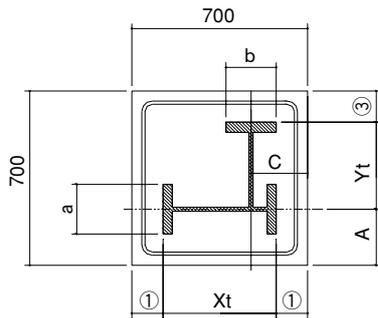


※ 1. 寸法表の「A」「C」寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の「D」「E」寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

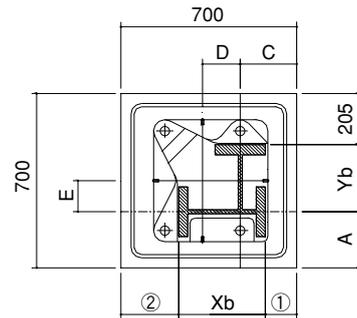
LR400-S1-30 (RCサイズ 700×700)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



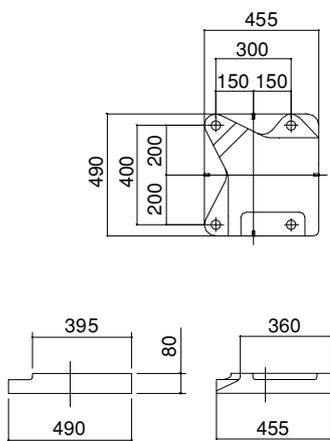
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	450	345	225	~200	230	150
			250	~250		125
			275	~300		100
			300	~250		75
			325	~200		50
			350	~150		25
150	400	345	250	~200	205	150
			275	~250		125
			300	~300		100
			325	~250		75
			350	~200		50
			—	—		—

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

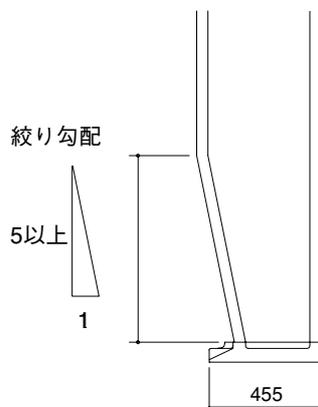
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	225	350	270	~200	125
	250	325	245	~200	100
	275	300	220	~150	75
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
150	225	325	270	~150	125
	250	300	245	~200	100
	275	275	220	~150	75
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

ハイベース各部の寸法

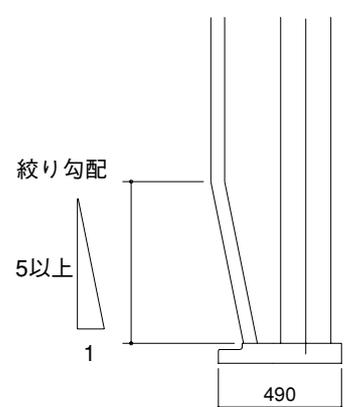


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

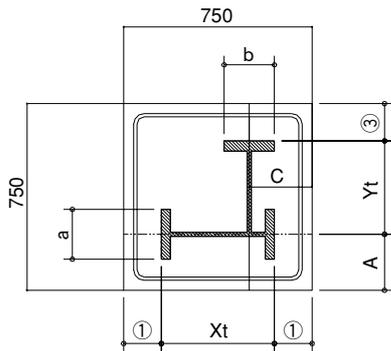


Y方向鉄骨柱

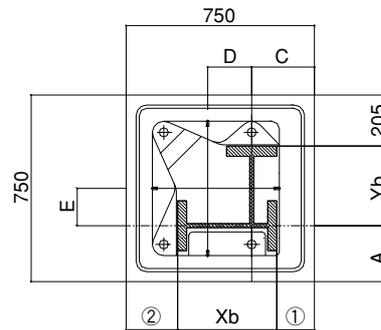


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

柱頭納まり図



柱脚納まり図

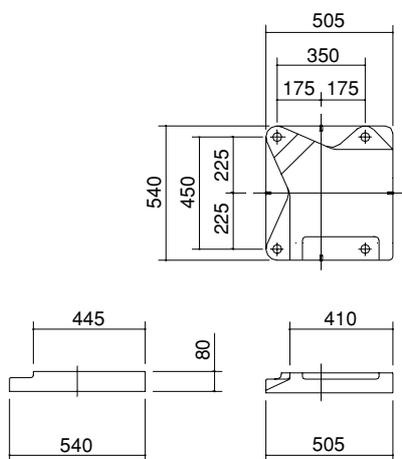


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	500	395	225	~200	230	175	125	225	400	320	~200	150
			250	~250		150		250	375	295	~250	125
			275	~300		125		275	350	270	~250	100
			300	~300		100		300	325	245	~200	75
			325	~250		75		325	300	220	~150	50
			350	~200		50		—	—	—	—	—
150	450	395	250	~200	205	175	150	225	375	320	~150	150
			275	~250		150		250	350	295	~200	125
			300	~300		125		275	325	270	~250	100
			325	~300		100		300	300	245	~200	75
			350	~250		75		325	275	220	~150	50
			375	~200		50		—	—	—	—	—

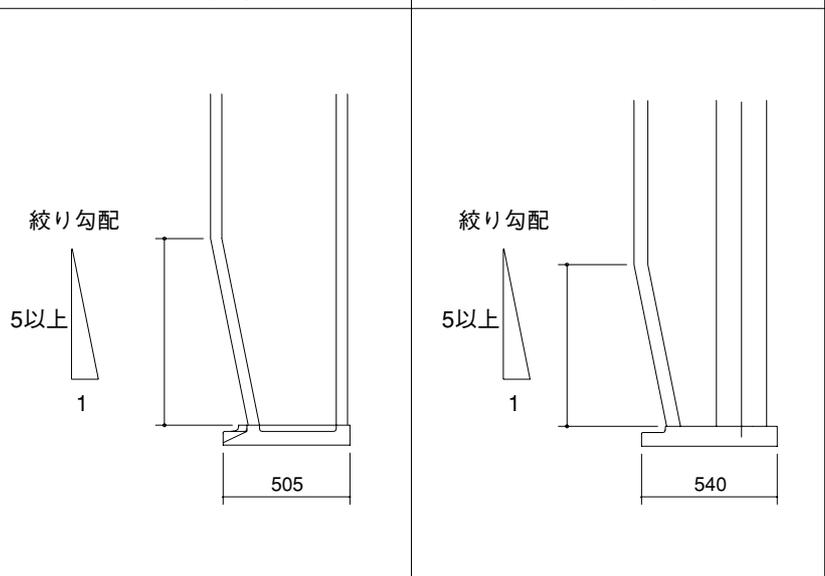
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

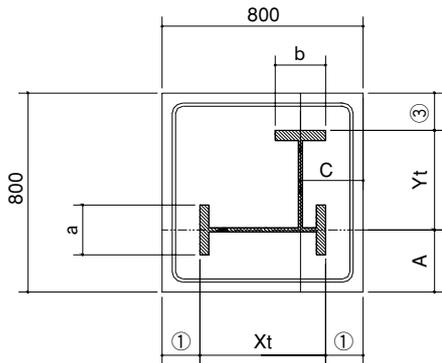


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

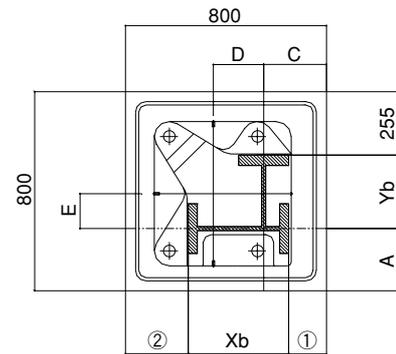
LR500-S1-42 (RCサイズ 800×800)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



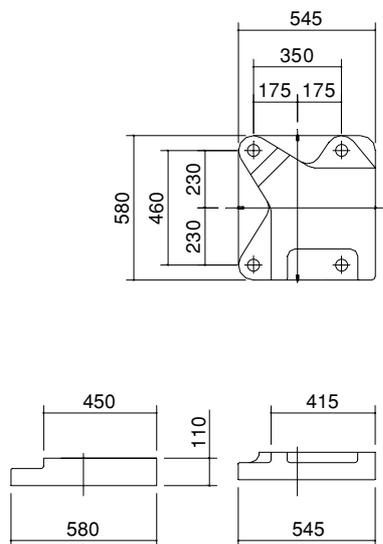
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	550	400	225	~200	275	200
			250	~250		175
			275	~300		150
			300	~350		125
			325	~350		100
			350	~300		75
150	500	400	250	~200	250	200
			275	~250		175
			300	~300		150
			325	~350		125
			350	~350		100
			375	~300		75

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	425	295	~250	140
	275	400	270	~250	115
	300	375	245	~200	90
	325	350	220	~150	65
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
150	250	400	295	~250	140
	275	375	270	~250	115
	300	350	245	~200	90
	325	325	220	~150	65
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

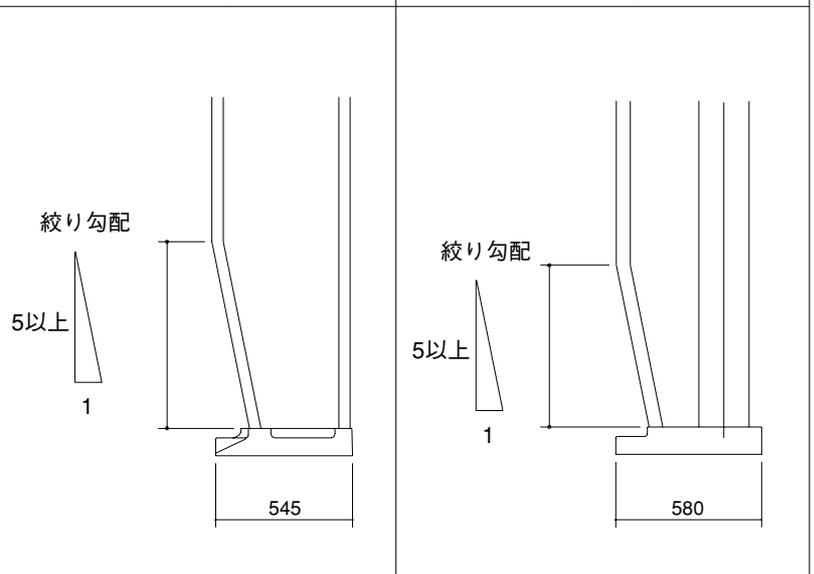
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

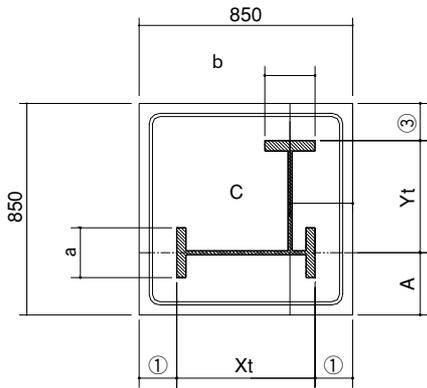
X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

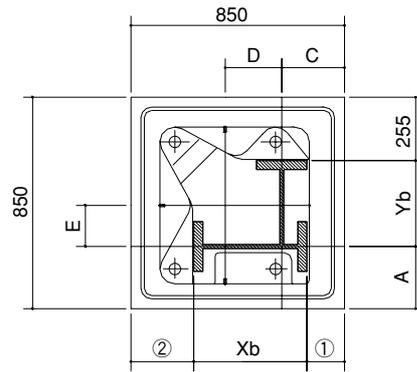


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

柱頭納まり図



柱脚納まり図

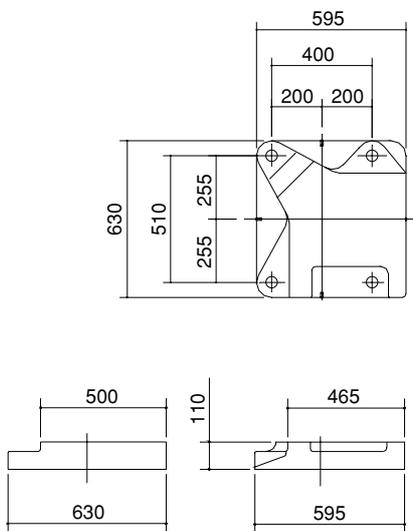


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	600	450	225	~200	275	225	125	250	475	345	~250	165
			250	~250		200		275	450	320	~300	140
			275	~300		175		300	425	295	~300	115
			300	~350		150		325	400	270	~250	90
			325	~350		125		350	375	245	~200	65
			350	~350		100		375	350	220	~150	40
150	550	450	250	~200	250	225	150	250	450	345	~200	165
			275	~250		200		275	425	320	~250	140
			300	~300		175		300	400	295	~300	115
			325	~350		150		325	375	270	~250	90
			350	~350		125		350	350	245	~200	65
			375	~350		100		375	325	220	~150	40

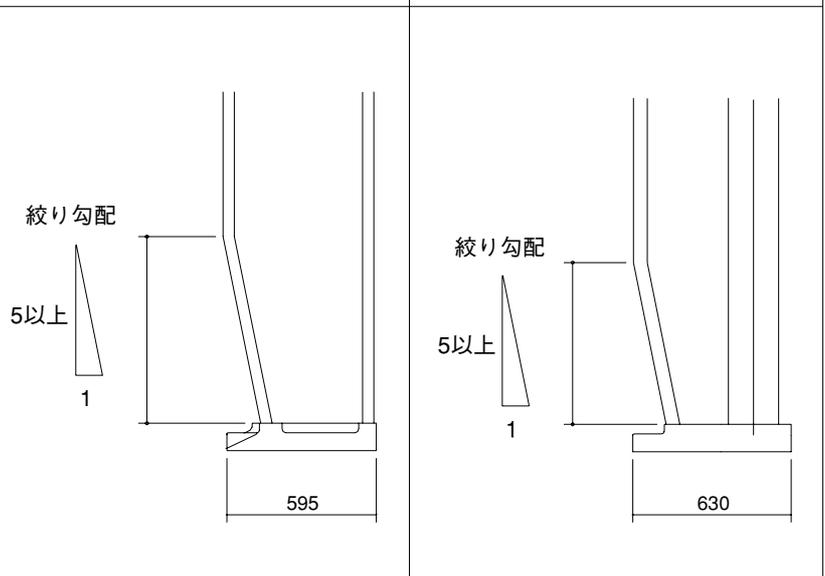
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

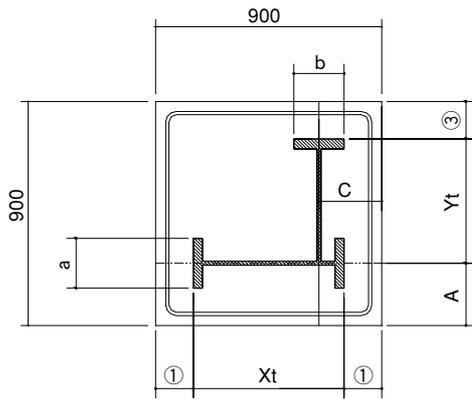


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

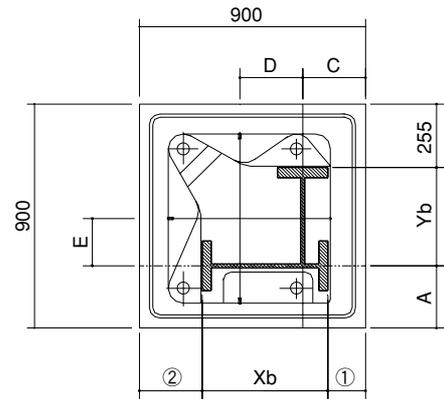
LR600-S1-42 (RCサイズ 900×900)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



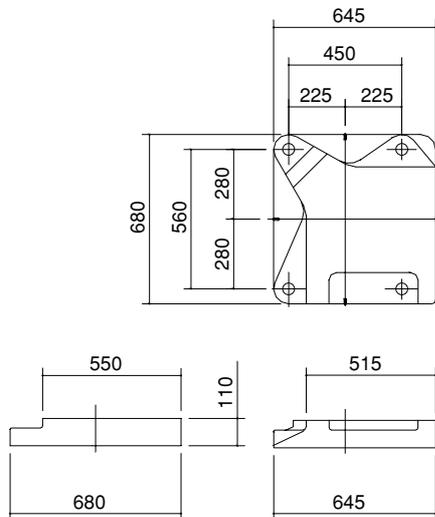
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	650	500	225	~200	275	250
			250	~250		225
			275	~300		200
			300	~350		175
			325	~400		150
			350	~450		125
150	600	500	250	~200	250	250
			275	~250		225
			300	~300		200
			325	~350		175
			350	~400		150
			375	~450		125

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

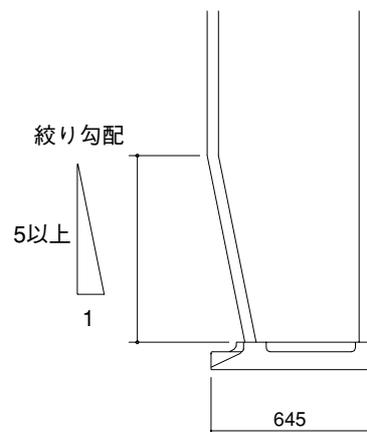
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	525	395	~250	190
	275	500	370	~300	165
	300	475	345	~350	140
	325	450	320	~350	115
	350	425	295	~300	90
	375	400	270	~250	65
150	250	500	395	~200	190
	275	475	370	~250	165
	300	450	345	~300	140
	325	425	320	~350	115
	350	400	295	~300	90
	375	375	270	~250	65

ハイベース各部の寸法

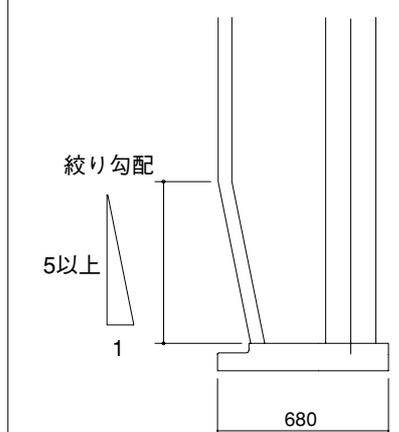


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

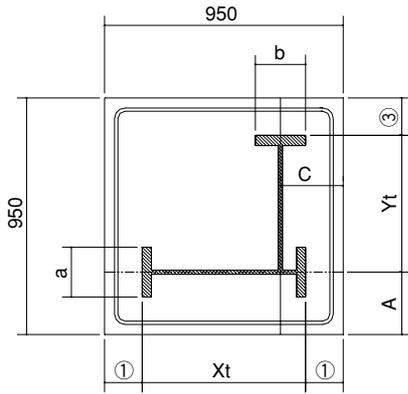


Y方向鉄骨柱

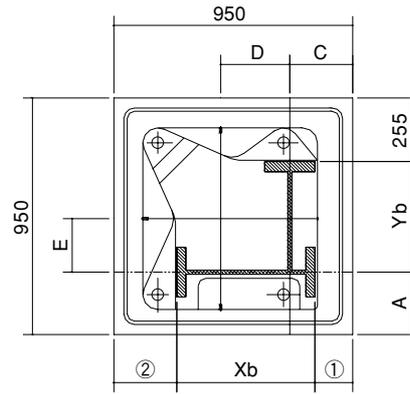


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

柱頭納まり図



柱脚納まり図

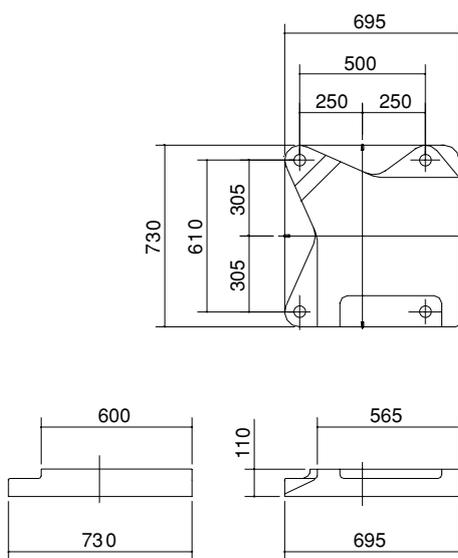


X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	700	550	225	~200	275	275	125	250	575	445	~250	215
			250	~250		250		275	550	420	~300	190
			275	~300		225		300	525	395	~350	165
			300	~350		200		325	500	370	~400	140
			325	~400		175		350	475	345	~400	115
			350	~450		150		375	450	320	~350	90
150	650	550	250	~200	250	275	150	250	550	445	~200	215
			275	~250		250		275	525	420	~250	190
			300	~300		225		300	500	395	~300	165
			325	~350		200		325	475	370	~350	140
			350	~400		175		350	450	345	~400	115
			375	~450		150		375	425	320	~350	90

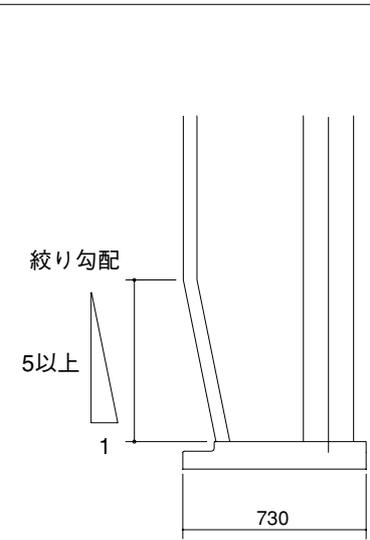
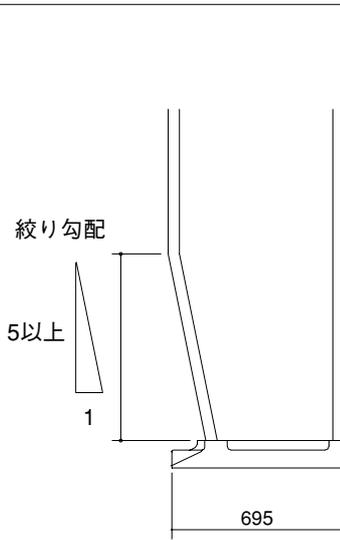
ハイベース各部の寸法



鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

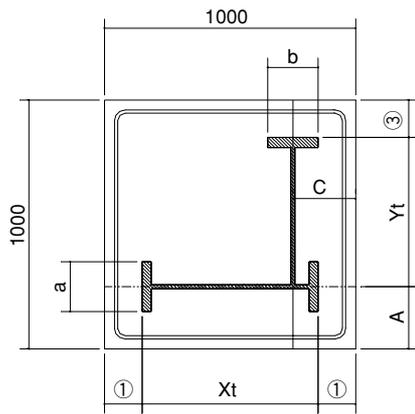


※ 1. 寸法表の『A』『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

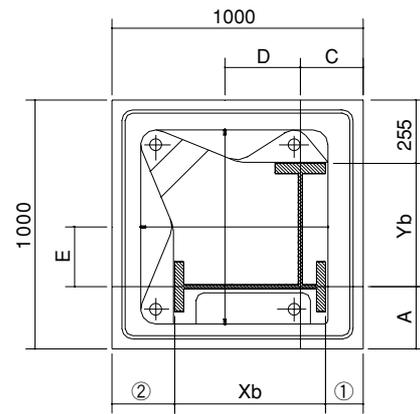
LR700-S1-42 (RCサイズ 1000×1000)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



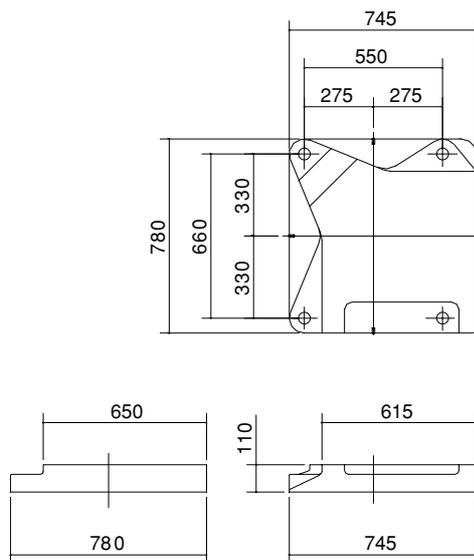
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	750	600	225	~200	275	300
			250	~250		275
			275	~300		250
			300	~350		225
			325	~400		200
			350	~450		175
150	700	600	250	~200	250	300
			275	~250		275
			300	~300		250
			325	~350		225
			350	~400		200
			375	~450		175

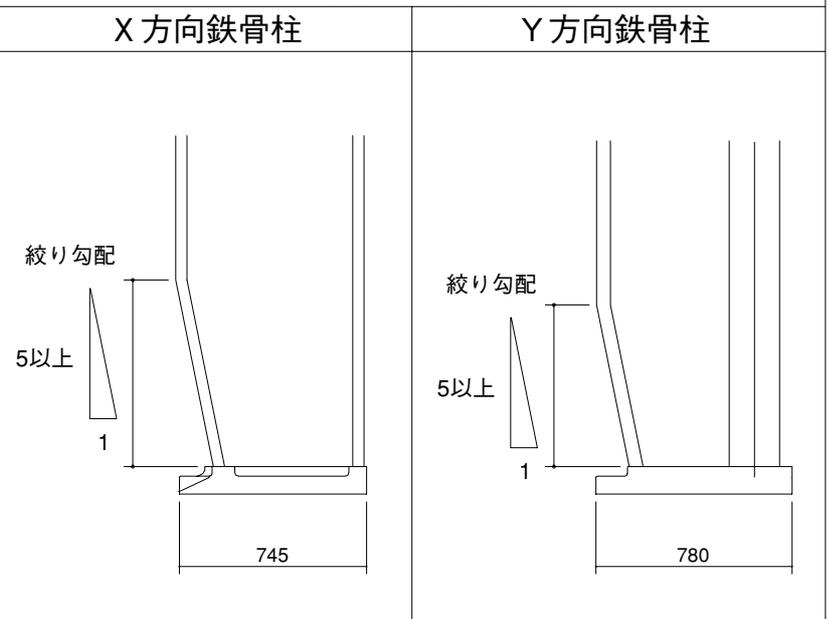
Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	625	495	~250	240
	275	600	470	~300	215
	300	575	445	~350	190
	325	550	420	~400	165
	350	525	395	~450	140
	375	500	370	~450	115
150	250	600	495	~200	240
	275	575	470	~250	215
	300	550	445	~300	190
	325	525	420	~350	165
	350	500	395	~400	140
	375	475	370	~450	115

ハイベース各部の寸法

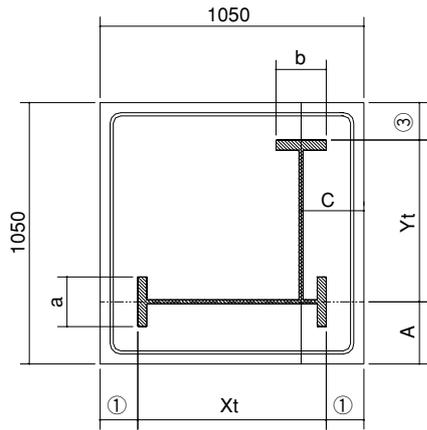


鉄骨絞り図 (参考)

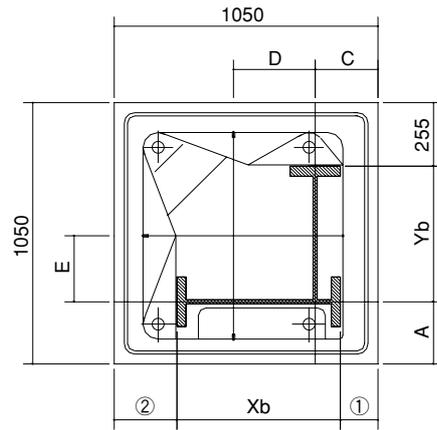


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

柱頭納まり図



柱脚納まり図



X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

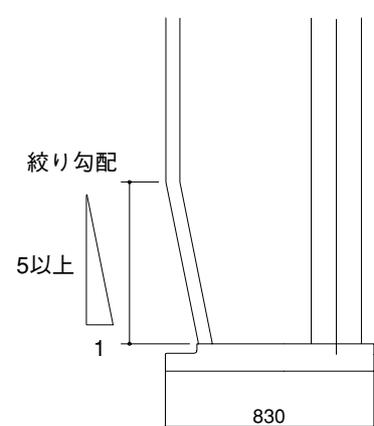
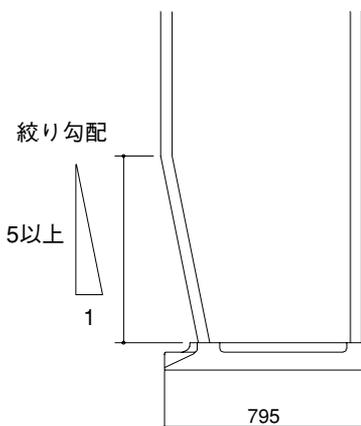
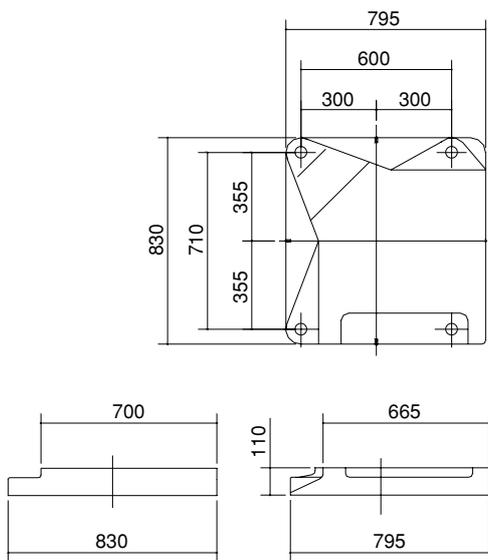
①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D	③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	800	650	225	~200	275	325	125	250	675	545	~250	265
			250	~250		300		275	650	520	~300	240
			275	~300		275		300	625	495	~350	215
			300	~350		250		325	600	470	~400	190
			325	~400		225		350	575	445	~450	165
			350	~450		200		375	550	420	~450	140
150	750	650	250	~200	250	325	150	250	650	545	~200	265
			275	~250		300		275	625	520	~250	240
			300	~300		275		300	600	495	~300	215
			325	~350		250		325	575	470	~350	190
			350	~400		225		350	550	445	~400	165
			375	~450		200		375	525	420	~450	140

ハイベース各部の寸法

鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱

Y方向鉄骨柱

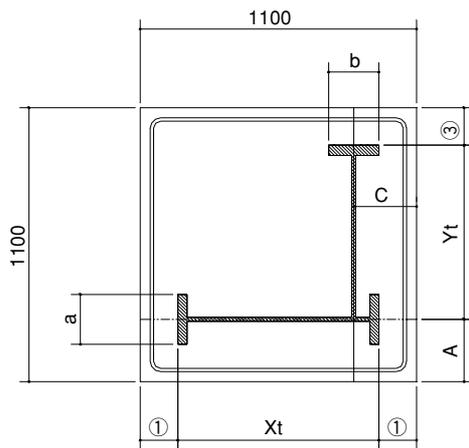


※ 1. 寸法表の『A』 『C』寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の『D』 『E』寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

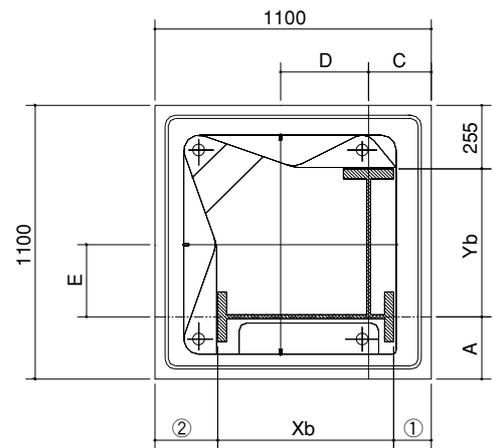
LR800-S1-42 (RCサイズ 1100×1100)

SCALE=1/30

柱頭納まり図



柱脚納まり図



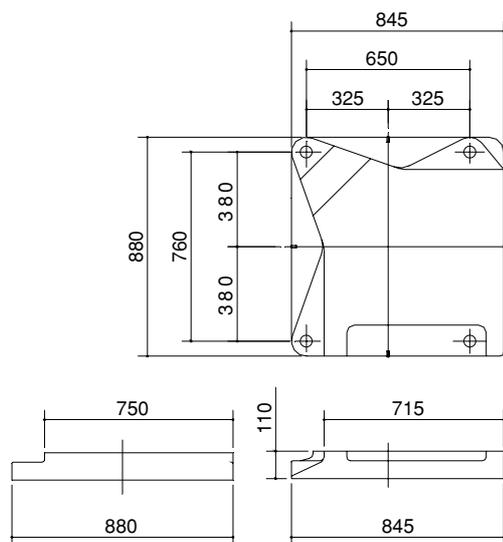
X方向鉄骨かぶり①により決まる寸法一覧 (参考)

①	Xt	Xb	C	b(max)	②	D
125	850	700	225	~200	275	350
			250	~250		325
			275	~300		300
			300	~350		275
			325	~400		250
			350	~450		225
150	800	700	250	~200	250	350
			275	~250		325
			300	~300		300
			325	~350		275
			350	~400		250
			375	~450		225

Y方向鉄骨かぶり③により決まる寸法一覧 (参考)

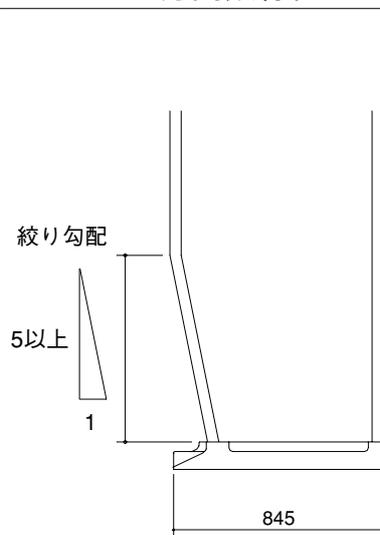
③	A	Yt	Yb	a(max)	E
125	250	725	595	~250	290
	275	700	570	~300	265
	300	675	545	~350	240
	325	650	520	~400	215
	350	625	495	~450	190
	375	600	470	~450	165
150	250	700	595	~200	290
	275	675	570	~250	265
	300	650	545	~300	240
	325	625	520	~350	215
	350	600	495	~400	190
	375	575	470	~450	165

ハイベース各部の寸法

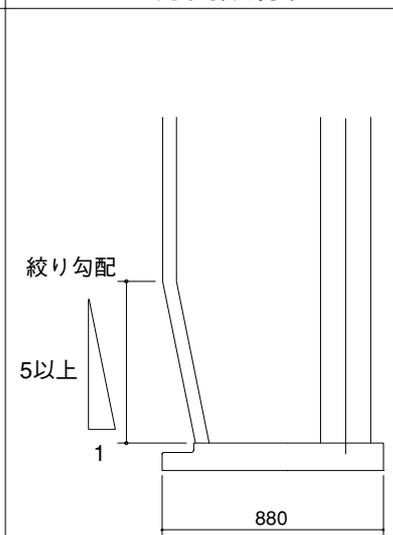


鉄骨絞り図 (参考)

X方向鉄骨柱



Y方向鉄骨柱



※ 1. 寸法表の「A」「C」寸法はRC端からウェブ芯までの距離を示す。
 ※ 2. 寸法表の「D」「E」寸法はハイベースセンターマークからウェブ芯までの距離を示す。

付録 2. 柱脚検討ソフト

SRC ハイベースの設計にあたりましては、柱脚検討用ソフト（S 造の検討も可能）を提供（無償）させて頂いております。本ハンドブックと併せてご利用ください。

このソフトは<http://www.SuperHIBASE.com/>よりダウンロード出来ます。

ここでは、このソフトの説明をいたしますが、ソフトには充実したヘルプ機能を搭載しておりますので、更に詳しい説明はヘルプ機能をご利用ください。

1. メイン画面の説明

(1) 構造種別

物件名: 日立金属 | 構造種別: 鉄骨造 SRC造

RC: 900×900(Fc24) 鉄筋D25(SD345) 本数8×8
 (柱脚で決まる柱ランク O0FA (Y0FA)
 T400×200×9×12+ H600×200×9×12(SS400)
 A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296
 Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

		長期	地震時		短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力	4616.00	0.00	5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		耐力	17.00	0.00	373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げモーメント	ブーン	-	-	-	-	-	-
		耐力	810.79	-	1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	せん断力	耐力	0.00	0.00	162.90	0.00	374.40	1132.00
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
Y	軸力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		耐力	91.70	0.00	494.60	0.00	2653.40	2671.60
	曲げモーメント	ブーン	-	-	-	-	-	-
		耐力	817.62	-	1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	せん断力	耐力	-21.10	0.00	149.70	0.00	943.50	951.60
		判定	OK		OK	OK	OK	OK

(2) 物件名

物件名: 日立金属 | 構造種別: 鉄骨造 SRC造

物件名を入力します。(全角で24文字以内)
 「詳細」をクリックすると、検討日及び担当者を入力することが可能です。

詳細情報の設定

物件名: 日立金属

日付: 2003/01/30 今日

担当者: 設計係員

決定 キャンセル

(3) 建物形状

物件名: 日立金属 詳細

構造種別: 鉄骨造 SRC造

建物形状: 対称

計算ルート: ルート 3

積雪荷重の扱い: なし

短期計算荷重: 地震 暴風 積雪

柱脚: LL600-S1-42
 曲げ負担率(≧0.10) 000.342 (Y)0.306
 軸力負担率(≧0.15) 0.294
 限界軸力(kN) 00-5546.16 (Y)-5546.16

		長期	地震時		短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力 4616.00	0.00		5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力 17.00	0.00		373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げモーメント	ブーン 810.79			1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
Y	せん断力	応力 0.00	0.00		162.90	0.00	374.40	1132.00
		耐力 3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
Y	軸力	応力 4616.00	0.00		4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		応力 91.70	0.00		494.60	0.00	2653.40	2671.60
	曲げモーメント	ブーン 817.62			1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
Y	せん断力	応力 -21.10	0.00		149.70	0.00	943.50	951.60
		耐力 3295.00			4163.51	1751.01	4039.53	4039.53
	判定	OK			OK	OK	OK	OK

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(4) 計算ルート

物件名: 日立金属 詳細

構造種別: 鉄骨造 SRC造

建物形状: 対称

計算ルート: ルート 3

積雪荷重の扱い: なし

短期計算荷重: 地震 暴風 積雪

柱脚: LL600-S1-42
 子負担率(≧0.10) 000.342 (Y)0.306
 力負担率(≧0.15) 0.294
 界軸力(kN) 00-5546.16 (Y)-5546.16

構造計算のルートを指定します。
 SRCハイブース工法の場合、計算ルートに応じて諸規定（詳細は本ハンドブックp.8を参照ください。）が定められています。ここで計算ルートを指定することで、それらの規定に準じた計算及び表示を行います。
 ここで各設計の定義は「2001年版建築物の構造関係技術基準解説書（日本建築センター）」及び昭55建告1790、1791号によります。

計算ルート: ルート 3

		長期	地震時		短期L	短期R	終局L	終局R
Y	曲げモーメント	ブーン 817.62			1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
	せん断力	応力 -21.10	0.00		149.70	0.00	943.50	951.60
	耐力 3295.00			4163.51	1751.01	4039.53	4039.53	
	判定	OK			OK	OK	OK	OK

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(5) 積雪荷重の扱い

積雪荷重による応力の取り扱い方法を指定します。
 多雪と指定した場合は1 (デフォルトは0.75) 及び a2 (デフォルトは0.35) を設定してください。以下のように長期及び短期応力を算定します。
 (注: 短期自動計算を指定していない場合は、入力した値で判定します。)

“なし”
 “一般” 短期荷重を積雪とした場合 (短期) = (長期) + S
 “多雪” (長期) = G+P+ (a1×S)
 短期荷重を地震とした場合 (短期) = G+P+ (a2×S) + K
 短期荷重を暴風とした場合 (短期) = G+P+ (a2×S) + W
 短期荷重を積雪とした場合 (短期) = G+P+S

			長期	地震時				
					4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
X	軸力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
	曲げモーメント	応力	-	-	-	-	-	-
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
せん断力	応力	0.00	0.00					
	判定	OK		OK	OK	OK	OK	
	せん断力	3465.66		4391.37	1862.71	2559.85	4207.09	
Y	軸力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
	曲げモーメント	応力	91.70	0.00	494.60	0.00	2653.40	2671.60
		判定	OK		OK	OK	OK	OK
せん断力	応力	817.62		1870.80	1772.02	2705.18	2703.89	
	判定	OK		OK	OK	OK	OK	
	せん断力	-21.10	0.00	149.70	0.00	943.50	951.60	
せん断力	応力	3295.00		4163.51	1751.01	4039.53	4039.53	
	判定	OK		OK	OK	OK	OK	
	せん断力	3295.00		4163.51	1751.01	4039.53	4039.53	

(6) 短期計算荷重

短期計算荷重を指定します。

柱脚 LL600-S1-42
 曲げ負担率(≧0.10) 〇〇0.342 〇〇0.306
 軸力負担率(≧0.15) 0.294
 限界軸力&N) 〇〇-5546.16
 〇〇-5546.16

			長期	地震時	-	短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力	4616.00	0.00		5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		判定	OK			OK	OK	OK	OK
	曲げモーメント	応力	17.00	0.00		373.00	0.00	919.70	2479.40
		判定	OK			OK	OK	OK	OK
せん断力	応力	810.79			1804.67	1766.49	2051.16	2632.70	
	判定	OK			OK	OK	OK	OK	
	せん断力	0.00	0.00		162.90	0.00	374.40	1132.00	
せん断力	応力	3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09	
	判定	OK			OK	OK	OK	OK	
	せん断力	3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09	
Y	軸力	応力	4616.00	0.00		4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		判定	OK			OK	OK	OK	OK
	曲げモーメント	応力	91.70	0.00		494.60	0.00	2653.40	2671.60
		判定	OK			OK	OK	OK	OK
せん断力	応力	817.62			1870.80	1772.02	2705.18	2703.89	
	判定	OK			OK	OK	OK	OK	
	せん断力	-21.10	0.00		149.70	0.00	943.50	951.60	
せん断力	応力	3295.00			4163.51	1751.01	4039.53	4039.53	
	判定	OK			OK	OK	OK	OK	
	せん断力	3295.00			4163.51	1751.01	4039.53	4039.53	

(7) 柱

柱脚設計 - "C1.hud"

物件名: 日立金属 構造種別: SRC造 建物形状: 対称 計算ルート: ルート3 積雪荷重の扱い: なし 短期計算荷重: 地震 暴風 積雪

柱
柱名称: C1(Y3-X2) RC: 900×900(Fc24) 鉄筋D25(SD345) 本数 8×8
(柱脚で決まる柱ランク O0FA (Y)FA)
T400×200×9×12+ H600×200×9×12(SS400)
A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296
Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

柱脚
LL600-S1-42
曲げ負担率(≧0.10) O00.342 (Y)0.306
軸力負担率(≧0.15) 0.294
限界軸力(kN) O0-5546.16 (Y)-5546.16

柱サイズ及び柱性能を示す諸数値を表示します。

		長期		地震時		終局L	終局R	
X	曲げモーメント	応力	17.00	0.00	373.00	0.00	919.70	2479.40
		耐力	810.79	-	1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	せん断力	応力	0.00	0.00	162.90	0.00	374.40	1132.00
		耐力	3465.66	-	4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	軸力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		耐力	91.70	0.00	494.60	0.00	2653.40	2671.60
Y	曲げモーメント	応力	817.62	-	1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
		耐力	817.62	-	1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	せん断力	応力	-21.10	0.00	149.70	0.00	943.50	951.60
		耐力	3295.00	-	4163.51	1751.01	4039.53	4039.53
	軸力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		耐力	91.70	0.00	494.60	0.00	2653.40	2671.60

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(8) 柱脚

柱脚設計 - "C1.hud"

物件名: 日立金属 構造種別: SRC造 建物形状: 対称 計算ルート: ルート3 積雪荷重の扱い: なし 短期計算荷重: 地震 暴風 積雪

柱
柱名称: C1(Y3-X2) RC: 900×900(Fc24) 鉄筋D25(SD345) 本数 8×8
(柱脚で決まる柱ランク O0FA (Y)FA)
T400×200×9×12+ H600×200×9×12(SS400)
A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296
Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

柱脚
LL600-S1-42
曲げ負担率(≧0.10) O00.342 (Y)0.306
軸力負担率(≧0.15) 0.294
限界軸力(kN) O0-5546.16 (Y)-5546.16

選択されているハイベース型式名及び、SRCハイベース工法の適用制限（曲げ負担率、軸力負担率、限界軸力）における、現ディテールの諸数値を表示しています。
適用制限については、本ハンドブックp.7-表3.2を参照ください。
尚、ここでの軸力負担率は、本ハンドブックp.7-表3.2の中ではアンカーボルトー引張鋼材比と記載されています。
(「軸力負担率」=「アンカーボルトー引張鋼材比」です)

		長期		地震時		終局L	終局R	
X	曲げモーメント	応力	17.00	0.00	373.00	0.00	919.70	2479.40
		耐力	810.79	-	1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	せん断力	応力	0.00	0.00	162.90	0.00	374.40	1132.00
		耐力	3465.66	-	4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	軸力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		耐力	91.70	0.00	494.60	0.00	2653.40	2671.60
Y	曲げモーメント	応力	817.62	-	1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
		耐力	817.62	-	1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	せん断力	応力	-21.10	0.00	149.70	0.00	943.50	951.60
		耐力	3295.00	-	4163.51	1751.01	4039.53	4039.53
	軸力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		耐力	91.70	0.00	494.60	0.00	2653.40	2671.60

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(9) 応力表

柱脚検計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名 構造種別 建物形状 計算ルート 積雪荷重の扱い 短期計算荷重

応力入力、応力検討結果表示の領域です。背景が白のセルのみ入力が可能です。
 曲げ耐力 : それぞれの応力状態とも当該軸力での曲げ耐力を表示します。
 ゾーン : せん断力算定用のゾーンNoを表示します。
 長期・短期の場合は応力点の存在ゾーンを、終局時は終局軸力での曲げ耐力線上のゾーンを示しています。
 せん断耐力: 長期・短期時では、応力点のせん断耐力です。
 終局時では終局軸力での曲げ耐力線上の応力点におけるせん断耐力です。

		長期	地震時	-	短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力	4616.00	0.00	5003.70	0.00	-353.80	4693.40
		応力	17.00	0.00	373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げ モーメント	ゾーン	-	-	-	-	-	-
		耐力	810.79	-	1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	判定	OK	-	OK	OK	OK	OK	OK
	せん断 力	応力	0.00	0.00	162.90	0.00	374.40	1132.00
耐力		3465.66	-	4391.37	1862.71	2559.85	4207.09	
判定	OK	-	OK	OK	OK	OK	OK	
Y	軸力	応力	4616.00	0.00	4924.60	0.00	4074.20	4268.40
		応力	91.70	0.00	494.60	0.00	2653.40	2671.60
	曲げ モーメント	ゾーン	-	-	-	-	-	-
		耐力	817.62	-	1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	判定	OK	-	OK	OK	OK	OK	OK
	せん断 力	応力	-21.10	0.00	149.70	0.00	943.50	951.60
耐力		3295.00	-	4163.51	1751.01	4039.53	4039.53	
判定	OK	-	OK	OK	OK	OK	OK	

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(10) 耐力図表

柱脚検計 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名 構造種別 建物形状 計算ルート 積雪荷重の扱い 短期計算荷重

日立金属 詳細 鉄骨造 SRC造 対称 ルート3 なし α1 0.70 α2 0.95 地震 暴風 積雪

C1(Y2-X2) C1(Y2-X3) C1(Y3-X2) C1(Y3-X3)

柱脚 LL600-S1-42
 曲げ負担率(≧0.10) 0.00342 (Y)0.306
 軸力負担率(≧0.15) 0.294
 限界軸力(k&N) 0-5546.16
 (Y)-5546.16

耐力図表とハイベース詳細寸法を表示します。
 耐力図は、鉄骨、鉄筋、コンクリート、ハイベース、それぞれ個別の耐力と、それらを一般化累加したSRCとしての耐力を表示します。
 また、この領域で右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。必要に応じて表示したい項目を選択してください。

X方向N-M関係の表示(X)
 Y方向N-M関係の表示(Y)
 ハイベースの詳細表示(D)

	判定	OK		OK	OK	OK	OK
せん断 力	判定	OK	-	OK	OK	OK	OK
	応力	-21.10	0.00	149.70	0.00	943.50	951.60
	耐力	3295.00	-	4163.51	1751.01	4039.53	4039.53
判定	OK	-	OK	OK	OK	OK	

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(11) 応力表・耐力図の更新

柱脚設計 - "C1.hud"

物件名: 日立金属 | 構造種別: 鉄骨造 / SRC造 | 建物形状: 対称 | 計算ルート: ルート3 | 積雪荷重の扱い: なし | 短期計算荷重: 地震 / 暴風 / 積雪

柱: 柱名称 C1(Y3-X2) | RC: 900×900(Fc24) 鉄筋D25(SD345) 本数8×8
 (柱脚で決まる柱ランク O0FA (Y)FA)
 T400×200×9×12+ H600×200×9×12(SS400)
 A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296
 Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

柱脚: LL600-S1-42
 曲げ負担率(≥0.10) O00.342 (Y)0.306
 軸力負担率(≥0.15) 0.294
 限界軸力(kN) O0-5546.16 (Y)-5546.16

		長期	地震時	-	短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力 4616.00	0.00		5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力 17.00	0.00		373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げモーメント	ブーン			-	-	-	-
	耐力	810.79			1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
Y	せん断力	応力 0.00	0.00		162.90	0.00	374.40	1132.00
		耐力 3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
	軸力	応力 4616.00	0.00		4924.60	0.00	4074.20	4268.40
	応力 91.70	0.00		494.60	0.00	2653.40	2671.60	
Y	曲げモーメント	ブーン			-	-	-	-
	耐力	817.62			1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
	せん断力	応力 -21.10	0.00		149.70	0.00	943.50	951.60

応力表・耐力図を更新します。
 プルダウンメニューのツールオプション画面表示の「応力入力毎に応力表の更新」にチェックが無い場合にこのボタンが表示されます。

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル | 終局マニュアル | 2003/01/30 | 11:15

(12) 応力計算方法

柱脚設計 - "C1.hud"

物件名: 日立金属 | 構造種別: 鉄骨造 / SRC造 | 建物形状: 対称 | 計算ルート: ルート3 | 積雪荷重の扱い: なし | 短期計算荷重: 地震 / 暴風 / 積雪

柱: 柱名称 C1(Y3-X2) | RC: 900×900(Fc24) 鉄筋D25(SD345) 本数8×8
 (柱脚で決まる柱ランク O0FA (Y)FA)
 T400×200×9×12+ H600×200×9×12(SS400)
 A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296
 Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

柱脚: LL600-S1-42
 曲げ負担率(≥0.10) O00.342 (Y)0.306
 軸力負担率(≥0.15) 0.294
 限界軸力(kN) O0-5546.16 (Y)-5546.16

		長期	地震時	-	短期L	短期R	終局L	終局R
X	軸力	応力 4616.00	0.00		5003.70	0.00	-358.80	4693.40
		応力 17.00	0.00		373.00	0.00	919.70	2479.40
	曲げモーメント	ブーン			-	-	-	-
	耐力	810.79			1804.67	1766.49	2051.16	2532.70
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
Y	せん断力	応力 0.00	0.00		162.90	0.00	374.40	1132.00
		耐力 3465.66			4391.37	1862.71	2559.85	4207.09
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
	軸力	応力 4616.00	0.00		4924.60	0.00	4074.20	4268.40
	応力 91.70	0.00		494.60	0.00	2653.40	2671.60	
Y	曲げモーメント	ブーン			-	-	-	-
	耐力	817.62			1870.80	1772.02	2705.18	2703.89
	判定	OK			OK	OK	OK	OK
	せん断力	応力 -21.10	0.00		149.70	0.00	943.50	951.60

短期・終局の応力の自動・手動計算を表示します。
 ダブルクリックで自動・手動の切り替えが可能です。

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル | 終局マニュアル | 2003/01/30 | 11:15

2. 柱脚形式入力画面の説明

柱脚検算 - "C1.hud"

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

物件名: 旧立金属 構造種別: 鉄骨造 SRC造 建物形状: 対称 計算ルート: ルート3 積雪荷重の扱い: なし 短期計算荷重: 地震 暴風 積雪

C1(Y2-X2) C1(Y2-X3) C1(Y3-X2) C1(Y3-X3)

柱
柱名称: C1(Y3-X2) RC: 900×900(Fc24) 鉄筋D25(SD345) 本数 8×8
(柱脚で決まる柱ランク 00FA (Y)FA)
T400×200×9×12+ H600×200×9×12(SS400)
A=149.9(cm²) Zx=1100(cm³) Zpx=1250(cm³) spcx=0.00296
Zy=1470(cm³) Zpy=1680(cm³) spcy=0.00296

柱脚
LL600-S1-42
曲げ負担率(≧0.10) 0.00342 (Y)0.306
軸力負担率(≧0.15) 0.294
限界軸力(kN) 00-5546.16 (Y)-5546.16

この領域をクリックすると、柱脚形式入力画面が表示されます。

X	せん断力	耐力		せん断力	耐力	せん断力	耐力	せん断力	耐力
		応力	判定						
	810.79	0.00	OK	1804.67	1766.49	2051.16	2532.70		
	3465.66	0.00	OK	4391.37	1862.71	2559.85	4207.09		
	4616.00	0.00	OK	4924.60	0.00	4074.20	4268.40		
	91.70	0.00	OK	494.60	0.00	2653.40	2671.60		
Y	せん断力	817.62	OK	1870.80	1772.02	2705.18	2703.89		
	せん断力	-21.10	OK	149.70	0.00	943.50	951.60		
	3295.00	0.00	OK	4163.51	1751.01	4039.53	4039.53		

終局R
80 4693.40
70 2479.40

応力表・耐力図の更新する。

短期マニュアル 終局マニュアル 2003/01/30 11:15

(1) コンクリート強度

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度: 24

コンクリート強度を選択します。
最大はFc30までです。それを超えるとハイベースが降伏する可能性があります。従ってFc30を超える場合は別途ハイベースを設計しますので、お問い合わせください。

鉄骨仕様
材質: SS400 計算
sA(cm²): 149.9 sZx(cm³): 1103 sZy(cm³): 1467
Zpx(cm³): 1249 Zpy(cm³): 1681
spcx: 0.00296 spcy: 0.00296

鉄筋仕様
材質: SD345 呼び径: D25
 X束ね筋 Y束ね筋
X本数: 12 Y本数: 8
X引長鉄筋: 0 Y引長鉄筋: 0

鉄骨柱脚部負担率
曲げ(≧0.10) X 0.229 OK Y 0.306 OK
引抜力(≧0.15) 0.245 OK
限界軸力(kN) X -6664.96 Y -6664.96

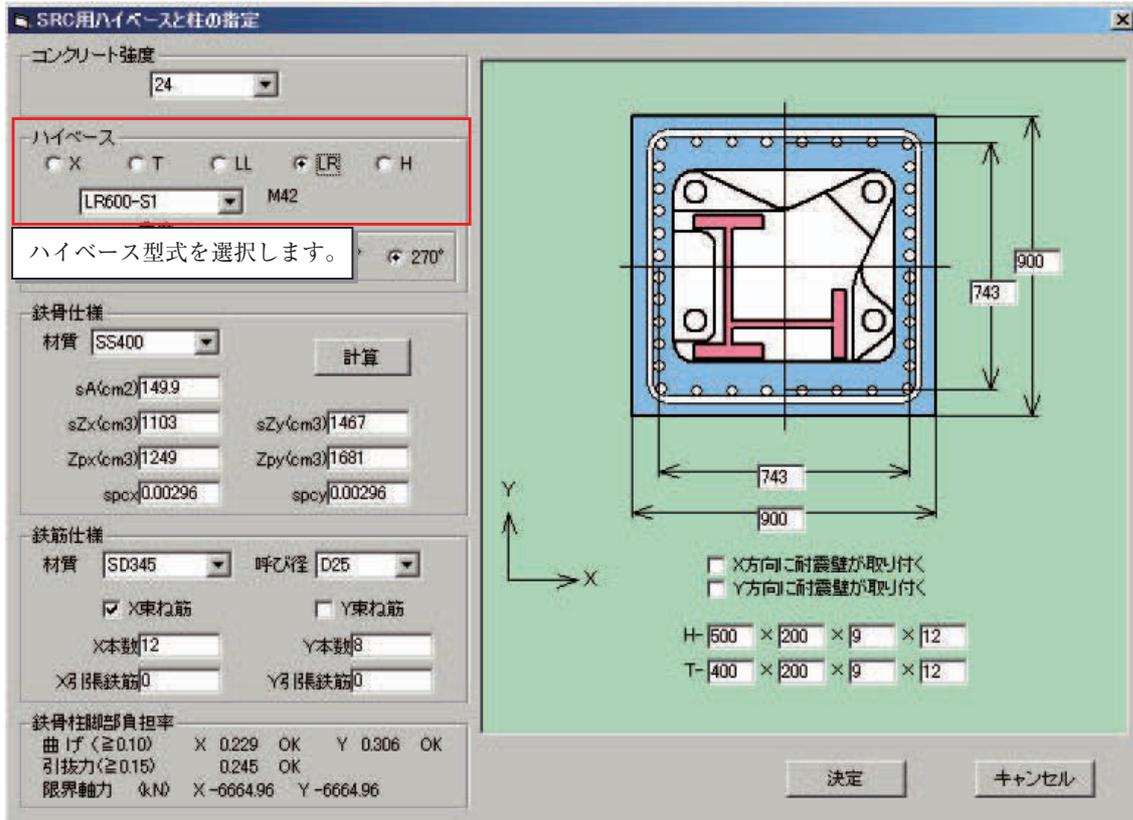
Y
X

X方向に耐震壁が取り付く
 Y方向に耐震壁が取り付く

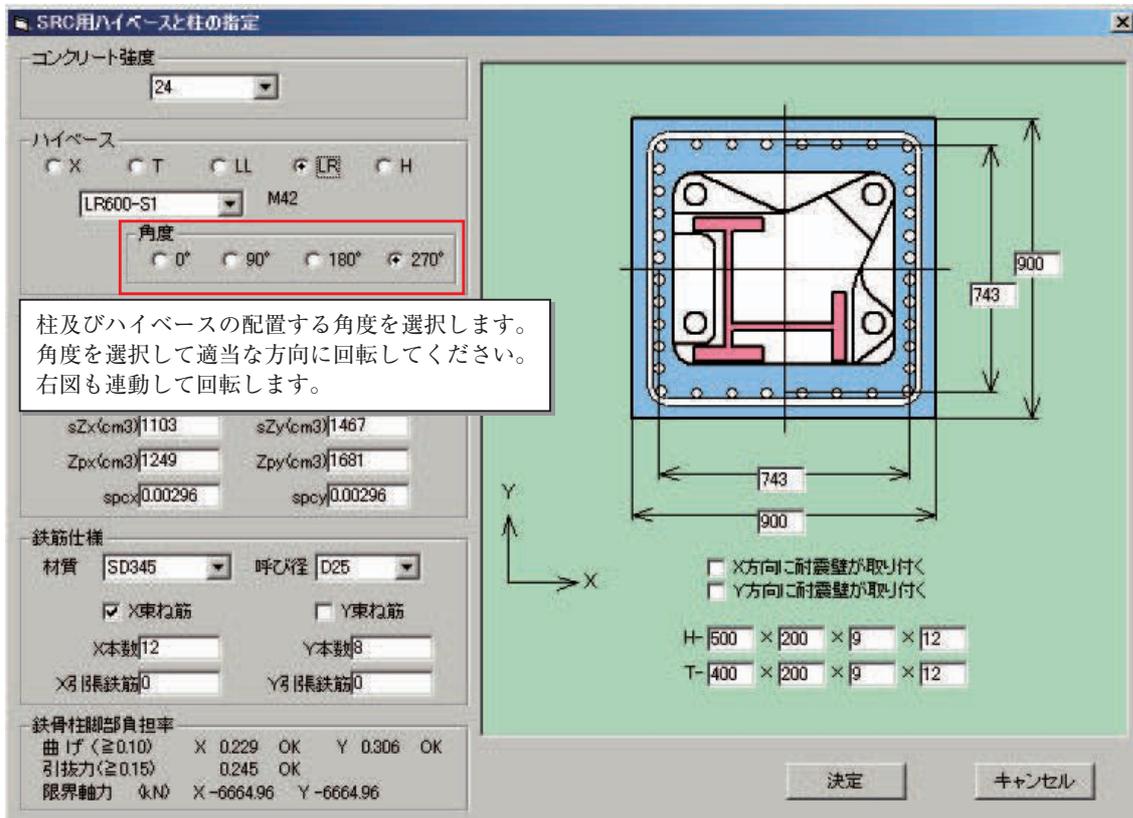
H: 500 × 200 × 9 × 12
T: 400 × 200 × 9 × 12

決定 キャンセル

(2) ハイベース型式



(3) ハイベース配置



(4) 鉄骨仕様

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度: 24

ハイベース: X T LL LR H (LR selected)

LR600-S1 M42

角度: 0° 90° 180° 270°

鉄骨仕様

材質: SS400 計算

sA(cm²): 149.9

sZx(cm³): 1103 sZy(cm³): 1467

Zpx(cm³): 1249 Zpy(cm³): 1681

spcx: 0.00296 spcy: 0.00296

鉄骨柱の材質や断面性能の入力・表示をします。
 右図に示す箇所に鉄骨の寸法（鉄骨を柱脚部で絞る場合は、絞った寸法）を入力すると、断面性能は自動計算し表示されます。
 断面性能の値を手動で直接入力する場合は、右図の鉄骨寸法を入力した後にしてください。

引抜力(≧0.15): 0.245 OK
 限界軸力 (kN): X -6664.96 Y -6664.96

Y

X方向に耐震壁が取り付け
 Y方向に耐震壁が取り付け

H: 500 × 200 × 9 × 12
 T: 400 × 200 × 9 × 12

決定 キャンセル

(5) 鉄筋仕様

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度: 24

ハイベース: X T LL LR H (LR selected)

鉄筋の材質、呼び径、本数などを入力します。
 X or Y東ね筋: 東ね筋として2段目の鉄筋を曲げに効かせる場合にチェックします。
 X or Y本数: 曲げに効かせる最外縁の鉄筋本数を入力します。(右図にも反映されます)
 X or Y引張鉄筋: 引張にのみ効かせる鉄筋の総本数を入力します。この本数分、せん断耐力算定用鉄筋本数（曲げに効かせる最外縁の鉄筋は除く）を減らします。

鉄筋仕様

材質: SD345 呼び径: D25

X東ね筋 Y東ね筋

X本数: 12 Y本数: 8

X引張鉄筋: 0 Y引張鉄筋: 0

鉄骨柱脚部負担率

曲げ(≧0.10): X 0.229 OK Y 0.306 OK
 引抜力(≧0.15): 0.245 OK
 限界軸力 (kN): X -6664.96 Y -6664.96

X

X方向に耐震壁が取り付け
 Y方向に耐震壁が取り付け

H: 500 × 200 × 9 × 12
 T: 400 × 200 × 9 × 12

決定 キャンセル

(6) 鉄骨柱脚部負担率

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度: 24

ハイベース: X, T, LL, **LR**, H
 LR600-S1 M42
 角度: 0°, 90°, 180°, 270°

鉄骨仕様: 材質 SS400 計算

SRCハイベース工法の適用制限（詳細は本ハンドブックp.7表3.2を参照ください）を表示します。
 また、この適用制限に対して現ディテールでのチェックを行い、その結果を表示します。
 尚、ここで表示している適用制限の項目名と本ハンドブックp.7表3.2に表示している項目名は異なった表示をしておりますが内容は同じです。
 「曲げ」 = 「曲げ負担率」
 「引抜力」 = 「アンカーボルト-引張鋼材比」
 「限界軸力」 = 「柱軸力」

鉄骨柱脚部負担率
 曲げ(≧0.10) X 0.229 OK Y 0.306 OK
 引抜力(≧0.15) 0.245 OK
 限界軸力 (kN) X -6664.96 Y -6664.96

図面: 900 x 900 mm square column with 743 mm internal dimensions. Reinforcement details shown. Legend: X方向に耐震壁が取り付け, Y方向に耐震壁が取り付け. Section sizes: H-500 x 200 x 9 x 12, T-400 x 200 x 9 x 12.

決定 キャンセル

(7) RC寸法

SRC用ハイベースと柱の指定

コンクリート強度: 24

ハイベース: X, T, LL, LR, H
 LR600-S1 M42
 角度: 0°, 90°, 180°, 270°

鉄骨仕様: 材質 SS400 計算

RC柱形寸法及び鉄筋間距離を入力します。

sA(cm²) 149.9
 sZx(cm³) 1103 sZy(cm³) 1467
 Zpx(cm³) 1249 Zpy(cm³) 1681
 spcx 0.00296 spcy 0.00296

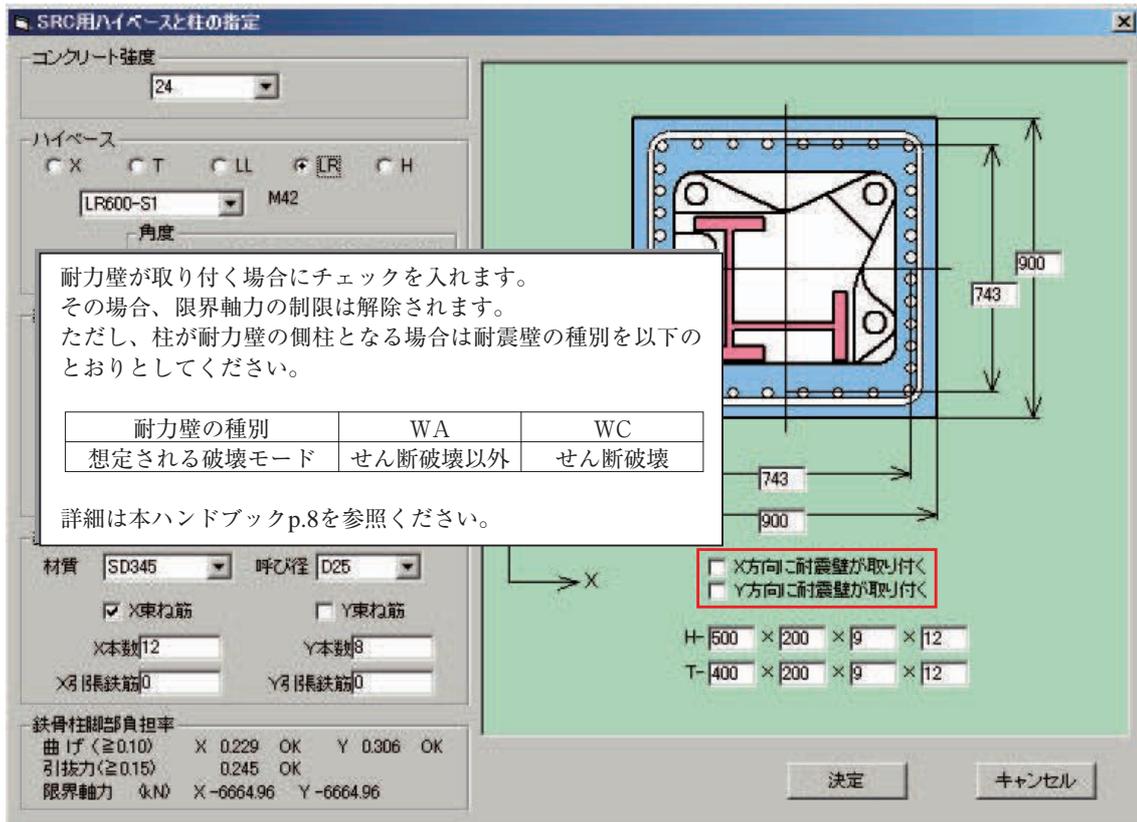
鉄筋仕様: 材質 SD345 呼び径 D25
 X束ね筋 Y束ね筋
 X本数 12 Y本数 8
 X引長鉄筋 0 Y引長鉄筋 0

鉄骨柱脚部負担率
 曲げ(≧0.10) X 0.229 OK Y 0.306 OK
 引抜力(≧0.15) 0.245 OK
 限界軸力 (kN) X -6664.96 Y -6664.96

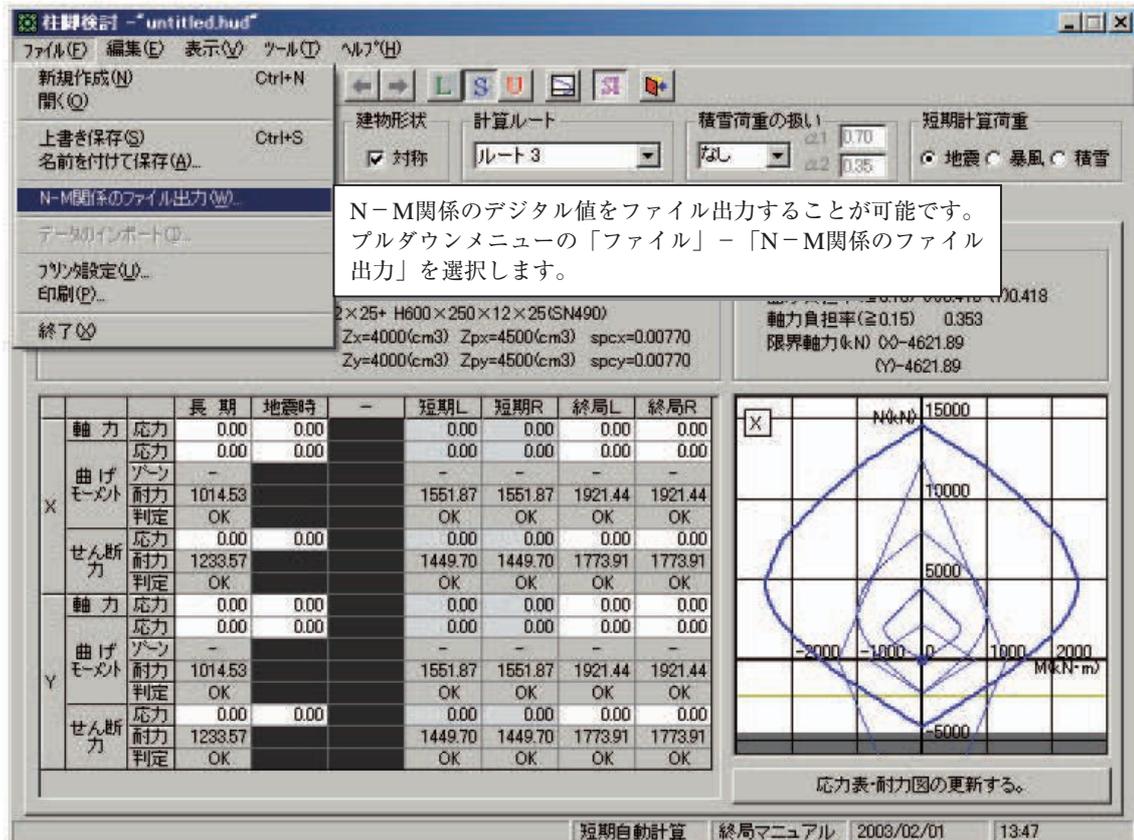
図面: 900 x 900 mm square column with 743 mm internal dimensions. Reinforcement details shown. Legend: X方向に耐震壁が取り付け, Y方向に耐震壁が取り付け. Section sizes: H-500 x 200 x 9 x 12, T-400 x 200 x 9 x 12.

決定 キャンセル

(8) 耐力壁



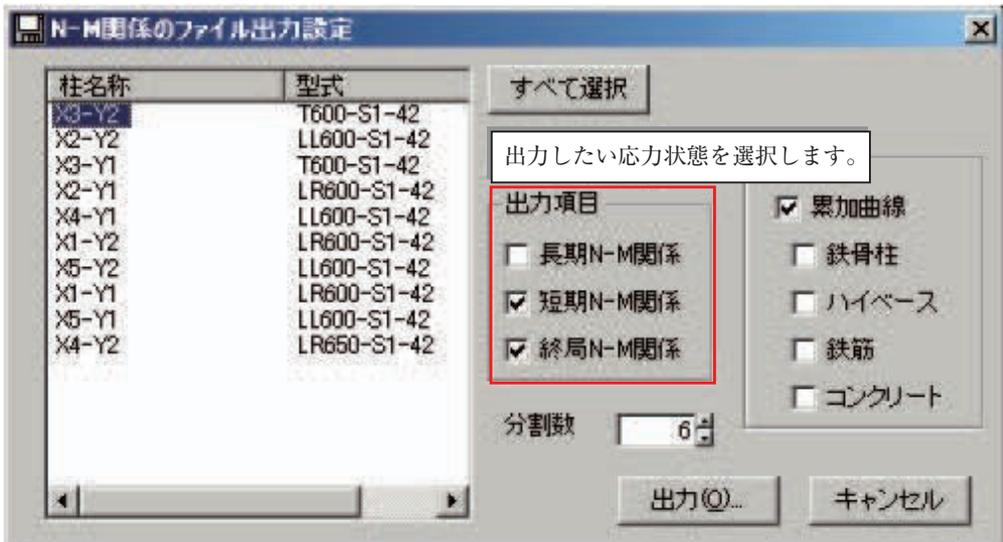
3. N-M関係ファイル出力



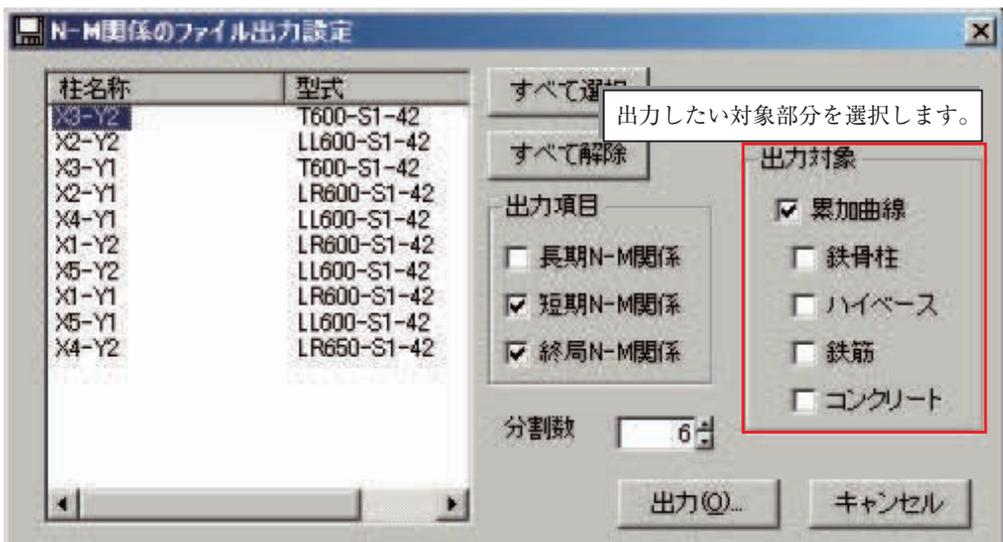
(1) 柱の選択



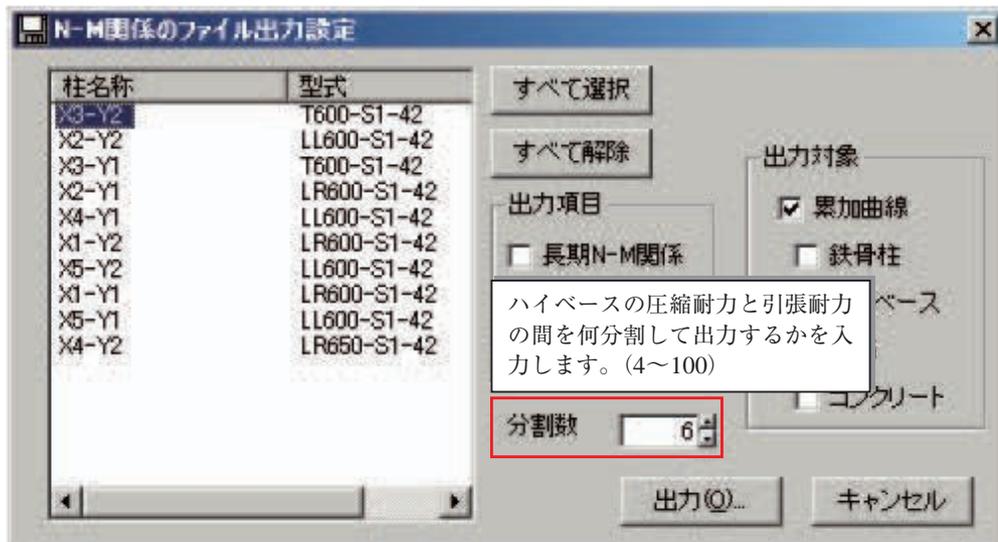
(2) 出力項目



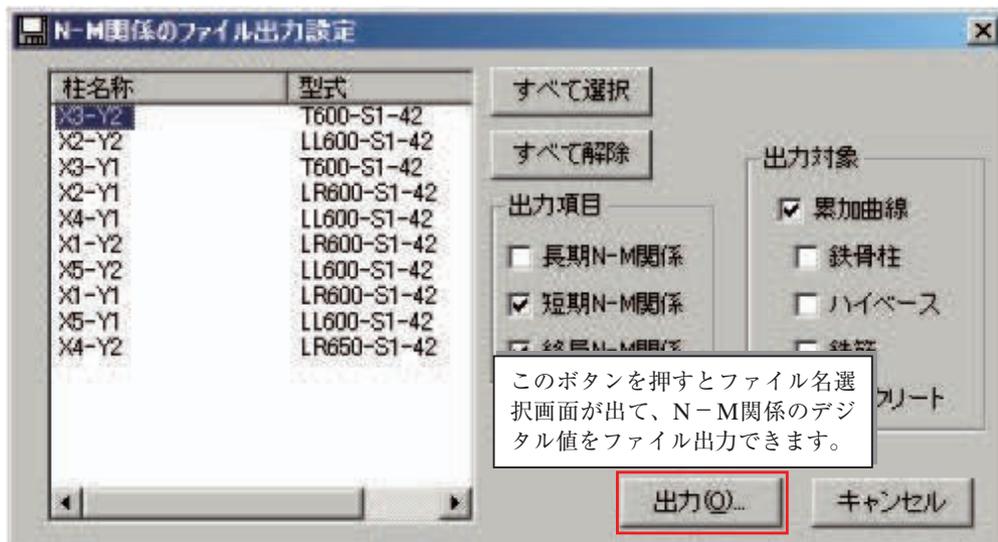
(3) 出力対象



(4) 分割数



(5) 出力



(6) CSVファイルの出力例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	☆-101	LL600-S1-42	☆						
2	ハイベース	底面	645 ×		680				
3		AB幅	450	0 ×		530	0		
4	鉄骨柱	H500×200×9×19+ T340×150×9×12(SM490)							
5	RC	900 ×		950					
6	鉄筋	D29	SD345	本数	8		×		8
7		A(cm ²)	384	Zx(cm ³)	2055	Zpx(cm ³)	2308	spcx	0.00444
8				Zy(cm ³)	709	Zpy(cm ³)	815	spcy	0.00211
9	曲げ負担率(X)		0.258	(Y)	0.277				
10	軸力負担率	0.247							
11	限界軸力	-6594.85							
33	--- 終局時のN-M関係 ---								
34	// X方向 //								
35	*** 累加強度 ***								
36	N(kN)	M(kN・m)							
37	23990.22	0							
38	17868.58	2330.23							
39	11746.95	3302.25							
40	5625.31	3653.14							
41	-496.33	2332.9							
42	-6617.96	0							